

PeopleSoft®

---

EnterpriseOne 8.9

變更管理

PeopleBook

---

2003 年 9 月

PeopleSoft EnterpriseOne 8.9  
変更管理 PeopleBook  
SKU FM89JCK0309

Copyright 2003 PeopleSoft, Inc. All rights reserved.

本書に含まれるすべての内容は、PeopleSoft, Inc. (以下、「ピープルソフト」) が財産権を有する機密情報です。すべての内容は著作権法により保護されており、該当するピープルソフトとの機密保持契約の対象となります。本書のいかなる部分も、ピープルソフトの書面による事前の許可なく複製、コピー、転載することを禁じます。これには電子媒体、画像、複写物、その他あらゆる記録手段を含みます。

本書の内容は予告なく変更される場合があります。ピープルソフトは本書の内容の正確性について責任を負いません。本書で見つかった誤りは書面にてピープルソフトまでお知らせください。

本書に記載されているソフトウェアは著作権によって保護されており、このソフトウェアの使用許諾契約書に基づいてのみ使用が許諾されます。この使用許諾契約書には、開示情報を含むソフトウェアと本書の使用条件が記載されていますのでよくお読みください。

PeopleSoft、PeopleTools、PS/nVision、PeopleCode、PeopleBooks、PeopleTalk、Vantiveはピープルソフトの登録商標です。Pure Internet Architecture、Intelligent Context Manager、The Real-Time Enterpriseはピープルソフトの商標です。その他すべての会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標である場合があります。ここに含まれている内容は予告なく変更されることがあります。

#### オープンソースの開示

この製品には、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) が開発したソフトウェアが含まれています。Copyright (c) 1999-2000 The Apache Software Foundation. All rights reserved. このソフトウェアは「現状のまま」提供されるものとし、特定の目的に対する商品性および適格性の黙示保証を含む、いかなる明示または黙示の保証も行いません。Apache Software Foundationおよびその供給業者は、損害の発生原因を問わず、責任の根拠が契約、厳格責任、不法行為(過失および故意を含む)のいずれであっても、また損害の可能性が事前に知らされていたとしても、このソフトウェアの使用によって生じたいかなる直接的損害、間接的損害、付随的損害、特別損害、懲罰的損害、結果的損害に関しても一切責任を負いません。これらの損害には、商品またはサービスの代用調達、使用機会の喪失、データまたは利益の損失、事業の中断が含まれますがこれらに限らないものとします。

ピープルソフトは、いかなるオープンソースまたはシェアウェアのソフトウェアおよび文書の使用または頒布に関しても一切責任を負わず、これらのソフトウェアや文書の使用によって生じたいかなる損害についても保証しません。

# 目次

---

<b>変更管理</b>	<b>1</b>
変更管理プロセス	1
変更要求の作成	1
計画変更オーダーおよび変更オーダーの作成	2
変更要求の修正	2
システム・インテグレーション	2
共存環境(Coexistence)	3
テーブルおよび記述	4
<b>変更要求作成</b>	<b>6</b>
変更要求の理解	6
変更要求の系統立て	6
変更要求の構成要素の理解	8
詳細状況コードの理解	9
変更要求の入力	10
基本変更要求情報の入力	13
勘定振替情報の入力	18
勘定残高のコピー	30
変更要求手数料計算の入力	42
<b>変更管理階層の作成</b>	<b>45</b>
計画変更オーダーに対する状況コードの理解	46
計画変更オーダーの処理	46
計画変更オーダーの作成	46
変更要求の計画変更オーダーへの添付	48
計画変更オーダーの削除	50
処理オプション: 計画変更オーダー(PCO)の入力プログラム(P5314)	50
変更オーダーの処理	54
変更オーダーの作成	54
計画変更オーダーの変更オーダーへの添付	55
処理オプション: 変更オーダー(CO)の入力プログラム(P5315)	56
<b>変更要求の検討</b>	<b>59</b>
変更要求の検討	59

変更管理情報の検索 .....	59
変更要求(CR)の入力フォーム・フィールドの理解 .....	60
再見積りの検討 .....	61
ログの検討 .....	62
作業に対するすべての勘定の検討 .....	62
行別すべての勘定の検討 .....	63
総勘定元帳情報の検討 .....	64
作業別変更要求の検討 .....	65
〈勘定科目の照会〉レポート(R53220P)の印刷 .....	67
<b>変更要求、PCO、および CO の改訂</b> .....	<b>69</b>
承認プロセス .....	69
変更要求の改訂 .....	71
金額の改訂 .....	71
詳細状況コードの更新 .....	73
再見積りの生成 .....	76
変更要求での明細行の終了 .....	77
計画変更オーダーの改訂 .....	78
変更オーダーの改訂 .....	79
変更要求勘定、PCO、および CO の承認 .....	79
〈状況の一括更新〉の理解 .....	80
変更要求での勘定の承認 .....	81
計画変更オーダーの承認 .....	84
変更オーダーの承認 .....	86
<b>外注契約情報コミットメント</b> .....	<b>88</b>
外注契約情報の入力 .....	88
外注管理への外注契約のコミット .....	90
〈外注契約修正〉レポートの印刷 .....	91
処理オプション:〈外注明細の変更要求〉プログラム(P53301) .....	92
外注契約ログの管理 .....	95
変更要求に対するログの修正 .....	95
<b>契約情報コミットメント</b> .....	<b>99</b>
契約に対する収益情報の入力 .....	99
契約請求への契約情報のコミット .....	100
処理オプション: 変更要求収益明細プログラム(P53311) .....	102
契約修正レポート(R53480)の印刷 .....	102
<b>レポート</b> .....	<b>103</b>
変更要求集計レポートの印刷 .....	103
処理オプション: 変更要求(CR)集計レポート(R534011) .....	104
変更管理レポートの印刷 .....	105

勘定別変更要求の詳細レポートの印刷 .....	105
変更要求詳細(契約あり)レポートの印刷 .....	106
作業計画変更オーダー(PCO)レポートの印刷 .....	107
作業 PCO 集計レポートの印刷 .....	107
作業 PCO 詳細レポートの印刷 .....	108
作業変更オーダー・レポートの印刷 .....	109
作業変更オーダー(CO)集計レポートの印刷 .....	110
作業変更オーダー(CO)詳細レポートの印刷 .....	110
CO/PCO(F5315/F5314)整合性レポートの印刷 .....	111
PCO/CR(F5314/F5311)整合性レポートの印刷 .....	111
ログ・レポート/更新レポートの印刷 .....	111

## **変更管理システム・セットアップ** **112**

変更管理のユーザー定義コードの設定 .....	112
変更要求詳細状況コードの設定 .....	114
作業特定ユーザー定義コードの設定 .....	116



---

## 変更管理

The J.D. J.D. Edwards 変更管理システムでは、複数の改訂および承認ステージを通じて作業またはプロジェクトに対する変更をモニタリングできます。変更管理システムには次の機能があります。

- 一連の承認ステージで変更要求を移動する承認プロセス
- 一般会計システムと作業原価システムの外部での複数の見積りおよび承認ステージの監査証跡を提供する再見積りを作成する機能
- 変更要求番号によって変更をモニタリングする機能
- 補助元帳明細によって変更をモニタリングする機能
- 変更要求システム内の行品目が修正および承認されたときに、総勘定元帳でこれらの行品目の監査証跡を作成する機能
- 当初金額、見積金額、および最終金額に基づいて、変更要求行品目の最適金額を計算する機能
- 計画変更オーダーに関連変更要求を添付し、変更オーダーに関連計画変更オーダーを添付することにより、変更要求を管理する機能
- 外注管理システムと共有される文書管理機能
- 作業番号、元帳タイプ、仕入先、勘定原価コード、原価タイプなどのさまざまな検索条件をサポートする検索機能
- 外注管理および契約請求への変更要求をコミットする機能

---

## 変更管理プロセス

J.D. Edwards 変更管理システムは、自分の組織に合った変更管理プロセスを作成するための、相互に関連するプログラムからなる柔軟なシステムです。1つの変更要求だけを使用して、作業に対する変更の影響を受ける勘定科目への変更をトラッキングすることにより、非常に単純なプロセスを設定できます。また、より包括的なプロセスを作成して承認プロセスで変更要求を自動的に移動すること、変更に関する情報を外注管理や契約請求などの他の J.D. Edwards システムに送信すること、および作業に対する変更についての詳細をトラッキングできます。

### 変更要求の作成

変更管理プロセスは、変更要求から開始します。変更要求を作成して、原価に対する変更や、請求または貸方記帳される勘定科目に対する変更などをトラッキングします。変更要求の作成時に、勘定振替情報の各行品目に詳細状況コードを割り当てます。これらの詳細状況コードは、承認プロセスにおける行品目の現在のステージを示します。行品目の勘定振替情報を改訂したときに、状況コードを更新して、変更要求を次の承認ステージに移動できます。取引明細を参照するように詳細状況コードを設定した場合は、変更要求の状況を更新するときに、改訂した金額で元帳を自動的に更新できます。

## 計画変更オーダーおよび変更オーダーの作成

変更要求を作成した後で、これらを計画変更オーダー(PCO)に添付することにより、関連する変更要求をグループ化できます。変更オーダー(CO)に添付することにより、関連する PCO をグループ化できます。変更要求と PCO のグループ化により、関連する変更に関する情報を見つけやすくなります。

## 変更要求の修正

変更要求を作成した後で、それらを修正することが必要な場合があります。

### 監査証跡(F0911)

作業進捗状況として、変更要求の修正が必要な場合があります。J.D. Edwards 変更管理システムでは、システムが監査証跡を作成するように処理オプションを設定できます。監査証跡処理オプションを設定すると、システムは情報を取引明細テーブル(F0911)に書き込みます。

### 再見積り

再見積りを生成することにより、変更をトラッキングすることもできます。再見積りは、変更要求の 1 つのバージョンです。変更要求を修正する場合、修正済みバージョンを再見積りとして保存できます。その後、変更の履歴を表示する必要がある場合に、各バージョンを表示して変更を比較できます。

### 状況の更新

作業進捗状況として、変更要求に関連付けられている状況を変更します。変更管理システムでは、変更要求の承認ステージのトラッキングに使用する詳細状況コードを作成します。元帳タイプを詳細状況コードに関連付けることができます。元帳タイプが関連付けられている状況コードを変更要求の行品目に割り当てた場合、変更管理システム内の適切な元帳を更新できます。詳細状況コードを個別に更新することも、〈状況の一括更新〉プログラムを使用して多数の勘定科目を同時に更新することもできます。

### 修正の検討

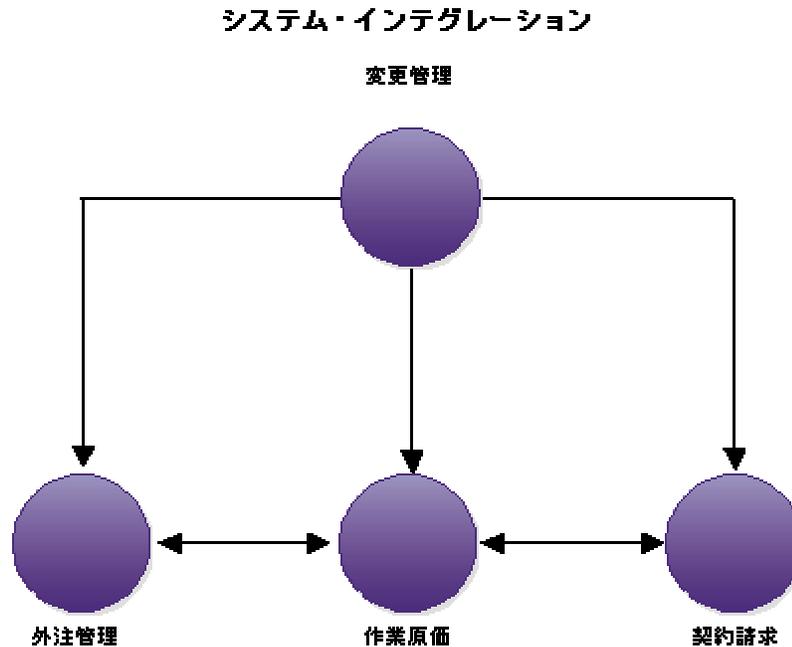
再見積りや取引明細履歴を表示することにより、また、影響を受ける勘定科目の当初金額、見積金額、および最終金額を表示することにより、変更要求に対して行った修正の履歴を検討できます。同じ原価コード、原価タイプ、仕入先、または元帳タイプを持つ作業に対するすべての変更要求も検討できます。

## システム・インテグレーション

---

変更管理システムは、作業原価システムと外注管理システムの統合の中心です。変更管理システムは、外注管理システムと連動するため、変更要求の詳細行の外注勘定から外注管理システムに情報を送信できます。同様に、変更要求の詳細行の収益勘定から契約請求システムに情報を送信できます。したがって、変更管理システムには変更要求に関する情報を入力することのみが必要です。変更要求作成後はいつでも、設計図面、受理事項、実行する必要のある処理など、関連文書とアクティビティに関する情報を入力できます。

次の図に、変更管理、作業原価、外注管理、契約請求の各システムのインテグレーションを示します。



変更要求を作成する場合は、変更要求の各行品目の影響を受ける勘定科目についての情報を提供する必要があります。詳細状況コードを設定するときに、一部の詳細状況コードには、それらの勘定科目に関連付けられている元帳を関連付けます。変更要求の詳細状況コードを、元帳が関連付けられた状況コードに更新すると、変更管理システムは、指定された元帳タイプの勘定残高を更新します。たとえば、作業原価予算金額元帳を自動的に更新する詳細状況コードを定義できます。その後、状況コードが割り当てられている行品目に状況の変更を行った場合、システムは古い元帳から新しい元帳に金額と数量を移動するため、元帳の残高が一致します。

## 共存環境(Coexistence)

---

共存環境(Coexistence)は、WorldSoftware プログラムおよび OneWorld アプリケーションが同じデータベースにアクセスする環境設定です。OneWorld 内の変更管理システムは、WorldSoftware 内の変更管理システムと共存しません。

## テーブルおよび記述

---

変更管理システムでは、次のテーブルが使用されます。

<b>変更要求マスター (F5301B)</b>	次のような変更要求マスター情報が保管されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>作業番号</li><li>変更要求番号</li><li>記述</li><li>状況</li><li>計画変更オーダー(PCO)番号</li></ul>
<b>変更要求(CR)詳細 テーブル(F5311)</b>	変更要求に対する次のような詳細情報が保管されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>原価、収益、および外注の各勘定に対する詳細状況コード</li><li>行番号</li><li>元帳タイプ</li><li>再見積番号</li><li>勘定原価コード</li><li>勘定原価タイプ</li><li>各勘定タイプの当初、見積、最終、および最適金額</li><li>外注勘定の外注番号</li><li>終了フラグ</li></ul>
<b>計画変更オーダー・ マスター(F5314)</b>	計画変更オーダー(PCO)に対する次のような情報が保管されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>状況</li><li>終了フラグ</li><li>PCOを添付する変更オーダーのCO番号</li></ul>
<b>変更オーダー・ マスター(F5315)</b>	次のような変更オーダーに関する情報が保管されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>状況</li><li>終了フラグ</li></ul>
<b>ビジネスユニット・ マスター(F0006)</b>	作業名、作業番号、作業タイプ、会社、カテゴリ・コードなどの作業情報を保管します。
<b>取引明細(F0911)</b>	総勘定元帳の明細取引が保管されます。取引ごとに1つのレコードが存在します。取引明細テーブルでは、金額や数量の修正など、勘定残高についての詳しい監査証跡が記録されているため、改訂情報のトラッキングができます。
<b>購買明細(F4311)</b>	外注番号や仕入先住所など、外注管理のマスター情報を格納します。
<b>変更要求(CR)詳細状況 の更新テーブル(F53101)</b>	システムが更新する元帳を原価、収益、および外注の各勘定の金額タイプと数量と共に示す詳細状況コードを格納します。

<b>ログ・マスター(F4303)</b>	次のような契約情報のトラッキングができます。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 作業番号</li> <li>• 変更要求番号</li> <li>• ログ・タイプ</li> <li>• ログ番号</li> <li>• 状況</li> <li>• 日付</li> </ul>
<b>勘定科目マスター(F0901)</b>	勘定科目コードや勘定科目名など、勘定科目の定義が保管されます。勘定科目ごとに1つのレコードが存在します。勘定科目マスターでは、作業マスター・レコードの作成時に作成される見出し勘定科目を使用することにより、利益認識処理中に作業の完了パーセントを調整できます。
<b>勘定残高(F0902)</b>	変更要求の詳細状況コードで使用する金額および数量元帳タイプの情報が保管されません。
<b>作業特定UDCマスター(F53005)</b>	変更管理システムに固有のユーザー定義コード情報を作業別に格納します。
<b>元帳タイプ・マスター(F0025)</b>	特定の元帳タイプに対する次のような規則が保管されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 予算金額</li> <li>• 予算数量</li> <li>• 年度締め予算</li> <li>• 集計と終了</li> </ul>
<b>AAI マスター(F0012)</b>	自動貸借一致仕訳やレポート用の特別な中間計、勘定科目表に関する一般的な情報の作成方法を決定する規則が保管されます。
<b>ユーザー定義コード(F0005)</b>	ユーザー定義コードとその記述が保管されます。

---

## 変更要求作成

変更要求を使用して、作業に対する変更を作業進捗状況として記録し、モニタリングします。変更要求は、変更管理階層の最下位レベルにあり、作業に対する変更のトラッキングに必要な詳細情報を含みます。変更要求を作成した後で、階層内の次のレベルである計画変更オーダーに関連変更要求を添付できます。計画変更オーダーへの関連変更要求の添付により、特定の変更要求の検索が簡単になります。

### 参照

- 変更管理階層の詳細については、『変更管理』ガイドの「変更管理階層の作成」

---

## 変更要求の理解

変更要求を作成する前に、それらを系統立てる方法を決定し、変更要求の構成要素を理解する必要があります。

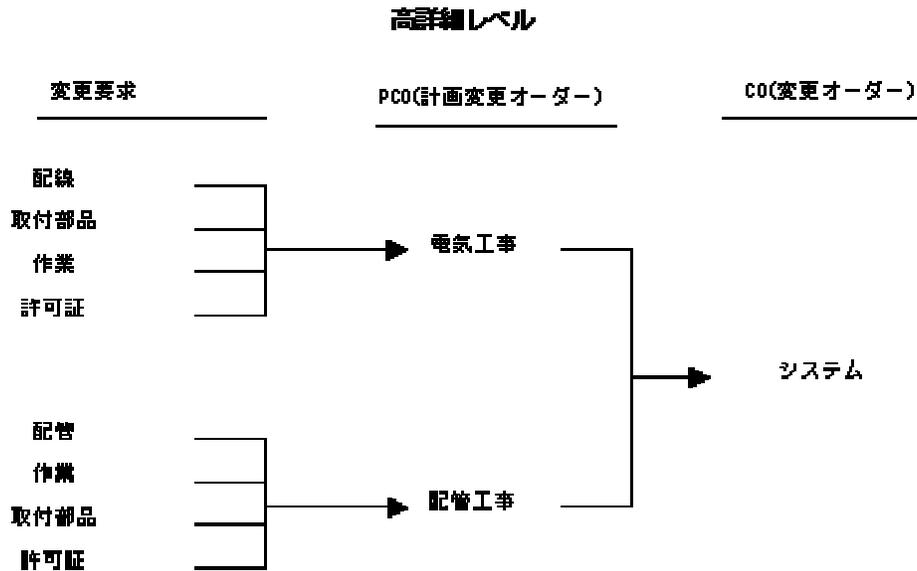
### 変更要求の系統立て

作業に対する変更要求を作成する前に、変更要求階層をどの程度詳細にするかを決定する必要があります。高詳細レベルまたは低詳細レベルを使用できます。高詳細レベルと低詳細レベルのどちらを使用するかにかかわらず、関連する変更要求を計画変更オーダー(PCO)に添付し、関連するPCOを変更オーダー(CO)に添付して、変更要求をさらに系統立てることができます。

大きな作業は数百の変更を伴う場合があります。多くの方法で変更を系統立てて、ニーズに合わせることができます。たとえば、それぞれが数個の行品目のみ持つ数百の変更要求を作成することも、それぞれが多くの行品目を持つ少数の変更要求を作成することもできます。

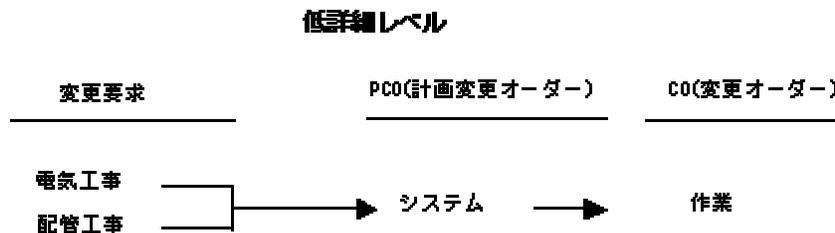
数百の変更要求を作成する場合は、高詳細レベルの変更要求階層を作成します。高詳細レベルの階層の各変更要求は非常に特定のです。たとえば、5月の電気配線変更の行品目のみ含む変更要求、6月の配線変更を含む変更要求、5月の設備に対する変更を含む変更要求、6月の設備変更を含む変更要求などを作成できます。各変更要求に含まれる行品目は少数ですが、多数の変更要求をトラッキングする必要があります。

次の図に、高詳細レベルの階層の例を示します。



それぞれが多数の行品目を含む少数の変更要求を作成する場合は、低詳細レベルの階層を作成します。たとえば、すべての電気変更についての変更要求を作成できます。その1つの変更要求に、配線、設備、労働、および作業全体の許可が含まれます。このような変更要求には数ダースの行品目が含まれていることがありますが、情報を検索するとき、または行品目を修正するときに検討する必要のある変更要求は1つのみです。

次の図に、低詳細レベルの階層の例を示します。



## 階層詳細レベルの使用

高詳細レベルと低詳細レベルのどちらを使用するかは、トラッキングする必要のある作業数または変更数によって決まる場合があります。変更要求を系統立てる方法を決定する前に、〈状況の一括更新〉プログラムの動作も理解する必要があります。〈状況の一括更新〉プログラムでは、承認プロセスで変更要求の勘定科目のグループを移動するため、変更要求のグループ化方法は、〈状況の一括更新〉プログラムの使用方法に影響する場合があります。

次の表に、各レベルの利点と欠点の一部を示します。

### 高詳細レベル

次の利点があります。

- すべての行品目が非常に密接に関連しています。
- すべての行品目が密接に関連しているため、〈状況の一括更新〉プログラムの使用が簡単になります。
- 〈計画変更オーダー〉レポートは、PCO に添付されているすべての変更要求の合計を示します。

次の欠点があります。

- 必要な行品目を見つけるために多くの変更要求を検討する必要があります。

### 低詳細レベル

次の利点があります。

- 変更要求がより少なくなります。
- 変更要求のすべての行および勘定科目が同時に承認プロセスを移動するため、〈状況の一括更新〉プログラムを使用して次の状況に変更することにより、時間を節約できます。

次の欠点があります。

- 各変更要求に多くの行品目があります。
- 行品目のソートが難しい場合があります。
- 変更要求の勘定科目が承認プロセスでグループとして移動されないうちに〈状況の一括更新〉プログラムを使用する場合は、変更の不要な詳細状況コードを変更しないように注意する必要があります。

### 参照

- 〈状況の一括更新〉プログラムの使用の詳細については、『変更管理』ガイドの「状況の一括更新の理解」

## 変更要求の構成要素の理解

変更要求には、常に次のアイテムが含まれます。

- 変更要求を作業にリンクする作業番号。
- 変更要求のタイプを定義する記述。
- 変更の影響を受ける勘定科目の詳細を提供する、各行品目の勘定振替情報。勘定振替情報には、勘定科目のタイプ(原価、収益、外注)と、表示される勘定科目タイプの当初金額、見積金額、および最終金額が含まれます。正または負の金額を入力できます。
- 変更要求の承認ステージを提供する詳細状況コード。

また、変更要求には、次の情報が含まれる場合があります。

- 変更要求の詳細行にある外注または収益勘定科目から、外注管理システムまたは契約請求システム内の適切な契約に情報をリンクするための外注または契約情報
- 入力者、要求者、担当管理者など、変更要求の識別に役立つ一般情報
- 受理事項、送付事項、設計図面などの関連文書に関する情報
- 変更要求を詳細に説明する補足テキスト

## 詳細状況コードの理解

詳細状況コードを使用して、変更要求の勘定科目の承認ステージを示します。詳細状況コードは、次の内容を定義するユーザー定義コードです。

- 作業原価システムで更新する元帳
- レコード・タイプ(原価、収益、または外注)
- 行品目の金額および数量タイプ(当初、見積、最終、または最適)

一般に、異なる状況コードは、プロセスの異なるステージを表します。たとえば、外注管理に投入、拒否、コミットされ、承認される勘定科目のコードがある場合があります。承認プロセス中にいつでも、手動で、または(状況の一括更新)プログラムを使用して、詳細状況コードを更新できます。

変更要求詳細状況の更新テーブル(F53101)で詳細状況コードを設定するときに、各詳細状況コードを金額タイプ(当初、見積、最終、または最適)およびレコード・タイプ(原価、収益、または外注)に関連付けます。一部の詳細状況コードには元帳タイプも関連付けます。金額、レコード、および元帳タイプと詳細状況コードの関連付けでは、状況コードを使用して、さまざまな承認ステージでシステムが勘定残高情報を更新する方法を指定します。

詳細状況コードは、元帳タイプと状況コードが関連付けられている場合にのみ元帳情報を更新します。詳細行の勘定科目を元帳タイプに関連付けられている詳細状況コードで更新すると、システムは適切な元帳を更新します。一般的に、変更要求の詳細行項目が承認されたことを示す状況コードに元帳タイプを関連付けます。元帳タイプを詳細状況コードに添付する場合は、関連付けられている元帳の更新時にシステムによって使用される金額タイプ(当初、見積、最終、または最適)も指定します。

詳細状況コードは、変更要求詳細状況の更新テーブルで定義します。

---

### 注:

変更要求詳細状況の更新テーブル(F53101)で定義されている状況コードと、ユーザー定義コード・テーブル(F0005)で定義されている状況コードを混同しないでください。ユーザー定義コード・テーブルで定義されている状況コードは、変更要求の情報を提供するものであり、情報提供専用です。元帳は更新しません。

---

### 参照

- 詳細状況コードの設定の詳細については、『変更管理』ガイドの「変更要求詳細状況コードの設定」

## 変更要求の入力

---

変更要求は、作業の進行時にその作業に対する変更をトラッキングします。各変更要求に単一の行項目または複数の行項目を入力できます。一般的に、作業の特定の側面に関連する変更要求を設定します。たとえば、作業がオフィス・ビルの建設である場合、変更要求 1 が基礎の詳細のトラッキング用で、変更要求 2 が骨組みの詳細用などの場合があります。

変更要求は次の要素から構成されます。

- 一般変更要求情報
- 原価、収益、および外注の各勘定の勘定振替情報
- 勘定振替情報を外注管理システム内の適切な契約に送信するための外注情報
- 勘定振替情報を契約請求システム内の適切な契約に送信するための収益情報
- 承認状況をトラッキングするための詳細状況コード

変更要求の基本情報を入力した後で、追加情報の入力、他のプログラムへのエグジット、レポートの印刷、再見積りの作成、および状況の更新を行うことができます。〈変更要求の入力〉フォームにあるフォーム・エグジットとロー・エグジットを使用して、これらの機能にアクセスできます。

### 参照

変更要求については、『変更管理』ガイドの次のトピックを参照してください。

- [フォーム]メニューの機能
- [ロー]メニューの機能
- 変更要求グループ化の決定に影響する要因については、「変更要求の系統立て」

### [フォーム]メニューの機能

〈変更要求(CR)の入力〉フォームの[フォーム]メニューには、次のオプションがあります。

#### 勘定科目マスター・ ピッキング

作業に対して設定済みの勘定科目表を通じて、変更要求に含まれる勘定科目を選択できます。原価、収益、および外注勘定に対して、見出し勘定科目名と明細勘定科目名のどちらを表示するかを定義できます。

#### 再見積り

勘定振替情報に対して行った変更のトラッキング用に再見積りを作成できます。再見積りは、明細行のバージョンです。再見積りを作成すると、明細行で行った変更を比較できます。次のオプションから選択します。

- [前の再見積り]。このオプションは、前の再見積りを表示する場合に使用します。
- [次の再見積り]。このオプションは、当初再見積りの後に作成された再見積りを表示する場合に使用します。
- [再見積りの生成]。このオプションは、新規再見積りを作成する場合に使用します。

<b>金額のコピー</b>	<p>[フォーム]メニューの[金額のコピー]オプションでは、変更要求のすべての行品目について、現在表示されているカラムの金額と単位をコピーします。このオプションを使用すると、すべての金額と単位の更新に必要なデータ入力時間を節約できます。次のオプションから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [当初から見積へ]。このオプションでは、見積金額または単位に当初金額をコピーします。</li> <li>• [見積から最終へ]。このオプションでは、最終の金額または単位に見積金額をコピーします。</li> </ul> <p><b>注:</b> [ロー]メニューの[金額のコピー]オプションでは、変更要求の特定行の金額と単位をコピーできます。</p>
<b>状況の一括更新</b>	<p>変更要求のすべての明細行品目について、原価、収益、および外注勘定の詳細状況コードを一括更新できます。このオプションを使用すると、データ入力時間を節約できます。[状況の一括更新]を選ぶと、変更するコードの指定を求めるプロンプトが表示されます。</p> <p><b>注:</b> 〈状況の一括更新〉プログラムでは、表示されているカラム(原価、収益、および外注)の詳細状況コードのみ更新されます。</p>
<b>PCO の作成</b>	<p>計画変更オーダー(PCO)を自動的に作成し、既存の変更要求をその計画変更オーダーに添付できます。このオプションを使用すると、作成された PCO に現行の変更要求が添付されます。PCO は変更要求と同じタイトル、「送信済み」の PCO 状況、および PCO の送信日付として現在の日付を保有します。</p>
<b>PCO の入力</b>	<p>〈計画変更オーダー(PCO)の入力〉プログラム(P5314)に直接エグジットして、PCO に添付されている変更要求の表示や PCO の作成を行うことができます。</p>
<b>CO の入力</b>	<p>〈変更オーダー(CO)の入力〉プログラム(P5315)に直接エグジットして、CO に添付されている PCO の表示や新規 CO の作成を行うことができます。</p>
<b>ログ改訂</b>	<p>外注管理システムの〈ログ・マスターの改訂〉プログラム(P4303)にエグジットできます。このプログラムでは、仕入先と契約ごとに作業の金額をトラッキングおよび制御します。必要条件を設定し、追加データを入力できます。</p>
<b>カラムの保存</b>	<p>〈変更要求(CR)の入力〉プログラムのカラム・バージョンを保存できます。このオプションでは、プログラムにアクセスするときどのカラムが表示されるかを定義します。カラム・バージョンを保存した後で、処理オプションを設定して、〈変更要求(CR)の入力〉プログラムにアクセスするとき保存したカラム・バージョンが表示されるようにします。</p>
<b>変更要求の削除</b>	<p>変更要求の明細情報を入力していない場合に、変更要求を削除できます。</p>
<b>集計/明細の印刷</b>	<p>〈変更要求(CR)集計〉レポートまたは〈変更要求(CR)詳細〉レポートを印刷できます。処理オプションで、レポートが集計と詳細のどちらのレポートであるか、および使用されるバージョンを制御します。</p>
<b>添付</b>	<p>ドキュメント、イメージ、およびその他のメディアを〈メディア・オブジェクト〉フォームから変更要求に添付できます。</p>
<b>手数料の計算</b>	<p>〈変更要求手数料の計算〉プログラム(P5320)で、変更要求の最終原価金額に基づいて合計金額を計算できます。パーセント金額または固定金額を入力して、手数料金額、間接費金額、またはその両方を計算できます。</p>

## 参照

□ 添付については『基本操作』ガイドの「メディア・オブジェクトの添付」  
『変更管理』ガイドの次のトピックを参照してください。

- 再見積りの作成については、「再見積りの生成」
- 金額のコピーについては、「勘定残高のコピー」
- 詳細状況コードの一括更新については、「状況の一括更新の理解」
- ログの改訂については、「外注契約ログの管理」
- 変更要求の集計レポートまたは詳細レポートの印刷については、「変更管理レポートの印刷」
- 計画変更オーダーの作成
- 変更オーダーの作成

## [ロー]メニューの機能

〈変更要求(CR)の入力〉フォームの[ロー]メニューには、次のオプションがあります。

<b>総勘定元帳の照会</b>	〈取引明細照会〉プログラム(P09200)で、変更要求の特定勘定(原価、収益、または外注)を照会できます。
<b>追加詳細</b>	変更要求の原価、収益、または外注の明細情報の一部を変更できます。原価勘定と収益勘定は情報のみです。  [外注明細]タブを選んだ場合は、外注情報を検索および入力し、外注勘定を外注管理システムに送信できます。条件のみの変更要求を作成した場合は、最終金額を入力して変更要求をコミットする必要はありません。
<b>金額のコピー</b>	変更要求で選択した行品目について、現在表示されているカラムの金額と単位をコピーできます。次のオプションから選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• [当初から見積へ]。このオプションでは、見積りの金額または単位に当初金額をコピーします。</li><li>• [見積から最終へ]。このオプションでは、最終の金額または単位に見積金額をコピーします。</li></ul> <b>注:</b> [フォーム]メニューの[金額のコピー]オプションでは、変更要求のすべての行品目の金額と単位をコピーできます。
<b>外注費</b>	契約番号に関連した外注勘定を含むローを選んだ場合は、〈購買オーダー〉プログラム(P3210)の〈オーダー見出し〉フォームにエグジットし、追加の外注情報を表示または入力できます。
<b>明細行の削除</b>	入力がエラーになった場合は、明細行品目を削除できます。削除できるのは、詳細状況コード(状況コードと関連付けられている元帳タイプを持つ)と関連付けをしていない明細行品目、または終了していない明細行品目のみです。勘定科目が外注管理システムにコミットされていない場合は、外注勘定を持つ明細行品目のみです。
<b>添付</b>	ドキュメント、イメージ、およびその他のメディアを〈メディア・オブジェクト〉フォームから変更要求に添付できます。

**手数料の計算** <変更要求手数料の計算>プログラム(P5320)で、変更要求の最終原価金額に基づいて合計金額を計算できます。パーセント金額または固定金額を入力して、手数料金額、間接費金額、またはその両方を計算できます。

#### 参照

- 金額のコピーについては、『変更管理』ガイドの「勘定残高のコピー」
- 添付については『基本操作』ガイドの「メディア・オブジェクトの添付」

#### はじめる前に

- 作業が作業原価システムに存在することを確認します。
- 詳細状況コードが変更要求(CR)詳細状況の更新テーブル(F53101)に設定されていることを確認します。コードを検討するには、『変更管理』ガイドの「変更要求詳細状況コードの設定」を参照してください。

#### 参照

- 作業の設定については、『作業原価』ガイドの「作業マスター・レコードの作成」
- 変更要求の関連情報をグループ化する方法については、『変更管理』ガイドの「変更要求の系統立て」

## 基本変更要求情報の入力

変更要求を作成するときに、1つのまたは複数の行品目を入力できます。各行品目には、原価、収益、外注の各勘定を任意に組み合わせて指定できます。

変更要求の見出し域の情報(見出し状況、優先順位、日付、作業特定ユーザー定義コードなど)は共有されます。変更要求を作成する場合は、すべての行品目が見出し情報を共有することを想定してください。

変更要求の詳細域の情報(変更の影響を受ける原価、収益、外注の各勘定など)は、行品目ごとに異なる場合があります。

#### 技術的考慮事項

**元帳タイプ** 元帳タイプが添付されている詳細状況コードを使用する場合は、情報が次のように取引明細テーブル(F0911)にコピーされます。

- 変更要求の一般情報の記述は、[名称説明]フィールド(EXA)にコピーされる。
- 変更要求の勘定振替情報の記述は、[備考]フィールド(EXR)にコピーされる。
- 変更要求番号は、第2の参照フィールド(R2)にコピーされる。

#### ▶ 基本変更要求情報を入力するには

---

<変更管理の設定>メニュー(G5311)から<変更要求(CR)の入力>を選択してください。

1. <変更要求の処理>で、次のフィールドに値を入力して[追加]をクリックします。

- 作業 No.

2. <変更要求(CR)の入力>の[見出し]タブで、次のフィールドに値を入力します。
  - 変更要求(CR)No.
  - 記述
  - 状況コード
  - オーナー承認必須
  - タイプ
  - 優先コード
3. 変更要求を入力する勘定タイプ(原価、収益、または外注)に該当するカラムを表示するには、[表示]タブをクリックし、処理するカラム・タイプのオプションを選択します。表示されるカラムの情報のみ入力できます。
  - 原価勘定のカラムを表示するには、[原価カラム]を選択する。
  - 収益勘定のカラムを表示するには、[収益カラム]を選択する。
  - 外注勘定のカラムを表示するには、[外注カラム]を選択する。
  - 原価勘定と収益勘定のカラムを表示するには、[原価、収益カラム]を選択する。
  - 原価勘定と外注勘定のカラムを表示するには、[原価、外注カラム]を選択する。
  - 収益勘定と外注勘定のカラムを表示するには、[収益、外注カラム]を選択する。
  - すべてのカラムを表示するには、[すべてのカラム]を選択する。
4. 選択したカラムを、処理オプションで指定できるカラム・バージョンとして保存するには、[フォーム]メニューの[カラムの保存]を選択します。
5. <変更管理カラム・バージョン>で、次のフィールドに値を入力して[OK]をクリックします。
  - カラム・バージョン
6. 変更要求の追加データを入力する前に、目的のカラムを選択します。  
表示されているカラムの勘定科目のみ選択できます。
7. [フォーム]メニューから[勘定科目マスター・ピッキング]を選択します。
8. <勘定科目の検索>で、[検索]をクリックします。  
フォームの詳細域に、作業に対して設定されている勘定科目表が表示されます。

---

**注:**

処理オプションの見出しと詳細に対してデフォルトの状況コードを指定できます。

---

9. 変更要求に含める勘定科目を選んで、[ロー]メニューからオプションを選択します。

**注:**

〈変更要求(CR)の入力〉フォームのカラム・タイプに適用されるオプションのみ選択できます。たとえば、原価カラムが表示されている場合は[原価明細]のみ選択でき、すべてのカラム・タイプが表示されている場合は[すべての明細]のみ選択できます。オプションは次のとおりです。

- 原価勘定の見出し情報を含めるには、[原価]を選択して、[原価見出し]をクリックする。原価勘定の明細情報を含めるには、[原価]を選択し、[原価明細]をクリックする。
- 収益勘定の見出し情報を含めるには、[収益]を選択し、[収益見出し]をクリックする。収益勘定の明細情報を含めるには、[収益]を選択し、[収益明細]をクリックする。
- 外注勘定の見出し情報を含めるには、[外注]を選択し、[外注見出し]をクリックする。外注勘定の明細情報を含めるには、[外注]を選択し、[外注明細]をクリックする。
- すべての勘定科目の見出し情報を含めるには、[すべての勘定]を選択し、[すべての見出し]をクリックする。すべての勘定科目の明細情報を含めるには、[すべての勘定]を選択し、[すべての明細]をクリックする。

〈変更要求(CR)の入力〉フォームの明細行で、[勘定科目コード]フィールドが入力されます。

10. [追加選択]タブをクリックして、次の任意フィールドに値を入力します。

- 備考
- 参照 1
- 参照 2
- 参照 3

11. [住所/日付]タブをクリックして、次の任意フィールドに値を入力します。

- オーダー入力者 No.
- 要求入力者
- 承認担当者
- 入力日
- 承認日
- 予定開始日付
- 予定終了日付

- 日付 1
- 日付 2
- 日付 3

12. [カテゴリ・コード]タブをクリックし、次の任意フィールドに値を入力して[OK]をクリックします。

- 要求者
- 地域
- カテゴリ・コード 3
- カテゴリ・コード 4
- カテゴリ・コード 5
- カテゴリ・コード 6
- カテゴリ・コード 7
- カテゴリ・コード 8
- カテゴリ・コード 9
- カテゴリ・コード 10

注:

[カテゴリ・コード - 変更オーダー]フィールド 6~10 は、作業特定ユーザー定義コードです。

## フィールド記述

記述	用語解説
作業 No.	変更要求に関連する作業またはプロジェクトの番号。ビジネスユニット・マスター(F0006)に設定されている値を入力してください。
変更要求(GR)No.	特定の作業に対する変更要求番号
状況コード	変更要求の状況を示すコード。これは情報のみであり元帳タイプには添付されません。変更要求明細状況の更新テーブル(F53101)で定義されている状況コードと混同しないようにしてください。

<b>オーナー承認必須</b>	<p>変更要求の作業を開始する前にオーナーの承認が必要かどうかを示すコード。これを使用して当初の契約にこの作業が入っていたかどうかを示すことができます。作業が契約に入っていなかった場合は、オーナーの承認が必要となります。このフィールドはレポートにのみに使用され、変更要求の処理には影響しません。有効な値は次のとおりです。</p> <p>Y オーナー承認が必要 N オーナー承認は不要 ブランク フィールドは無視される</p>
<b>タイプ</b>	変更要求のタイプを示すユーザー定義コード(53/TY)
<b>優先コード</b>	<p>変更要求の優先度を示すユーザー定義コード(53/PR)。フィールドの横にある検索ボタンをクリックすると、有効な値が表示されます。優先度コードの例は次のとおりです。</p> <p>H 高 M 中 L 低 U 緊急</p>
<b>コラム・バージョン</b>	<p>特定のバージョンを示すコード。バージョンは、ユーザー指定の様になります。これは、アプリケーションやレポートの実行方法の指定に使用します。</p> <p>バージョンを使用して、ユーザー定義の処理オプション値やデータ選択、順序オプションなどをグループ化し保存することができます。対話型バージョンは(通常、メニュー選択の形で)アプリケーションと関連しています。バッチバージョンはバッチジョブまたはレポートと関連しています。バッチ処理を実行する場合はバージョンを選択してください。</p>
<b>備考</b>	備考、記述、名前、住所などに使用する汎用フィールド
<b>参照 1</b>	変更要求に関連するソース伝票または要求入力を識別する番号。
<b>オーダー入力者 No.</b>	変更要求を出した担当者の住所録番号。この番号はシステムにより住所録レコードと検証されます。
<b>要求入力者</b>	変更要求を作成した担当者の住所番号
<b>承認担当者</b>	変更要求を承認する担当者の住所番号。
<b>入力日</b>	商品の納入予定日付または作業の完了予定日付。
<b>承認日</b>	<p>該当する権限を持つ担当者が購買要求を承認した日付。</p> <p>OneWorld の場合:エンタープライズ・ワークフロー管理システムを使用して購買要求の承認処理を自動化している場合、担当者が購買要求を承認した段階で承認日付が自動更新されます。これにより、フィールドの値が一時変更されます。</p>

予定開始日付	作業項目の開始予定日付
予定終了日付	作業項目の終了予定日付
要求者	ユーザー定義コード(10個違ったコードが許可されています)は、ユーザーがこのコードに割当てる値によって選択的報告の作成に使用できます。
地域	ユーザー定義コード(10個違ったコードが許可されています)は、ユーザーがこのコードに割当てる値によって選択的報告の作成に使用できます。
カテゴリ・コード 3	ユーザー定義コード(10個違ったコードが許可されています)は、ユーザーがこのコードに割当てる値によって選択的報告の作成に使用できます。

### 関連タスク

勘定科目コードの変更	行品目の勘定科目コードは、元帳タイプが添付された詳細状況コードがその行品目の勘定科目に割り当てられていない場合にのみ変更できます。
行品目情報の削除	変更要求の行品目情報は、元帳タイプがどの行品目の詳細状況コードにも添付されていない場合、変更要求が終了していない場合、および明細行品目の外注勘定または収益勘定がコミットされていない場合にのみ削除できます。
変更要求の削除	変更要求は、次のいずれのテーブルにも変更要求の情報が入力されていない場合にのみ削除できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 勘定残高(F0902)</li> <li>• 取引明細(F0911)</li> <li>• 変更要求(CR)詳細テーブル(F5311)</li> <li>• 計画変更オーダー(PCO)マスター(F5314)</li> <li>• ログ・マスター(F4303)</li> </ul>

### 勘定振替情報の入力

変更要求に作成する各行品目には、次のカテゴリの勘定振替情報を任意に組み合わせて入力できます。

- 会社と関連付けられている原価または予算情報
- 所有者と関連付けられている収益情報
- 仕入先と関連付けられている外注情報

各行品目について、各勘定タイプ(原価、収益、または外注)の詳細状況コードを入力する必要があります。詳細状況コードに元帳タイプが割り当てられている場合は、状況コードにより、その元帳の勘定残高が更新されます。各勘定タイプに異なる状況コードを設定して、原価、収益、外注の各勘定に同じ勘定科目コードを使用できます。これにより、勘定科目のさまざまな元帳が更新されます。

勘定振替情報は、次のいずれかの方法で入力できます。

- 複数の勘定科目を入力する。複数の勘定科目を入力した場合は、〈勘定科目の検索〉フォームから選択した勘定科目ごとに別々の行品目が作成されます。勘定科目と関連付けられている記述および計量単位も提供されます。〈変更要求(CR)の入力〉フォームの最初の空白行から、行品目の追加が開始します。
- 一度に1つの行品目に勘定科目を入力する。このオプションは、行品目の作成後に勘定科目を追加する場合に役立ちます。たとえば、原価勘定のみある行品目にアクセスする場合は、収益勘定の情報をその行に手動で追加できます。

勘定振替情報は、変更要求マスター(F5301B)と変更要求詳細(CR)テーブル(F5311)に保管されます。

## 参照

- 詳細状況コードの使用については、『変更管理』ガイドの「詳細状況コードの理解」

## ▶ 原価勘定情報を入力するには

---

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。

1. 〈変更要求の処理〉で、次のフィールドに値を入力して[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
2. 原価勘定情報を入力する要求を選んで、[選択]をクリックします。
3. 〈変更要求(CR)の入力〉の詳細域にある、次のフィールドに値を入力して[OK]をクリックします。

---

### 注:

〈変更要求(CR)の入力〉フォームに原価フィールドが表示されない場合は、[表示]タブをクリックし、原価勘定を含めるオプションを選択します。また、[フォーム]メニューの[勘定科目マスター・ピッキング]オプションを使用して勘定科目を選択した場合は、[原価勘定科目コード]、[原価 UM]、[原価記述]、[原価元帳日付]の各フィールドが入力されます。

勘定科目コードと日付を要求する処理オプションを設定した場合は、金額と詳細状況コードを入力する前に、勘定科目コードを入力する必要があります。

---

- 変更状況
- 原価元帳タイプ
- 当初原価
- 見積原価
- 最終原価
- 原価設定
- 当初原価単位レート

- 見積原価単位レート
- 最終原価単位レート
- 原価単位
- 当初原価数量
- 見積原価数量
- 原価最終数量
- 原価勘定科目 No.
- 原価記述
- 原価補助元帳
- 原価補助元帳タイプ
- 原価元帳日付
- 最適原価をゼロに変更

#### フィールド記述

記述	用語解説
変更状況	選択した作業および行項目に対する原価変更要求の状況を指定するユーザー定義コード(53/ST)。 このコードは変更要求の承認処理で使用され、これにより勘定残高テーブル(F0902)の更新される元帳タイプが決まります。
原価元帳タイプ	元帳タイプを識別するユーザー定義コード(09/LT)
当初原価	原価変更要求の明細項目の当初金額。
見積原価	原価変更要求の明細行項目の見積金額。
最終原価	原価変更要求の明細行項目の最終金額。
原価設定	原価情報に関連付けられた価格設定タイプ。変更要求で通常使用する価格設定タイプは次のとおりです。  U 単価変更 L 一括変更
当初原価単位レート	変更要求の明細行項目の当初単価
見積原価単位レート	変更要求の明細行項目の見積単価

<b>最終原価単位レート</b>	変更要求(CR)の明細行項目の最終原価単位レート
<b>原価単位</b>	金額または数量の単位を識別するユーザー定義コード(00/UM)。バレル、立方ヤード、ガロン、時間などがあります。
<b>当初原価数量</b>	変更要求の行項目の当初原価の数量。
<b>見積原価数量</b>	原価変更要求の明細行項目の見積数量。
<b>原価最終数量</b>	原価変更要求の明細行項目の最終数量。
<b>原価勘定科目 No.</b>	勘定科目コードのビジネスユニット、主科目、補助科目部分の組合せ
<b>原価補助元帳</b>	このコードは、総勘定元帳において補助的な明細勘定科目を識別します。補助元帳には設備番号、住所番号などが使用できます。補助元帳を入力する場合は補助元帳タイプも指定してください。
<b>原価補助元帳タイプ</b>	補助元帳フィールドと併用するユーザー定義コード(00/ST)で、補助元帳タイプと補助元帳編集を識別します。〈ユーザー定義コード〉フォームでは、記述の第2行目により補助元帳の編集方法が制御されます。ハードコード化されている値またはユーザー定義の値を指定できます。有効な値は次のとおりです。  A 英数字フィールド。編集しない。 N 数値フィールド。右に揃え、ゼロで埋める。 C 英数字フィールド。右に揃え、ゼロで埋める。
<b>原価元帳日付</b>	原価情報の行項目の元帳日付
<b>最適原価をゼロに変更</b>	変更要求明細行項目の最適原価をゼロとするかどうかを示すコード。

#### ▶ 収益勘定情報を入力するには

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。

1. 〈変更要求の処理〉で、次のフィールドに値を入力して[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
  - ジャンプ先変更要求(CR)No.
2. 収益勘定情報を入力する要求を選んで、[選択]をクリックします。
3. 〈変更要求(CR)の入力〉の詳細域にある、次のフィールドに値を入力して[OK]をクリックします。

---

**注:**

〈変更要求(CR)の入力〉フォームに収益フィールドが表示されない場合は、[表示]タブをクリックし、収益勘定を含めるオプションを選択します。[フォーム]メニューの[勘定科目マスター・ピッキング]オプションを使用して勘定科目を選択した場合は、[収益勘定科目コード]、[収益 UM]、[収益記述]、[収益元帳日付]の各フィールドが入力されます。

---

- 収益状況
- 収益元帳タイプ
- 当初収益
- 見積収益
- 最終収益
- 期間影響

条件のみの変更要求(Rev TO = Y)を作成した場合は、最終金額を入力して変更要求をコミットする必要はありません。

- 収益設定
- 当初収益単位レート
- 見積収益単位レート
- 最終収益単位レート
- 収益単位
- 当初収益数量
- 見積収益数量
- 最終収益数量
- 収益勘定 No.
- 収益記述
- 収益補助元帳
- 収益補助元帳タイプ
- 収益元帳日付
- 収益最適金額ゼロ
- 契約 No.

- 契約タイプ
- 契約会社
- 契約変更 No.
- オーナー住所 No.
- 契約コミット
- 契約反映日

## フィールド記述

記述	用語解説
収益状況	選択した作業および行項目に対する収益変更要求の状況を指定するユーザー定義コード(53/ST)。このコードは変更要求の承認処理で使用され、これにより勘定残高テーブル(F0902)の更新される元帳タイプが決まります。
収益元帳タイプ	元帳タイプを指定するユーザー定義コード(09/LT)
当初収益	収益変更要求の明細項目の当初金額。
見積収益	変更要求の行項目の見積収益金額。
最終収益	変更要求の行項目の最終収益金額。
期間影響	この変更が、契約金額だけでなく、期間延長やスケジュール変更などの契約期間にも影響を及ぼすかを指定するコード。 有効な値は次のとおりです。  Y 契約期間にも影響する N 契約期間には影響しない
収益設定	収益情報に関連付けられた価格設定タイプ。変更要求で通常使用する価格設定タイプは次のとおりです。  U 単価変更 L 一括変更
当初収益単位レート	変更要求(CR)の明細行項目の当初収益単位レート
見積収益単位レート	変更要求(CR)の明細行項目の見積収益単位レート
最終収益単位レート	変更要求の行項目の最終収益単位レート。

---

<b>収益単位</b>	金額または数量の単位を識別するユーザー定義コード(00/UM)。バレル、立方ヤード、ガロン、時間などがあります。
<b>当初収益数量</b>	変更要求の明細行項目に対する当初収益数量
<b>見積収益数量</b>	変更要求の行項目の見積収益数量。
<b>最終収益数量</b>	変更要求の行項目の最終収益数量。
<b>収益勘定 No.</b>	勘定科目番号(ビジネスユニット、主科目、補助科目)
<b>収益補助元帳</b>	総勘定元帳の勘定科目を細分化して補助的に使用する科目を識別するコード。補助元帳としては設備番号、住所番号などが使用できます。補助元帳を入力する場合は、同時に補助元帳タイプも指定してください。
<b>収益補助元帳タイプ</b>	<p>補助元帳フィールドと併用するユーザー定義コード(00/ST)で、補助元帳タイプと補助元帳編集を識別します。〈ユーザー定義コード〉フォームでは、記述の第2行目により補助元帳の照合方法が制御されます。ハードコード化されている値またはユーザー定義の値を指定できます。有効な値は次のとおりです。</p> <p style="margin-left: 40px;">A 英数字フィールド。編集しない。  N 数値フィールド。右に揃え、ゼロで埋める。  C 英数字フィールド。右に揃え、ゼロで埋める。</p>
<b>収益元帳日付</b>	収益情報用の行項目に関連する元帳日付。
<b>収益最適金額ゼロ</b>	変更要求の明細行項目の最適収益金額をゼロとするかどうかを示すコード。
<b>契約 No.</b>	契約請求システムで使用される契約番号。契約請求システムと変更管理システムは、契約番号、契約タイプ、契約会社の組み合わせによりリンクされます。これらの値により、変更要求の収益情報を契約請求システムにコピーできます。
<b>契約タイプ</b>	契約請求システムの契約に結びついた契約タイプ。このコードは、ユーザー定義コード(00/DT)で定義されます。このフィールドは、契約番号および契約会社と共に、変更要求を契約請求システムにリンクさせます。
<b>契約会社</b>	<p>伝票番号、伝票タイプ、および元帳日付を使って、請求書、伝票、仕訳などの当初伝票を識別する番号。</p> <p>「会社/会計年度別自動採番」を使用する場合は、自動採番プログラム(X0010)で伝票会社を使ってその会社の正しい自動採番が取り込まれます。2つ以上の当初伝票に同じ伝票番号および伝票タイプが存在する場合は、伝票会社を使って伝票を検索できます。</p>

---

契約変更 No.	契約の変更番号。基本契約の変更オーダー番号は常に 000 から始まります。 契約に対する変更オーダーを入力するごとに、変更オーダー番号を 1 つ繰り上げます。例えば、基本契約の変更オーダー番号が 000 とすると、最初の変更オーダーは 001、2 番目の 002 となります。
オーナー住所 No.	請求書と売掛金取引の転記先住所番号
契約コミット	変更要求の明細行項目が契約請求システムにコミット済みかどうかを示すコード。 明細行がテスト・モードでコミットされている場合は P、最終モードでコミットされている場合は F が表示されます。
契約反映日	収益明細レコードが契約請求に対して反映またはコミットされた日付

### ▶ 外注勘定情報を入力するには

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。

- 〈変更要求の処理〉で、次のフィールドに値を入力して[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
  - ジャンプ先変更要求(CR)No.
- 外注情報を入力する要求を選んで、[選択]をクリックします。
- 〈変更要求(CR)の入力〉で、次のフィールドに値を入力して[OK]をクリックします。

#### 注:

〈変更要求(CR)の入力〉フォームに外注フィールドが表示されない場合は、[表示]タブをクリックし、外注勘定を含めるオプションを選択します。[フォーム]メニューの[勘定科目マスター・ピッキング]オプションで勘定科目を選択した場合は、[外注勘定科目コード]、[外注UM]、[外注記述]の各フィールドが入力されます。

- 外注状況
- 外注契約契約元帳タイプ
- 当初外注
- 外注見積
- 外注最終
- 金額以外
- 価格タイプ

- 外注当初単位レート
- 外注見積単位レート
- 外注最終単位レート
- 外注単位
- 外注当初数量
- 外注見積数量
- 外注最終数量
- 外注勘定科目 No.
- 外注記述
- 外注補助元帳
- 外注補助元帳タイプ
- 外注元帳日付
- 最適金額ゼロ強制
- 外注契約 No.
- 外注契約タイプ
- 外注オーダーサフィックス
- 外注会社
- 外注行 No.
- 仕入先 No.
- 外注送付フラグ
- 外注反映日

## フィールド記述

記述	用語解説
外注状況	選択した作業および行項目に対する外注変更要求の状況を指定するユーザー定義コード(53/ST)。このコードは変更要求の承認処理で使用され、勘定残高テーブル(F0902)で更新される元帳タイプが決まります。
外注契約契約元帳タイプ	元帳タイプを識別するユーザー定義コード(09/LT)

---

<b>当初外注</b>	外注変更要求の明細項目の当初金額。
<b>外注見積</b>	変更要求の行項目の見積外注金額。
<b>外注最終</b>	変更要求の行項目の外注最終金額
<b>金額以外</b>	<p>変更が価格だけでなく契約条件(期間延長、スケジュールの変更など)にも影響するのかどうかを指定するコード。有効な値は次のとおりです。</p> <p>Y 契約条件にも影響する N 契約条件には影響しない</p>
<b>価格タイプ</b>	<p>外注情報に関連付けられた価格設定タイプ。変更要求で通常使用する価格設定タイプは次のとおりです。</p> <p>U 単価変更 L 一括変更</p>
<b>外注当初単位レート</b>	変更要求の行項目の当初外注単位レート。
<b>外注見積単位レート</b>	変更要求の行項目の見積外注単位レート。
<b>外注最終単位レート</b>	変更要求の行項目の最終外注単位レート。
<b>外注単位</b>	金額または数量の単位を識別するユーザー定義コード(00/UM)。バレル、立方ヤード、ガロン、時間などがあります。
<b>外注当初数量</b>	変更要求の行項目の当初外注数量。
<b>外注見積数量</b>	変更要求の行項目の見積外注数量。
<b>外注最終数量</b>	変更要求の行項目の最終外注数量。
<b>外注勘定科目 No.</b>	勘定科目番号(ビジネスユニット. 主科目. 補助科目)
<b>外注補助元帳</b>	<p>総勘定元帳の勘定科目をさらに細かく分類して取引を記録するための補助区分コード。たとえば住所番号を入力して、従業員別に経費を把握することができます。このフィールドに入力する場合、補助元帳タイプも指定する必要があります。</p>

---

<b>外注補助元帳タイプ</b>	<p>補助元帳フィールドと併用するユーザー定義コード(00/ST)で、補助元帳タイプと補助元帳編集を識別します。〈ユーザー定義コード〉フォームでは、記述の第2行目により補助元帳の照合方法が制御されます。ハードコード化されている値またはユーザー定義の値を指定できます。有効な値は次のとおりです。</p> <p>A 英数字フィールド。編集しない。  N 数値フィールド。右に揃え、ゼロで埋める。  C 英数字フィールド。右に揃え、ゼロで埋める。</p>
<b>外注元帳日付</b>	外注契約情報の行項目の元帳日付
<b>最適金額ゼロ強制</b>	変更要求の明細行項目の最適外注金額をゼロとするかどうかを示すコード。
<b>外注契約 No.</b>	契約管理システムに使用される契約番号。この番号を契約タイプおよび契約会社と組み合わせることで、契約管理システムと変更管理システムをリンクさせることができます。これにより変更要求に対する買取情報を契約管理システムにコピーすることができます。
<b>外注契約タイプ</b>	外注管理システムの契約に関連付けられるユーザー定義コード(00/DT)です。このフィールド値と契約番号、契約会社の組合せにより、変更要求(CR)外注管理システムとリンクされます。
<b>外注オーダーサフィックス</b>	契約請求システムの契約に関連した変更オーダー番号。このフィールドは、契約番号、契約タイプ、および会社番号とともに、変更要求を契約請求システムにリンクするときに使用されます。契約マスター(F5201)に登録されている値を使用してください。
<b>外注会社</b>	契約番号、契約タイプと組み合わせて外注契約を識別する会社固有の番号。
<b>外注行 No.</b>	購買オーダーまたはその他の伝票の行番号など、発生頻度の高い番号を識別する番号。通常は自動的に割り当てられますが、一時変更できる場合もあります。
<b>仕入先 No.</b>	仕入先または協力会社の住所番号
<b>外注送付フラグ</b>	<p>変更要求の明細行項目が外注管理システムにコミット済みかどうかを示すコード。</p> <p>明細行がテスト・モードでコミットされている場合は P、最終モードでコミットされている場合は F が表示されます。</p>
<b>外注反映日</b>	外注契約明細レコードが外注管理システムに対してコミットされた日付

## ▶ 一般明細行情報を入力するには

---

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。

1. 〈変更要求の処理〉で、次のフィールドに値を入力して[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
  - ジャンプ先変更要求(CR)No.
2. 一般明細行情報を入力する要求を選んで、[選択]をクリックします。
3. 〈変更要求(CR)の入力〉の詳細域にある、次のフィールドに値を入力して[OK]をクリックします。
  - 所要日数
  - 延長日付
  - 見積期日
  - 見積受取日
  - 要求終了

### フィールド記述

---

記述	用語解説
所要日数	変更に必要な日数
延長日付	変更により作業実行が延期される日数
見積期日	変更要求の行項目の見積締切日。
見積受取日	変更要求の行項目の見積受取日。
要求終了	変更要求明細行、計画変更オーダー、変更オーダーが終了しているかどうかを示すコード。 追加アクションは必要ありません。有効な値は次のとおりです。  0 オープン  1 終了

---

## 勘定残高のコピー

変更要求の明細行品目の入力または更新時に、ある金額タイプや単位タイプ(当初または見積)から別のタイプに勘定残高をコピーできます。たとえば、[当初原価]フィールドに金額を入力した後で、その金額を[見積原価]フィールドにコピーし、[見積原価]フィールドの金額を[最終原価]フィールドにコピーできます。金額と単位をコピーすると、データ入力時間を節約でき、金額が置換されないことが保証されます。

[フォーム]メニューの[金額のコピー]オプションを使用した場合は、変更要求のすべての勘定タイプとすべての行の金額と単位がコピーされます。たとえば、次の内容を含む変更要求について考えます。

- 原価勘定のある2つの明細行
- 収益勘定のある2つの行
- 外注勘定と収益勘定の両方がある2つの行

[フォーム]メニューの[金額のコピー]、[当初から見積へ]オプションを使用した場合は、6つの明細行すべてについて、[当初]フィールドの金額または単位が[見積り]フィールドにコピーされます。[見積り]フィールドの既存の金額は、新規金額で上書きされます。

[ロー]メニューの[金額のコピー]オプションを使用した場合は、選択した行のすべての勘定タイプのコピーと単位がコピーされます。既存の金額と単位は上書きされます。

---

### 注:

カラムが詳細域に表示されている勘定タイプのコピーと単位のみコピーされます。たとえば、原価カラムと収益カラムのみ表示している場合は、その勘定の金額はコピーされますが、外注勘定の金額はコピーされません。

---

### ▶ 勘定残高をコピーするには

---

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。

1. 〈変更要求の処理〉で、次のフィールドに値を入力して[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
  - ジャンプ先変更要求(CR)No.
2. レコードを選んで、[選択]をクリックします。
3. 〈変更要求(CR)の入力〉で、[表示]タブをクリックし、勘定科目をコピーするカラム・タイプを選択します。
4. 次のいずれかの処理を選択します。
  - すべての行のすべての勘定タイプをコピーするには、[フォーム]メニューから[金額のコピー]を選択して、[当初から見積へ]または[見積から最終へ]を選択する。

- 特定の行のすべての勘定タイプをコピーするには、処理する行を選択する。[ロー]メニューから[金額のコピー]を選択し、[当初から見積へ]または[見積から最終へ]を選択します。

## 処理オプション: 変更要求(CR)の入力プログラム(P5310)

### 編集タブ

勘定科目コードおよび日付のシステム要件を指定します。[フォーム]メニューの[勘定科目マスター・ピッキング]オプションを使用して、作業に対して有効な勘定科目コードを一覧表示し、選択します。[勘定科目マスター・ピッキング]を使用した場合は、[元帳日付]も入力されます。その他の方法として、原価、収益、および外注の[勘定科目コード]フィールドで[検索]ボタンを使用して、勘定科目コードを選択するか、または、勘定科目コードを手動で入力します。勘定科目コードを選ぶか手動で入力した場合、日付を入力していなければ[元帳日付]フィールドが入力されます。

---

#### 1. 勘定科目コードおよび日付

ブランク = 状況コードに元帳がある場合は必須

1 = 勘定科目コードおよび日付必須

勘定科目コードと元帳日付の入力を必須にするかどうかを指定します。

有効な値は次のとおりです。

ブランク 元帳タイプに勘定科目の詳細状況コードがある場合のみ必須

1 常に必須

---

### 監査タブ

変更要求に対する修正の、監査証跡レコードの作成方法を指定します。既存のレコードを置換して各期間の新規レコードを作成する、既存のレコードに追加して新規レコードを作成する、レコードを作成しない、などを指定できます。このオプションは、〈変更要求(CR)の入力〉プログラムから更新される変更要求にのみ適用されます。

---

#### 1. F0911 の監査証跡

ブランク = 期間ごとに作成する

1 = 監査証跡レコードを作成する

2 = 監査証跡レコードを作成しない

取引明細テーブル(F0911)の監査証跡レコードの作成方法を指定します。有効な値は次のとおりです。

---

ブランク 期間が変わるごとに監査証跡レコードを作成する  
(元帳日付が期間終了日付の取引明細レコードがある  
場合、そのレコードは新しい情報で更新され、ない場合  
は新しいレコードが作成されます)

- 1 既存の取引明細レコードがあるかどうかに関わらず、  
新しい監査証跡レコードを作成する
- 2 監査証跡レコードを作成しない

---

## デフォルト・タブ

[オーナー承認必須]フィールド、元帳日付、補助元帳と補助元帳タイプ、変更要求の合計計算、自動 PCO 番号、およびカラム・バージョンのデフォルト値を指定します。〈変更要求(CR)の入力〉フォームのデフォルト値を一時変更できます。

---

### 1. オーナー変更必須

[オーナー変更必須]フィールドのデフォルト値を指定します。ブランクにすると、デフォルト値の N が使用されます。

### 2. 元帳日付

ブランク = 期間パターン日付

1 = システム日付

元帳日付のデフォルト値を指定します。

有効な値は次のとおりです。

ブランク 会社の会計期間パターンの日付を使用する

- 1 システム日付を使用する

### 3. 補助元帳および補助元帳タイプ

ブランク = 値なし

1 = 補助元帳は変更要求番号、補助元帳タイプは 'J'

補助元帳と補助元帳タイプのデフォルト値を指定します。

有効な値は次のとおりです。

ブランク [補助元帳]および[補助元帳タイプ]フィールド  
にデフォルト値を表示しない

---

- 
- 1 [補助元帳]フィールドには変更要求番号、[補助元帳タイプ]フィールドには“J”を表示する

#### 4. 原価、収益、外注の合計

- 1 = 当初
- 2 = 見積
- 3 = 最終
- 4 = 最適

変更要求合計の計算方法を指定します。有効な値は次のとおりです。

- 1 当初金額を使用する
- 2 見積金額を使用する
- 3 最終金額を使用する
- 4 最適金額を使用する

ブランクの場合は、最適金額を使って変更要求合計額が計算されます。最適金額の計算方法は、〈変更要求の入力〉フォームで入力する金額の組合せによって異なります

- ・最終金額のみ、または最終金額とそれ以外の金額を入力した場合最終金額が最適金額となります。
- ・見積金額と当初金額を入力して最終金額を入力しない場合は、見積金額が最適金額となります。
- ・当初金額のみ入力した場合、当初金額が最適金額となります。

#### 5. PCO 番号の作成

ブランク = 変更要求番号を PCO 番号に使用

1 = 「次の番号」を PCO 番号に使用

計画変更オーダー(PCO)の作成時に PCO 番号として使用する番号を指定します。

有効な値は次のとおりです。

ブランク 変更要求番号(計画変更要求に添付した最初の変更要求の番号)

- 1 次に使用可能な番号

---

## 6. カラムバージョン

〈変更要求の入力〉プログラムを実行する時に使用するカラムバージョンを指定します。バージョンを指定すると、選択したユーザーカラムが取り込まれます。ブランクの場合、すべてのカラムが表示されます。

使用するカラムバージョンを作成するには、[フォーム]メニューから[カラム保存]を選択してください。

注:〈変更管理システムセットアップ〉メニューの〈カラムバージョンユーザー一時変更〉を使用すると、既存のカラムを検索することができます。アプリケーションを〈変更要求の入力〉プログラム(P5310)と指定して照会してください。

## 7. カラムバージョンの変更許可

ブランク = 禁止する

1 = 許可する

カラムバージョンの変更と追加を制限するかどうかを指定します。有効な値は次のとおりです。

ブランク カラムバージョンの変更と追加を制限する

1 カラムバージョンの変更と追加を可能にする

## 8. デフォルト原価状況コード

原価勘定のデフォルトの状況コードを指定します。〈変更要求の詳細状況コード更新〉プログラム(P53101)でこの状況コードが設定されていることを確認してください。

## 9. デフォルト収益状況コード

収益勘定の詳細状況コードを指定します。〈変更要求の詳細状況コード更新〉プログラム(P53101)でこの状況コードが設定されていることを確認してください。

## 10. デフォルト外注状況コード

外注勘定の詳細状況コードを指定します。〈変更要求の詳細状況コード更新〉プログラム(P53101)でこの状況コードが設定されていることを確認してください。

---

---

## 11. デフォルト見出し状況コード

変更要求(CR)に割り当てるデフォルト状況コードを指定します。指定したコードがユーザー定義コード 53/ST(変更要求見出し状況)に設定されていることを確認してください。

---

### 金額タブ

次の情報を指定します。

- 外注金額から原価金額および収益金額を更新する方法
  - 原価金額または収益金額が外注金額と等しくない場合に警告メッセージを表示するかどうか
- 

#### 1. 外注金額に対応した収益金額の更新

blank = 収益金額を更新しない

- 1 = 収益金額をすべて外注金額に等しくする
- 2 = 当初収益金額を最適外注金額に等しくする
- 3 = 収益金額を外注金額 + 原価金額に等しくする

外注契約金額から収益を更新する方法を指定します。オプション 1、2 または 3 を選択すると、[収益]フィールドには入力することはできません。[収益]と[詳細状況コード]フィールドにはシステムにより自動的に値が入力されます。たとえばオプション 1 を選択した場合、[収益]フィールドが編集不可になり、関連する外注勘定科目のフィールドに入力した金額が入ります。外注勘定科目で収益詳細状況コードに入力されている詳細状況コードも使用されます。有効な値は次のとおりです。

blank 収益を更新しない

- 1 収益 = 外注契約金額の合計。該当する収益勘定のフィールドに外注契約の当初、見積および最終金額が書き込まれます。
  - 2 当初収益 = 外注契約最適金額。外注勘定の最適金額が計算され、収益勘定の[当初収益]フィールドに書き込まれます。[当初収益]フィールドに書き込まれた後に最適金額を変更した場合は、フィールドが更新されて最新の最適金額が表示されます。
  - 3 収益 = 外注契約金額 + 原価。外注契約および原価勘定の各数量分の金額が加算され、該当する収益勘定の[当初金額]、[見積金額]および[最終金額]フィールドに書き込まれます。
-

---

たとえば、明細行の[当初原価]と[当初外注契約金額]フィールドに入力した場合、その合計額が[当初収益]フィールドに自動的に表示されます。

## 2. 収益金額と外注金額が一致しない場合の表示

ブランク = メッセージウィンドウを表示しない

1 = メッセージウィンドウを表示する

収益金額と外注契約金額が一致しない場合にメッセージを表示するかどうかを指定します。有効な値は次のとおりです。

ブランク メッセージを表示しない

1 メッセージを表示する

## 3. 外注金額に対応した原価金額の更新

ブランク = 原価金額を更新しない

1 = 原価金額をすべて外注金額に等しくする

2 = 当初原価金額を最適外注金額に等しくする

外注契約金額から原価を更新する方法を指定します。オプション 1 または 2 を選択すると、[原価]フィールドには入力することはできません。

[原価]および[詳細状況コード]フィールドにはシステムにより自動的に値が入力されます。たとえばオプション 1 を選択した場合、[原価]フィールドが編集不可になり、関連する外注勘定科目のフィールドに入力した金額が入力されます。また、外注勘定科目の詳細状況コードは原価の詳細状況コードとして使用されます。

有効な値は次のとおりです。

ブランク 原価を更新しない

1 原価 = 外注契約金額の合計。該当する原価勘定のフィールドに、外注契約の当初、見積および最終金額が書き込まれます。

2 当初原価 = 外注契約最適金額。外注勘定の最適金額が計算され、該当する原価勘定の[当初原価]フィールドに書き込まれます。[当初原価]フィールドに書き込まれた後に最適金額を変更した場合は、フィールドが更新されて最新の最適金額が表示されます。

---

#### 4. 原価金額と外注金額が一致しない場合の表示

blank = メッセージウィンドウを表示しない

1 = メッセージウィンドウを表示する

原価金額と外注契約金額が一致しない場合にメッセージを表示するかどうかを指定します。有効な値は次のとおりです。

blank   メッセージを表示しない

1       メッセージを表示する

---

#### 契約タブ

収益または外注明細行の契約番号を返すかどうかを指定します。[フォーム]メニューの[勘定科目マスター・ピッキング]オプションを使用した場合は、この処理オプションに応じて契約番号が返されます。

---

##### 1. 行項目に契約番号を返す

blank = 契約番号を返さない

1 = 外注契約番号を返す

2 = 請求契約番号を返す

3 = 外注契約番号と請求契約番号を返す

収益または外注契約行の項目用に〈勘定科目マスターピッキング〉プログラムから契約番号を返すかどうかを指定します。作業番号が一致した場合は、収益行項目レコード用の契約番号が返されます。略式 ID が一致した場合は、外注契約行項目レコード用の契約番号が返されます。有効な値は次のとおりです。

blank   契約番号を返さない

1       外注契約番号を返す

2       請求契約番号を返す

3       外注契約番号と請求契約番号の両方を返す

---

#### 契約コミット・タブ

変更要求の明細行の契約を契約請求システムにコミットする方法を指定します。

---

## 1. 実行モード

ブランク = テスト・モード

1 = 最終モード

〈外注契約コミット〉プログラムをテスト・モードと最終モードのどちらで実行するかを指定します。最終モードで実行する前に、まずテスト・モードで実行してレポートの内容を確認してください。その後で必要に応じた修正をしてから、最終モードで実行してください。プログラムを最終モードで実行すると、該当するテーブルが更新されて、レポートが作成されます。有効な値は次のとおりです。

0 テスト・モードで実行する

1 最終モードで実行する

## 2. 収益用の変更要求コード

行項目を外注管理システムへコミットする際に明細行の外注契約勘定に自動的に割り当てる詳細状況コードを指定します。〈変更要求の詳細状況コード更新〉プログラム(P53101)でこの状況コードが設定されていることを確認してください。

---

## 外注契約コミット・タブ

変更要求の明細行の外注勘定を外注管理システムにコミットする方法を指定します。

---

## 1. 実行モード

ブランク = テスト・モード

1 = 最終モード

〈外注契約コミット〉プログラムをテストモードと最終モードのどちらで実行するかを指定します。最終モードで実行する前にまずテストモードで実行してレポートの内容を確認してください。必要に応じて修正してから、最終モードで実行してください。プログラムを最終モードで実行すると、テーブルが更新され、レポートが作成されます。有効な値は次のとおりです。

ブランク テストモードで実行

1 最終モードで実行

## 2. 外注変更オーダー番号

ブランク = 既存の変更オーダーの番号を使用する

---

---

1 = 次のオプションで指定する

変更要求の明細行で外注契約勘定に割り当てる、外注契約変更オーダー番号を指定します。外注契約変更オーダーとは、外注管理システムで作成された変更オーダーに割り当てられる番号です。

有効な値は次のとおりです。

ブランク 既存の外注契約変更オーダーの番号を使用する

- 1 処理オプションで指定した外注契約変更オーダー番号を使用する

注：外注契約に対する支払がされていない場合は、既存の外注契約変更オーダーの番号しか使用できません。支払がされている場合、処理オプションで番号を指定していなければ、使用可能な次の番号が使用されます。

外注変更オーダー番号

外注契約勘定に割り当てる外注契約変更オーダーの番号を指定します。外注契約変更オーダーとは、外注管理システムで作成された変更オーダーに割り当てられる番号です。ブランクにすると、外注契約変更オーダー番号は自動採番されます。

### 3. 外注明細行

ブランク = 新しく作成する

- 1 = 既存の明細行を更新する

明細行の外注契約勘定を外注管理システムにコミットする時の購買明細テーブル(F4311)の更新方法を指定します。有効な値は次のとおりです。

ブランク 購買明細テーブルに新しい外注契約行項目を作成する

- 1 購買明細テーブルの既存の外注契約行項目を更新する  
(支払がなされていない場合、行項目の金額が引当金額に置き換えられます)

### 4. 勘定科目

ブランク = 既存の勘定科目を使用する

- 1 = AAI を使用する

---

明細行の外注契約勘定を外注管理システムにコミットする場合に使用する勘定科目を指定します。有効な値は次のとおりです。

blank 既存の勘定科目を使用する

- 1 変更管理システムの AAI(自動仕訳)で指定された勘定科目を使用する

## 5. 外注状況コード

行項目を外注管理システムにコミットする際に明細行の外注契約勘定に割り当てる詳細状況コードを指定します。〈変更要求の詳細状況コード更新〉プログラム(P53101)でこの詳細状況コードが設定されていることを確認してください。

## 6. ログに割り当てるログ・タイプ

ログに自動的に割り当てるログタイプを指定します。

## 7. ログに割り当てる支払有効コード

ログの作成時にログに自動的に割り当てる支払有効コードを指定します。有効な値は次のとおりです。

- Y 警告メッセージを表示する
- N 警告メッセージを表示しない

## 8. 外注/購買オーダーの入力(P4310)

外注勘定をコミットする時に使用するバージョンを指定します。プログラム P4310 に対して選択したバージョンを使ってサーバー XT4311Z1 で処理が実行されます。

バージョンを指定する前に、バージョンの処理オプションが必要な条件を満たしていることを確認してください。blank にすると、バージョン ZJDE0015 が使用されます。

## 9. 条件 - 行タイプのみ

---

## バージョン・タブ

〈変更要求(CR)の入力〉プログラムから〈計画変更オーダー(PCO)の入力〉プログラムおよび〈変更オーダー(CO)の入力〉プログラムにアクセスするときに、アプリケーションとレポートで使用されるバージョンを指定します。また、〈変更要求(CR)集計〉レポートのバージョンを指定でき、レポートを集計モードと詳細モードのどちらで実行するかを指定できます。これらのオプションのバージョンを指定しない場合、アプリケーションにはバージョン ZJDE0001、レポートにはバージョン XJDE0001 が使用されます。それ以外を指定しない場合は、詳細レポートが作成されます。

---

### 1. PCO の入力(P5314)

〈計画変更オーダーの入力〉プログラムを実行する時に、変更要求レポートに使用するバージョンを指定します。

バージョンを指定する前に、バージョンの処理オプションが必要な条件を満たしていることを確認してください。デフォルトのバージョンは ZJDE0001 です。

### 2. 変更オーダーの入力(P5315)

〈変更オーダーの入力〉プログラムを実行する時に使用するバージョンを指定します。バージョンを指定する前に、バージョンの処理オプションが必要な条件に合っていることを確認してください。デフォルトのバージョンは ZJDE0001 です。

### 3. 変更要求レポートの種類

ブランク = 明細

1 = 集計

変更要求レポートを、明細または集計のどちらで作成するかを指定します。有効な値は次のとおりです。

ブランク = 変更要求の明細レポート(R53411)

1 = 変更要求の集計レポート(R534011)

バージョン

〈変更要求集計／明細〉レポート(R534011/R53411)を作成する際に使用するバージョンを指定します。

バージョンを指定する前に、バージョンの処理オプションが必要な条件を満たしていることを確認してください。ブランクにすると、バージョン XJDE0001 が使用されます。

---

## 変更要求手数料計算の入力

変更要求に原価情報を入力した後で、手数料計算を実行して収益金額を更新できます。〈変更要求手数料の計算〉プログラム(P5320)では、変更要求の最終原価金額に基づいて合計金額(見積合計)が計算されます。見積合計金額に基づいて、パーセント金額または固定金額を入力して、手数料金額、間接費金額、またはその両方を計算できます。

このプログラムでは、〈変更要求(CR)の入力〉プログラム(P5310)の情報が、合計金額、関連する勘定科目コード、および状況コードで更新されます。各合計金額は、〈変更要求(CR)の入力〉フォームで別々の明細行になっています。

〈変更要求手数料の計算〉プログラムでは、次の項目に対して新規収益明細行が作成されます。

- 最終原価金額の合計
- 延滞利息金
- 間接費

金額を改訂した場合は、金額の初期入力時に作成した既存の行が更新されます。金額を入力した後で、勘定科目コードを変更することはできません。

このプログラムで、各再見積りの手数料計算金額を作成することもできます。

### ▶ 変更要求手数料の計算を入力するには

---

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。

1. 〈変更要求の処理〉で、次のフィールドに値を入力して[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
2. 変更要求を選んで、[選択]をクリックします。
3. 〈変更要求(CR)の入力〉の[フォーム]メニューから〈手数料の計算〉を選択します。

作業No.	<input type="text" value="1620"/>	Birmingham Steel - Memphis
変更要求(CR)No.	<input type="text" value="4"/>	

**見積原価小計**

勘定科目No.	<input type="text" value="1.1001"/>	合計	<input type="text" value="14,500.00"/>
状況	<input type="text" value="A"/>		

**手数料**

勘定科目No.	<input type="text" value="1.1110 BEAR"/>	手数料 %	<input type="text"/>	固定手数料	<input type="text"/>	合計	<input type="text"/>
状況	<input type="text" value="P"/>						

**間接費**

勘定科目No.	<input type="text" value="1.1110"/>	間接費 %	<input type="text"/>	固定手数料	<input type="text"/>	合計	<input type="text"/>
状況	<input type="text" value="P"/>						

4. 〈手数料の計算〉で、次のフィールドに値を入力します。
  - 作業 No.
  - 変更要求(CR)No.
5. [見積原価小計]領域で、次のフィールドに入力します。
  - 勘定科目 No.
  - 状況
  - 合計
6. [手数料]エリアで、必要に応じて次のフィールドに情報を入力します。
  - 勘定科目 No.
  - 状況
  - 手数料 %
  - 固定手数料

7. [間接費]エリアで、必要に応じて次のフィールドに情報を入力します。

- 勘定科目 No.
- 状況
- 間接費 %
- 固定手数料

8. [OK]をクリックします。

### 処理オプション:〈変更要求手数料の計算〉プログラム(P5320)

---

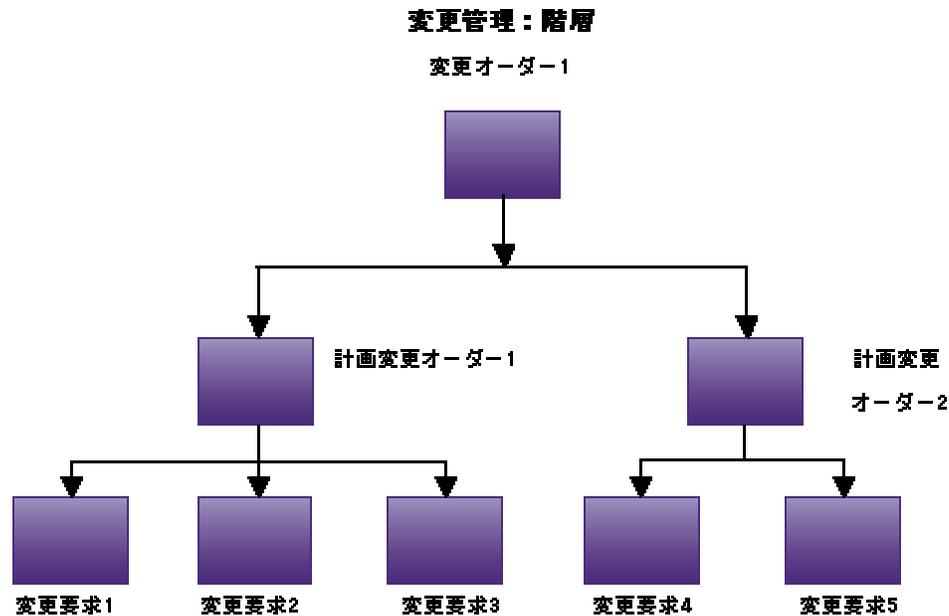
デフォルト

1. 状況コード

---

## 変更管理階層の作成

作業に対して多数の変更要求を作成した場合は、変更要求のトラッキングまたは変更情報の検索に長時間かかることがあります。関連変更要求を計画変更オーダー(PCO)に添付し、関連 PCO を変更オーダー(CO)に添付した場合は、情報のトラッキングと検索が簡単になります。関連変更要求を PCO に添付し、関連 PCO を CO に添付した場合は、変更管理階層が作成されます。



高い階層レベルで検索を開始した場合の方が、関連する変更要求のグループを検索できるため、情報の検索が簡単になります。たとえば、新規オフィス・ビルの建設から構成される作業に対して変更をトラッキングする場合は、電気工事作業のすべての変更要求を1つの PCO に添付し、配管工事作業のすべての変更要求を別の PCO に添付できます。その後、電気工事の契約業者情報を検索する必要がある場合に、すべての変更要求を検索する必要はありません。電気工事作業に関連するすべての変更は電気工事作業の PCO に添付されていることがわかっているため、その PCO を開き、必要な変更要求のみ検討できます。

また、変更管理階層によって、関連変更要求の金額のトラッキングも簡単になります。PCO は、添付されている変更要求の合計金額を示し、CO は、添付されている PCO の合計金額を示します。

### 参照

- 変更要求のグループ化については、『変更管理』ガイドの「変更要求の系統立て」

## 計画変更オーダーに対する状況コードの理解

---

〈計画変更オーダー(PCO)の入力〉プログラム(P5314)にアクセスするか、〈変更要求(CR)の入力〉フォームの[フォーム]メニューで[PCOの作成]オプションを使用することで、計画変更オーダー(PCO)を作成できます。

〈計画変更オーダー(PCO)の入力〉プログラム(P5314)から PCO を作成した場合は、PCO が承認済みであることを示す状況コード以外の状況コードを PCO に割り当てる必要があります。PCO が承認済みであることを示す状況コードは、PCO の修正時にのみ割り当てることができます。

〈変更要求(CR)の入力〉フォームから PCO を作成した場合は、PCO が送信済みであることを示す状況コードが新規 PCO に自動的に割り当てられます。

PCO が承認済みであることを意味する状況コードは、〈計画変更オーダー状況のセットアップ〉で定義します。承認の状況コードが使用されることを処理オプションで指定します。

---

### 注:

PCO を承認済み状況に更新した後、PCO に対して行える変更は終了のみです。追加の変更要求を添付したり、見出し情報を変更したりすることはできません。

---

### 参照

- 計画変更オーダーの状況コードの設定については、『変更管理』ガイドの「変更管理のユーザー定義コードの設定」

## 計画変更オーダーの処理

---

計画変更オーダー(PCO)は、作業に対して変更要求のトラッキングを可能にする変更要求のグループです。PCO を作成して、関連変更要求を添付すると、情報をより簡単にトラッキングおよび検索できるようになります。関連変更要求を PCO に添付すると、変更要求に個別にアクセスしてその行項目を承認する代わりに、関連する変更要求を同時に承認できます。

PCO の作成時に関連変更要求を即時に添付することも、後で添付することもできます。

変更要求を PCO から削除するには、〈計画変更オーダー(PCO)の入力〉フォームで変更要求を選んで、[ロー]メニューから[変更要求の削除]を選択します。PCO が承認も終了もされていない場合のみ、PCO から変更要求を削除できます。

## 計画変更オーダーの作成

計画変更オーダー(PCO)を作成し、関連変更要求をそれに添付できます。変更要求を PCO に添付すると、次のことが可能になります。

- 変更情報を簡単に検索する。
- 変更要求の合計金額をトラッキングする。
- 一括更新を使用して、添付されている変更要求を承認プロセス内で移動する。

▶ 計画変更オーダーを作成するには

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。

1. 〈計画変更オーダーの処理〉で、次のフィールドに値を入力して[追加]をクリックします。

- 作業 No.

2. 〈計画変更オーダー(PCO)の入力〉で、次のフィールドに情報を入力します。

- 計画変更オーダー(PCO)No.

[計画変更オーダー]フィールドを空白のままにした場合は、番号が割り当てられません。

- PCO 状況コード
- 見出し記述

PeopleSoft  
計画変更オーダー(PCO)の入力

OK 検索 キャンセル フォーム ロー ツール

作業No. 1620 Birmingham Steel - Memphis 変更オーダーNo. 1

計画変更オーダー(PCO)No. 1 Foundation  完了済み 前回PCO No. 4

PCO状況コード S Submitted 変更に必要な日数

要求入力者 2428 Escalante, George 要求日 05/08/05

承認担当者 承認日

最終金額 原価 29,400.00 収益 20,300.00 外注 5,300.00

見積金額 原価 27,000.00 収益 20,800.00 外注 5,000.00

再見積 No.	見出し 記述	状況 コード	オーナー 承認	変更 タイプ	優先 コード	所要 日数	延長 日数	当初 原価合計	見積 原価
<input checked="" type="checkbox"/>	1	Foundation Materials	3	Y	I	M		15,000.00	
<input type="checkbox"/>	2	Foundation Labor	A	Y	S	M		5,000.00	
<input type="checkbox"/>	3	Foundation Equipment	A	Y	I	M		7,000.00	

3. 次のフィールドに値を入力して[OK]をクリックします。

- 要求入力者
- 承認担当者

- 変更に必要な日数
- 要求日
- 承認日

## フィールド記述

記述	用語解説
作業 No.	変更要求に関連する作業またはプロジェクトの番号。ビジネスユニット・マスター(F0006)に設定されている値を入力してください。
計画変更オーダー(PCO)No.	変更管理システム内で特定の作業に対する計画変更オーダー(PCO)を固有に識別する番号。また、計画変更オーダー番号は計画変更オーダーに添付した変更要求にも連結されており、計画変更オーダーに関連付けられた変更要求を識別できるようになっています。
PCO 状況コード	計画変更オーダーの状況を示すコード。
要求入力者	変更要求を作成した担当者の住所番号
承認担当者	変更要求を承認する担当者の住所番号。
変更に必要な日数	変更に必要な日数
要求日	商品の納入予定日付または作業の完了予定日付。
承認日	該当する権限を持つ担当者が購買要求を承認した日付。  OneWorld の場合: エンタープライズ・ワークフロー管理システムを使用して購買要求の承認処理を自動化している場合、担当者が購買要求を承認した段階で承認日付が自動更新されます。これにより、フィールドの値が一時変更されます。

## 変更要求の計画変更オーダーへの添付

計画変更オーダー(PCO)の基本情報を入力した後で、それに変更要求を添付できます。任意の数の変更要求を PCO に追加できます。一括更新機能を使用した場合は、変更要求のすべての勘定タイプが同時に承認プロセス内を移動するため、各 PCO に添付する変更要求は慎重に検討する必要があります。

### 参照

『変更管理』ガイドの次のトピックを参照してください。

- 変更要求の系統立てについては「変更要求の系統立て」
- 計画変更オーダーの作成については、「計画変更オーダーの作成」

## 既存変更要求の添付

PCO の作成時またはその後で、既存の変更要求を PCO に添付できます。変更要求を PCO に添付するには、PCO と同じ作業番号が必要です。

### ▶ 既存変更要求を添付するには

---

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。

1. 〈計画変更オーダーの処理〉で、次のフィールドに値を入力して、[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
2. 変更要求を添付する PCO を選んで、[選択]をクリックします。
3. 〈計画変更オーダー(PCO)の入力〉の[フォーム]メニューから〈変更要求の選択〉を選択します。
4. 〈変更要求の検索〉で、[検索]をクリックします。
5. PCO に添付する変更要求を選んで、[選択]をクリックします。
6. 〈計画変更オーダー(PCO)の入力〉で、[OK]をクリックします。

## 新規変更要求の作成および添付

最初に〈変更要求(CR)の入力〉プログラムを開かなくても、変更要求を作成し、それを PCO に添付できます。

### ▶ 新規変更要求を作成および添付するには

---

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。

1. 〈計画変更オーダーの処理〉で、次のフィールドに値を入力して、[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
2. 変更要求を添付する PCO を選んで、[選択]をクリックします。
3. 〈計画変更オーダー(PCO)の入力〉の詳細域で空のローを選択します。
4. [ロー]メニューから〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。
5. 〈変更要求(CR)の入力〉で、変更要求に表示するマスター勘定科目を選んで、必要に応じてフィールドに入力し、[OK]をクリックします。

〈変更要求(CR)の入力〉フォームが閉じ、〈計画変更オーダー(PCO)の入力〉フォームに戻ります。
6. 〈計画変更オーダー(PCO)の入力〉の[フォーム]メニューから〈変更要求の選択〉を選択します。
7. 〈変更要求の検索〉で、作成した変更要求の番号を持つ QBE ローの次のフィールドに入力します。
  - 変更要求 No.

8. 変更要求を選んで、[選択]をクリックします。  
PCO に変更要求が追加されます。

### 参照

変更要求の作成については、『変更管理』ガイドの次のトピックを参照してください。

- 基本変更要求情報の入力
- 勘定振替情報の入力

## 計画変更オーダーの削除

状況に関係なく計画変更オーダー(PCO)を削除できます。PCO を削除した場合は、添付されている変更要求から PCO 番号が削除されます。

承認済みの PCO を削除した場合は、次のイベントが発生します。

- 添付された変更要求の詳細状況コードが、〈ウィンドウ/メッセージ・コピー、不等、変更、状況〉プログラム(P53WIN)、または〈計画変更オーダー(PCO)の入力〉プログラム(P5314)の処理オプションで指定した値に更新される。
- 承認プロセス中に作成された仕訳は逆仕訳され、〈ウィンドウ/メッセージ・コピー、不等、変更、状況〉プログラム、または〈計画変更オーダー(PCO)の入力〉プログラムの処理オプションで指定した元帳タイプに記録される。

## 処理オプション: 計画変更オーダー(PCO)の入力プログラム(P5314)

### デフォルト・タブ

新規変更オーダーの番号の生成方法、および監査証跡を作成するかどうかを指定します。

状況コードは、計画変更オーダーが承認されるかどうか、および〈状況の一括更新〉フォームに表示されるかどうかを示します。

詳細状況コードは、〈状況の一括更新〉プログラムの実行時に原価、収益、および外注勘定を変更します。

---

### 1. CO 番号の割当て

ブランク = PCO 番号を CO 番号

1 = 自動採番

新しく作成する変更オーダー(CO)に割り当てる番号を指定します。

この処理オプションは、〈計画変更オーダーの入力〉プログラム(P5314)

で新規に作成した変更オーダーにのみ影響します。有効な値は次のとおりです。

ブランク PCO 番号を使用する(変更オーダーに添付した最初の計画  
変更オーダーの番号)

1 次に使用可能な番号を使用する

---

## 2. 取引明細(F0911)の監査証跡

blank = 期間ごとに変更を記録する

- 1 = 記録する
- 2 = 記録しない

取引明細テーブル(F0911)の監査証跡レコードの作成方法を指定します。  
この処理オプションは〈計画変更オーダーの入力〉プログラムで取引明細を一括更新した場合のみ影響します。有効な値は次のとおりです。

- blank 期間が変わるごとに監査証跡レコードを作成する  
(元帳日付が期間終了日付の取引明細レコードがある場合、  
そのレコードは新しい情報で更新され、ない場合は新しい  
監査証跡レコードが作成されます)
- 1 既存の取引明細レコードがあるかどうかに関わらず新しい  
監査証跡レコードを作成する
  - 2 監査証跡レコードを作成しない

## 3. PCO 状況コードのデフォルト

計画変更オーダー(PCO)に割り当てるデフォルト状況コードを指定します。指定したコードがユーザー定義コード 53/PC(計画変更オーダー状況)に設定されていることを確認してください。

## 4. 承認 PCO 状況コード

承認済み計画変更オーダー(PCO)の状況コードを指定します。PCO の状況コードが承認済みの場合、〈状況の一括更新〉プログラムが実行されます。入力したコードが PCO 状況のユーザー定義コード(53/PC)で定義されていることを確認してください。

## 5. 原価勘定に割り当てる詳細状況コード

〈状況コードの一括更新〉プログラムを実行する際に、原価勘定に使用する「次の詳細状況コード」を指定します。〈変更要求の詳細状況コード更新〉プログラム(P53101)でこの詳細状況コードが設定されていることを確認してください。

## 6. 収益勘定に割り当てる詳細状況コード

〈状況コードの一括更新〉プログラムを実行する際に、収益勘定に

---

---

使用する「次の詳細状況コード」を指定します。〈変更要求の詳細状況コード更新〉プログラム (P53101)でこの詳細状況コードが設定されていることを確認してください。

7. 外注勘定に割り当てる詳細状況コード

〈状況コードの一括更新〉プログラムを実行する際に、外注契約勘定に使用する「次の詳細状況コード」を指定します。

〈変更要求の詳細状況コード更新〉プログラム (P53101)でこの詳細状況コードが設定されていることを確認してください。

8. 削除された変更要求見出しに割り当てる状況コード

計画変更オーダー(PCO)が削除されたときに変更要求見出しで更新される状況コードを指定します。指定したコードがユーザー定義コード 53/ST(状況コード)で設定されていることを確認してください。

9. 削除された原価勘定に割り当てる状況コード

計画変更オーダー(PCO)が削除されたときに原価勘定の状況コードを更新するかどうかを指定します。〈変更要求の詳細状況コード更新〉プログラム(P53101)でこの状況コードが設定されていることを確認してください。

10. 削除された収益勘定に割り当てる状況コード

計画変更オーダー(PCO)が削除されたときに収益勘定の状況コードを更新するかどうかを指定します。〈変更要求の詳細状況コード更新〉プログラム(P53101)でこの状況コードが設定されていることを確認してください。

11. 削除された外注勘定に割り当てる状況コード

計画変更オーダー(PCO)が削除されたときに外注勘定の状況コードを更新するかどうかを指定します。〈変更要求の詳細状況コード更新〉プログラム(P53101)でこの状況コードが設定されていることを確認してください。

---

## バージョン・タブ

次の情報を定義します。

- ・ 〈変更要求(CR)の入力〉プログラム(P5310)、〈変更オーダー(CO)の入力〉プログラム(P5315)、および〈計画変更オーダー(PCO)の入力〉プログラム(P5314)の実行時に使用されるバージョン
- ・ 〈変更要求(CR)の入力〉、〈変更オーダー(CO)の入力〉、〈計画変更オーダー〉の各レポートに、詳細情報と集計情報のどちらが含まれるか

---

### 1. 変更要求の入力(P5310)のバージョン

〈変更要求の入力〉プログラムを実行する時に使用するバージョンを指定します。

バージョンを指定する前に、バージョンの処理オプションが必要な条件に合っていることを確認してください。デフォルトのバージョンは ZJDE0001 です。

### 2. 変更オーダーの入力(P5315)のバージョン

〈変更オーダーの入力〉プログラムを実行する時に使用するバージョンを指定します。バージョンを指定する前に、バージョンの処理オプションが必要な条件に合っていることを確認してください。デフォルトのバージョンは ZJDE0001 です。

### 3. 計画変更オーダー(PCO)レポートの種類

ブランク = 集計 (R53404)

1 = 明細 (R534041))

計画変更オーダーレポートを明細または集計のどちらで作成するかを指定します。有効な値は次のとおりです。

ブランク 集計レポート

1 明細レポート

### バージョン

〈計画変更オーダー〉レポートを実行する時に使用するバージョンを指定します。バージョンを指定する前に、バージョンの処理オプションが必要な条件を満たしていることを確認してください。デフォルトのバージョンは XJDE0001 です。

---

## 変更オーダーの処理

変更オーダー(CO)は、変更管理階層の最上位レベルです。CO を作成して計画変更オーダー(PCO)をグループ化します。CO には、添付されている PCO の合計金額が表示されます。PCO を CO に添付すると、PCO に関する情報の検索が簡単になります。

### 変更オーダーの作成

計画変更オーダーをグループ化できるように、変更オーダーを作成します。

#### ▶ 変更オーダーを作成するには

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更オーダー(CO)の入力〉を選択します。

1. 〈変更オーダーの処理〉で、次のフィールドに値を入力して[追加]をクリックします。

- 作業 No.

2. 〈変更オーダー(CO)の入力〉で、次のフィールドに情報を入力します。

- 変更オーダーNo.  
[変更オーダー]フィールドを空白のままにした場合は、番号が割り当てられます。
- CO 状況コード

PeopleSoft  
変更オーダー(CO)の入力

OK 検索 キャンセル フォーム ロー ツール

作業No. 1620 Birmingham Steel - Memphis

変更オーダーNo. 1 Structure  終了フラグ 前回CO No. 1

CO状況コード S Submitted 実期に要する日数 8 3

要求入力者 2006 Walters, Annette 要求日 05/08/05

承認担当者 4802 Fraser, Carol 承認日

最終金額 原価 103,900.00 収益 96,300.00 外注 99,000.00

見積金額 原価 205,000.00 収益 92,800.00 外注 13,500.00

計画変更オーダーNo.	計画変更オーダー記述	PCO 状況	要求入力者	要求日付	承認担当者	承認日	PCO 承認合計額	CO 承認合計額
<input checked="" type="checkbox"/>	1 Foundation	S	2428	05/08/05			55,000.00	
<input type="checkbox"/>	4 Framing	S	2428	05/08/05			244,200.00	

3. 次のフィールドに値を入力して[OK]をクリックします。

- 要求入力者
- 承認担当者
- 変更に要する日数
- 要求日
- 承認日

### フィールド記述

記述	用語解説
変更オーダーNo.	変更管理システム内で特定の作業に対する変更オーダーを固有に識別する番号。また、変更オーダー番号は変更オーダーに添付した変更オーダー(CO)にも連結されており、変更オーダーに関連付けられた計画変更オーダー(PCO)を識別できるようになっています。
CO 状況コード	変更オーダーの状況を示すコード。
要求入力者	変更要求を作成した担当者の住所番号
承認担当者	変更要求を承認する担当者の住所番号。
変更に要する日数	変更に必要な日数
要求日	商品の納入予定日付または作業の完了予定日付。
承認日	該当する権限を持つ担当者が購買要求を承認した日付。  OneWorld の場合: エンタープライズ・ワークフロー管理システムを使用して購買要求の承認処理を自動化している場合、担当者が購買要求を承認した段階で承認日付が自動更新されます。これにより、フィールドの値が一時変更されます。

### 計画変更オーダーの変更オーダーへの添付

CO の基本情報を入力した後で、その CO に PCO を添付できます。PCO は承認状況に関係なく添付できます。

#### 参照

- 計画変更オーダーの設定については、『変更管理』ガイドの「計画変更オーダーの作成」

## ▶ 計画変更オーダーを添付するには

---

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。

1. 〈変更オーダーの処理〉で、次のフィールドに値を入力し[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
2. PCO を添付する CO を選んで、[選択]をクリックします。
3. 〈変更オーダー(CO)の入力〉で、[フォーム]メニューから〈PCO の選択〉を選択します。
4. 〈計画変更オーダーの検索〉で、次のフィールドに値を入力して[検索]をクリックします。
  - 計画変更オーダーNo.
5. CO に添付する PCO を選んで、[選択]をクリックします。
6. 〈変更オーダー(CO)の入力〉で、[OK]をクリックします。

### 関連タスク

<b>CO の削除</b>	CO を削除するには、[フォーム]メニューから[CO の削除]を選択します。CO が承認済みまたは終了でない場合にのみ CO を削除できます。
<b>CO からの PCO の削除</b>	CO から PCO を削除するには、〈変更オーダー(CO)の入力〉フォームで[PCO]を選んで、[ロー]メニューで[PCO の削除]を選択します。CO が承認済みでない場合、または終了していない場合のみ CO から PCO を削除できます。

## 処理オプション: 変更オーダー(CO)の入力プログラム(P5315)

### デフォルト・タブ

監査証跡レコードの作成方法を指定します。

状況コードは、変更オーダーが承認されているかどうかを示し、〈状況の一括更新〉フォームの表示を要求します。

詳細状況コードは、〈状況の一括更新〉プログラムの実行時に原価、収益、および外注勘定を変更します。

---

#### 1. F0911 の監査証跡

blank = 期間ごとに作成する

1 = 作成する

2 = 作成しない

取引明細テーブル(F0911)の監査証跡レコードの作成方法を指定します。

この処理オプションは〈変更オーダーの入力〉プログラムで取引明細を一括更新した場合のみ影響します。有効な値は次のとおりです。

---

ブランク 期間が変わるごとに監査証跡レコードを作成する  
(元帳日付が期間終了日付の取引明細レコードがある場合、  
そのレコードは新しい情報で更新され、ない場合は新しい  
監査証跡レコードが作成されます)

- 1 既存の取引明細レコードがあるかどうかに関わらず新しい  
監査証跡レコードを作成する
- 2 監査証跡レコードを作成しない

## 2. 変更オーダー状況コードのデフォルト

変更オーダー(CO)に割り当てるデフォルト状況コードを指定します。指定したコードがユーザー定義コード 53/CS(変更オーダー状況)に設定されていることを確認してください。

## 3. 承認時に割り当てる変更オーダー状況コード

承認済み変更オーダー(CO)の状況コードを指定します。変更オーダーの状況コードが承認済みの場合、〈状況の一括更新〉プログラムが実行されます。入力したコードが変更オーダー状況のユーザー定義コード(53/PC)に定義されていることを確認してください。

## 4. 原価勘定に使用する「次の状況」コード

〈状況コードの一括更新〉プログラムを実行する際に、原価勘定に使用する「次の詳細状況コード」を指定します。〈変更要求の詳細状況コード更新〉プログラム(P53101)でこの詳細状況コードが設定されていることを確認してください。

## 5. 収益勘定に使用する「次の状況」コード

〈状況コードの一括更新〉プログラムを実行する際に、収益勘定に使用する「次の詳細状況コード」を指定します。〈変更要求の詳細状況コード更新〉プログラム(P53101)でこの詳細状況コードが設定されていることを確認してください。

## 6. 外注勘定に使用する「次の状況」コード

〈状況コードの一括更新〉プログラムを実行する際に、外注契約勘定に使用する「次の詳細状況コード」を指定します。〈変更要求の詳細状況コード更新〉プログラム(P53101)でこの詳細状況コードが設定されていることを確認してください。

---

## 6. PCO 見出し状況

変更オーダー(CO)を承認する時に計画変更オーダー(PCO)見出し状況コードを何に変更するかを指定します。変更オーダーを承認する前に、計画変更オーダー(PCO)のユーザー定義コード(53/PC)にこの状況コードが設定されていることを確認してください。

---

### バージョン・タブ

〈計画変更オーダー(PCO)の入力〉プログラム(P5314)および〈変更オーダー〉レポートにアクセスするときに使用されるバージョンを指定します。関連するレポートに、詳細情報と集計情報のどちらが含まれるかも指定します。

---

#### 1. 計画変更オーダー(PCO)入力(P5314)

〈計画変更オーダーの入力〉プログラム(P5314)の実行時に使用するバージョンを指定します。バージョンを指定する前に、バージョンの処理オプションが必要な条件を満たしていることを確認してください。バージョンを指定しないと、アプリケーションには ZJDE0001、レポートには XJDE001 が使用されます。

#### 2. 変更オーダー・レポート(R53405/R534051)

ブランク = 集計レポート

1 = 明細レポート

レポートに集計情報と明細情報のどちらを表示するかを指定します。有効な値は次のとおりです。

ブランク 集計レポートを印刷する

1 明細レポートを印刷する

#### バージョン

〈変更オーダー〉レポート(R53450)の実行時に使用するバージョンを指定します。バージョンを指定する前に、バージョンの処理オプションが必要な条件を満たしていることを確認してください。バージョンを指定しないと XJDE0001 が使用されます。

---

---

## 変更要求の検討

作業が組織の承認プロセスを移動する際に、変更要求を検討および改訂してから承認することが必要な場合があります。再見積り、元帳情報、ログ、および変更要求に関するその他の情報を検討できます。

---

## 変更要求の検討

変更管理システム、および〈作業状況照会〉プログラムと〈勘定科目の照会〉プログラムで変更要求に関する情報を検討できます。

〈作業状況照会〉プログラム(P512000)には変更管理システムからアクセスできます。〈作業状況照会〉プログラム(P512000)では、表示する情報を選択し、選択内容をカラム・バージョンとして保存できます。選択内容をカラム・バージョンとして保存すると、このバージョンは繰り返し使用可能になります。

### 参照

〈作業状況照会〉プログラム(P512000)の処理については、『作業原価』ガイドの次のトピックを参照してください。

- 作業状況照会の処理
- 作業状況照会の設定

## 変更管理情報の検索

変更要求を検討するときに、特定情報の検索が必要になることがあります。次の表に、情報を含むフォームの検索に必要な情報の一部を示します。

行品目を承認済みステージに移動する詳細状況コード	〈状況コードの処理〉フォーム(W53101A)にアクセスします。
詳細状況コードと関連する元帳タイプ	〈状況コードの処理〉フォームにアクセスします。[検索]をクリックして、既存のコードを表示します。
行品目と関連するマスター勘定科目	個々の勘定科目、または変更要求や作業のすべての勘定科目を表示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 特定の行項目の勘定科目を表示するには、〈変更要求(CR)の入力〉で、[ロー]メニューから[総勘定元帳の照会]を選択します。</li><li>• 変更要求または作業のすべての行の勘定科目を表示するには、〈変更管理の照会〉メニュー(G5312)から[勘定科目の照会]を選択します。</li></ul>
合計される金額タイプ(当初、見積、最終、最適)	〈変更要求(CR)の入力〉プログラムの[原価合計]、[収益合計]、[外注合計]の各処理オプションを表示します。

<b>作業に対するすべての変更要求の承認ステージ</b>	原価、収益、および外注勘定の詳細状況コードを表示できます。状況コードは、変更要求の承認ステージを表します。詳細状況コードを表示するには、〈変更管理の照会〉メニュー(G5312)から[勘定科目の照会]を選択します。作業番号を入力し、[検索]をクリックしてすべての変更要求とそのコードを表示します。
<b>変更要求の当初、見積、および最終金額</b>	変更要求のすべての勘定科目タイプの金額を簡単に表示するには、〈変更要求(CR)の入力〉の[ロー]メニューで[追加詳細]を選んで、[原価明細]、[収益明細]、[外注明細]の各タブで金額を表示します。
<b>PCO に添付されていない変更要求</b>	計画変更オーダーに添付されていない変更要求は、〈変更要求の検索〉フォームに表示されます。〈計画変更オーダー(PCO)の入力〉で、[フォーム]メニューから[変更要求の選択]を選んで、〈変更要求の検索〉フォームで[検索]をクリックします。
<b>変更要求の入力で使用可能なカラム・バージョン</b>	〈変更管理システムのセットアップ〉メニュー(G5341)から[カラム・バージョン - ユーザー一時変更]を選択します。〈ユーザー一時変更の処理〉で、[アプリケーション]の[QBE]フィールドに"P5310"と入力し、Enter を押します。
<b>請求書番号、および資金の支払または受取先</b>	〈変更要求(CR)の入力〉で、行品目を選択し、[ロー]メニューから[総勘定元帳の照会]を選択します。
<b>勘定科目の当初予算</b>	取引明細にアクセスすることで、勘定科目の当初作業予算を、勘定科目に対して請求される金額と比較できます。[ロー]メニューから[総勘定元帳の照会]を選んで、表示する勘定科目のタイプを選択します。

## 参照

- 〈状況コードの処理〉フォームへのアクセスについては、『変更管理』ガイドの「変更要求詳細状況コードの設定」

## 変更要求(CR)の入力フォーム・フィールドの理解

〈変更要求(CR)の入力〉のフィールドの一部が入力されます。また、選択して〈変更要求(CR)の入力〉フォームに表示したカラムは、検討に使用できる情報に影響します。次の表に、これらのフィールドの一部に関する情報を示します。

<b>再見積り</b>	現在表示されている再見積りの番号を表示します。
<b>[再見積り]の右にあるブランク・フィールド</b>	再見積りの作成日を表示します。
<b>作業合計最適</b>	作業全体について原価、収益、および外注勘定の最適合計金額を表示します。
<b>合計(当初、見積、最終、または最適)</b>	現在表示されている変更要求の原価、収益、および外注勘定の合計金額を表示します。[合計]フィールドの右にある[原価]、[収益]、[外注]の各フィールドがブランクの場合は、変更要求のこれらのフィールドには金額がありません。処理オプションを設定して、当初、見積、最終、または最適金額の合計を表示するかどうかを選択します。

<b>カラム・バージョン</b>	処理オプションの[デフォルト]タブに入力したカラム・バージョンの名前を表示します。
<b>グリッド・カラム・フィールド</b>	<p>〈変更オーダー(CO)の入力〉フォームの[表示]タブで選んだカラムは、次の処理を行うときにどのカラムを処理できるかに影響します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 勘定情報の入力</li> <li>• 金額と単位のコピー</li> <li>• 〈ウインドウ/メッセージ・コピー、不等、変更、状況〉プログラム(P53WIN)の使用</li> <li>• 〈勘定科目の検索〉フォームからの勘定科目の選択</li> <li>• [ロー]メニューの[総勘定元帳の照会]オプションからの勘定科目の選択</li> <li>• 〈変更要求(CR)の入力〉フォームからの外注管理システムへのエグジット</li> </ul> <p>たとえば、[原価カラム]を選択した場合、〈変更要求(CR)の入力〉フォームには原価勘定情報のみ表示され、収益勘定についての照会や外注管理システムへのエグジットは行えません。</p>
<b>使用不可のフィールド</b>	変更が許可されないフィールドがグレー表示されます。たとえば、最終モードで外注管理システムに外注勘定をコミットした後は、すべての外注フィールドが編集できなくなります。

## 再見積りの検討

〈変更要求(CR)の入力〉フォームにアクセスすると、現在の変更要求が表示されます。[前の再見積り]オプションを使用することで、最新バージョンから最古のバージョンまで、変更要求の以前の値を作成した順序で表示できます。[前の再見積り]オプションを使用した後で、[次の再見積り]オプションを使用することで、最古のバージョンから最新バージョンまで、以前のバージョンを表示できます。

### ▶ 再見積りを検討するには

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。

1. 〈変更要求の処理〉で、次のフィールドに値を入力して[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
2. 変更要求を選んで、[選択]をクリックします。
3. 〈変更要求(CR)の入力〉で、検討する行品目を選んで、[フォーム]メニューの次のオプションの1つを選択します。
  - 変更要求の前の再見積りを検討するには、[再見積り]、[前の再見積り]の順に選択する。
  - 当初再見積りの後に作成された変更要求の再見積りを検討するには、[再見積り]、[次の再見積り]の順に選択する。

## ログの検討

外注管理システムに外注勘定をコミットすると、ログが自動的に作成されます。ログを検討し必要な変更を加えることができます。

### ▶ ログを検討するには

〈変更管理の照会〉メニュー(G5312)から〈ログの改訂〉を選択します。

1. 〈変更管理ログ詳細〉で、次のフィールドに値を入力して[OK]をクリックします。

- 作業 No.
- 変更要求(CR)No.

PeopleSoft  
変更管理ログ詳細

OK 検索 削除 キャンセル フォーム ロー ツール

作業No. 1620 変更要求(CR)No. 9

レコード 1-1 グリッドのカスタマイズ

<input checked="" type="checkbox"/>	ログタイプ	記述	ログ状況	備考	要求日付	支払時態	発行日付	有効終了日付	契約No.
<input checked="" type="checkbox"/>	T	Payment for framing	N	CR: 0001029		N			

2. 情報を検討します。

## 作業に対するすべての勘定の検討

〈勘定科目別変更要求〉レポートを検討することにより、作業に対するすべての変更要求のすべての勘定科目を表示できます。このレポートを作成すると、次のことができます。

- 〈変更要求(CR)の入力〉処理オプションでさまざまなレポート・バージョンを選択することにより、レポートに含まれる情報を指定する。

- 処理オプションを設定することにより、このレポートを詳細レポートまたは集計レポートとして作成する。
- レポートをオンラインで検討したり、レポートを印刷したりする。

▶ **作業に対するすべての勘定を検討するには**

---

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。

1. 〈変更要求の処理〉で、次のフィールドに値を入力して[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
2. 変更要求を選んで、[選択]をクリックします。
3. 〈変更要求(CR)の入力〉の[フォーム]メニューから〈集計/明細の印刷〉を選択します。
4. 〈レポート出力定義〉で、出力先を選択して[OK]をクリックします。

## 行別すべての勘定の検討

行のすべての勘定科目を表示して、次のような勘定明細を検討できます。

- 勘定科目コードと補助元帳番号
- すべての勘定科目の当初、見積、最終、および最適金額
- 契約番号と仕入先

原価、収益、および外注勘定に関する情報は、勘定科目コードと合計を見やすくするために別々のタブに表示されます。

▶ **行別のすべての勘定を検討するには**

---

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。

1. 〈変更要求の処理〉で、次のフィールドに値を入力して[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
2. 変更要求を選んで、[選択]をクリックします。
3. 〈変更要求(CR)の入力〉で、検討する明細行を選んで、[ロー]メニューから[追加詳細]を選択します。
4. 〈原価、収益、外注明細〉で、該当するタブをクリックして勘定科目情報を検討します。

PeopleSoft

原価/収益/外注契約の詳細

OK キャンセル フォーム ツール

作業No. 1620 Birmingham Steel - Memphis  
 変更要求(CR)No. 2 Foundation Labor

原価詳細 収益詳細 外注詳細

外注状況 A Approved JA 元帳日付 05/06/30  
 記述 Labor 外注請求品目コード  
 契約 6120 OS 000 00050 1.000 金額以外の変更 N  
 仕入先 3480 Digger Enterprises 契約補助元帳 00000002 J  
 外注勘定科目No. 1620.1341.01011100

	数量	単位	価格タイプ	単価	金額	日付
当初		HR			5,000.00	05/06/30
見積		Hour			5,000.00	05/06/30
最終					5,300.00	05/06/30
最速					5,300.00	

## 総勘定元帳情報の検討

[総勘定元帳の照会]オプションを使用することで、明細行の各勘定科目タイプの総勘定元帳情報を検討できます。[総勘定元帳の照会]オプションでは、次のようなすべての総勘定元帳情報を検討できます。

- 勘定科目コード
- 転記済みおよび未転記金額
- 勘定に対する当初予算
- 請求書番号、購買オーダー番号、および伝票番号

### ▶ 総勘定元帳情報を検討するには

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。

1. 〈変更要求の処理〉で、次のフィールドに値を入力して[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
2. 変更要求を選んで、[選択]をクリックします。



▶ 作業別変更要求を検討するには

〈変更管理の照会〉メニュー(G5312)から〈勘定科目の照会〉を選択します。

〈変更要求勘定科目の照会の処理〉で、次のフィールドに値を入力して[検索]をクリックします。

- 作業 No.
- 原価コード範囲開始
- 原価コード終了
- 原価タイプ範囲開始
- 原価タイプ終了
- 仕入先
- 元帳タイプ

PeopleSoft.

勘定科目変更要求の照会

検索 閉じる レポート ロー ツール

作業No. 1620 Birmingham Steel - Memphis

原価コード範囲開始 04040020 Small Materials 原価コード終了 04040020 Small Materials

原価タイプ範囲開始 1351 原価タイプ終了 1351

仕入先 元帳タイプ JA

合計 原価 16,850.00 収益 外注

グリッドのカスタマイズ

変更要求No.	記述	再見取り No.	行No.	原価 状況	原価 元帳タイプ	原価 勘定科目	当初 原価	見積 原価	最終 原価
4	Framing Materials		1.000	A	JA	1620.1351.04040020	13,000.00	13,000.00	
8	Roofing Materials		1.000	A	JA	1620.1351.04040020	2,500.00	2,350.00	

## フィールド記述

記述	用語解説
作業 No.	変更要求に関連する作業またはプロジェクトの番号。ビジネスユニット・マスター(F0006)に設定されている値を入力してください。
原価コード範囲開始	主科目の下の科目区分。補助科目は、取引レコードを主科目の下でさらに細分化します。
原価コード終了	主科目の下の科目区分。補助科目は、取引レコードを主科目の下でさらに細分化します。
原価タイプ範囲開始	勘定科目コードの中で、原価コード(労務費、材料費、設備費など)をサブカテゴリに分類する部分。原価コードは、たとえば労務費を通常時間、割増し時間、間接費に分類するのに使用します。  注:任意勘定科目コードを使用して主科目コードを6桁にした場合は、6桁すべてを使用することをお勧めします。たとえば、“000456”と入力するのと“456”と入力するのでは、後者の場合、スペースが3つ追加されるので結果が異なります。
原価タイプ終了	勘定科目コードの中で、原価コード(労務費、材料費、設備費など)をサブカテゴリに分類する部分。原価コードは、たとえば労務費を通常時間、割増し時間、間接費に分類するのに使用します。  注:任意勘定科目コードを使用して主科目コードを6桁にした場合は、6桁すべてを使用することをお勧めします。たとえば、“000456”と入力するのと“456”と入力するのでは、後者の場合、スペースが3つ追加されるので結果が異なります。
仕入先	仕入先または協力会社の住所番号
元帳タイプ	AA(実績金額)、BA(予算金額)AU(実績数量)などのレコードの属性(元帳タイプ)を示すユーザー定義コード(09/LT)。1つの取引に対して数量と金額、国内通貨と外貨など、元帳タイプ別に複数のレコードを持つことができるため、柔軟に取引を照会できます。

## 〈勘定科目の照会〉レポート(R53220P)の印刷

〈変更管理レポート〉メニュー(G5313)から〈勘定科目の照会〉を選択します。

〈勘定科目の照会〉レポート(R53220P)を使用して、〈変更要求勘定科目の照会〉プログラム(P53220)からの情報を検討できます。このレポートには、最適、当初、見積、最終の各金額、変更要求、PCO および CO 情報が含まれます。原価コード範囲と原価タイプ範囲、および検討する元帳タイプを指定します。

## 処理オプション: 勘定科目の照会レポート(R53220P)

### 処理タブ

---

#### 1. デフォルト表示する原価コード範囲

##### 範囲開始

最初に表示する勘定科目原価コード(補助)勘定の指定に使用します。すべての勘定科目が表示されるようにするには、このフィールドを空白にしてください。

##### 範囲終了

表示する勘定科目範囲の終了原価コード(補助)勘定の指定に使用します。すべての勘定科目が表示されるようにするには、このフィールドを空白にしてください。

#### 2. デフォルト表示する原価タイプ範囲

##### 範囲開始

表示する勘定科目範囲の開始原価タイプ(主科目)の指定に使用します。

##### 範囲終了

表示する勘定科目範囲の終了原価タイプ(主科目)の指定に使用します。

#### 3. 仕入先

レポート印刷時に使用する仕入先を指定します。この処理オプションを空白にすると、すべての仕入先が印刷されます。

#### 4. 元帳タイプ

レポート印刷時に使用する元帳タイプを指定します。この処理オプションを空白にすると、すべての元帳タイプが印刷されます。

---

---

## 変更要求、PCO、および CO の改訂

変更要求、計画変更オーダー(PCO)、および変更オーダー(CO)が組織の承認プロセスを移動する際に、これらに対して変更を行う必要があります。多くの場合、金額と状況コードの更新、および監査証跡の管理を行います。

---

## 承認プロセス

変更管理システムを使用して、要求が組織の承認プロセスを移動する際に変更要求に対する変更をトラッキングします。変更管理システムでは、取引明細と外注を自動的に更新します。最適金額も計算されます。

### 既存の変更要求、PCO、および CO の検討

組織では、変更要求を定期的に検討して、変更要求の更新が必要かどうかの判断をすることがあります。レポートを印刷して、選択した変更レポートをオンラインまたはその他の方法を使用して、変更要求を検討できます。添付先の PCO を検討することにより、関連する変更要求を検討できます。または、PCO レポートを生成して、PCO に添付された変更要求に関する情報を検討できます。

### 変更要求の修正

作業が進捗するにつれて、変更要求に多数の変更を行う場合があります。特に、勘定科目の見積金額と最終金額の変更、変更要求の行項目の追加や削除、および詳細状況コードの更新を行うことができます。変更要求の勘定振替情報を変更するときに、再見積りを作成できます。再見積りは、変更要求の 1 つのバージョンです。勘定振替情報に多数の変更を行った場合は、多数の再見積りを作成できます。再見積りを使用して、情報に対して行った変更の履歴を検討できます。

### 詳細状況コードの更新

変更要求をさまざまな承認ステージに移動する際に、詳細状況コードを使用してその状況を常に更新します。詳細状況コードは、変更要求(CR)詳細状況の更新テーブル(F53101)で定義します。詳細状況コードでは、変更要求の行品目の各勘定タイプ(原価、収益、外注)に対する承認プロセスのステージを定義します。明細行の各勘定タイプは、異なる承認ステージにある場合があります。詳細状況コードを設定するときに、プロセス内の後のステージを表す詳細状況コードに元帳タイプを関連付けられます。これらの詳細状況コードの 1 つを勘定科目に割り当てると、詳細状況コードと関連付けられている元帳が自動的に更新されます。詳細状況コードには、その他の属性として、原価、収益、外注のどの情報を表すか、元帳を更新する金額が当初、見積、最終、最適のどの金額であるかなどの定義がされています。

### 最終金額の決定

変更要求を承認する前に、一般的に、変更要求の各勘定タイプの最終金額を決定します。この金額は、〈変更要求(CR)の入力〉フォームの[最終原価]、[最終収益]、[最終外注]の各フィールドに入力することにより決まります。フィールドに手動で入力することも、[フォーム]メニューまたは[ロー]メニューの[金額のコピー]オプションを使用することもできます。

変更要求を承認するために最終金額は必要ありません。ただし、PCO を承認するには、PCO に添付されている各変更要求の各勘定科目に最終金額が必要です。PCO に添付されている変更要求の勘定科目に対して状況の一括更新を実行するよう求められるため、PCO の承認時に最終金額が要求されます。

## 参照

- 金額のコピーについては、『変更管理』ガイドの「勘定残高のコピー」

## 最適金額の決定

詳細状況コードを設定するときに、当初、見積、最終、および最適の各金額のコードを設定できます。最適金額は、〈変更要求(CR)の入力〉フォームで勘定タイプに対して入力した当初、見積、および最終金額の次のいずれかの組合せに基づいて計算されます。

- 最終金額が単体またはその他いずれかの金額と組み合わせて入力された場合は、最終金額が最適金額である。
- 見積金額と当初金額が入力され、最終金額が入力されていない場合は、見積金額が最適金額である。
- 当初金額のみ入力された場合は、当初金額が最適金額である。

最適金額は自動的かつ継続的に決定されます。

## 参照

- 最適金額のコードの設定については、『変更管理』ガイドの「変更要求詳細状況コードの設定」

## 情報の外注管理および契約請求システムへの送付

承認プロセス中いつでも、変更要求の外注勘定または収益勘定に関する情報を、それぞれ外注管理システムまたは契約請求システムの関連契約に送信できます。一般的に、この処理は最終承認後に行われます。作業の最終予測原価、外注コミットメント、および収益コミットメントの修正に使用される情報も、変更管理システムに保持されます。

## 参照

『変更管理』ガイドの次のトピックを参照してください。

- 外注管理システムへの変更要求の明細行のコミットについては、「外注管理への外注契約のコミット」
- 契約請求システムへの変更要求の明細行のコミットについては、「契約請求への契約情報のコミット」

## PCO および CO の承認

PCO に関連変更要求を添付する利点の 1 つは、すべての変更要求のすべての行を同時に承認できることです。PCO を承認すると、〈状況の一括更新〉フォームが表示されます。〈状況の一括更新〉フォームのフィールドに入力することにより、PCO に添付されている変更要求の一部またはすべての勘定科目の状況を更新できます。PCO を承認した後でその PCO に対して行える変更は終了のみです。

CO を承認すると、〈状況の一括更新〉フォームが表示されます。〈状況の一括更新〉フォームのフィールドに入力することにより、関連変更要求の一部またはすべての勘定科目の状況を更新できます。CO を承認した後は、その CO に対して終了以外の変更は行えません。

## 変更要求の行の終了

変更要求の明細行にある勘定科目を承認した後で、明細行を終了できます。一般的に、行のすべての勘定科目が承認プロセスの最終ステージにあるときに、その行を終了します。行の終了後は、その行に対する修正を行えません。ただし、終了した行がある変更要求を PCO に添付することはできます。

変更要求の行を終了すると、まだ開いている行を簡単に表示できるようになります。〈変更要求(CR)の入力〉フォームの[表示]タブで[開いている行のみ表示]オプションを選んだ場合は、開いている行のみ表示されます。

## PCO および CO の終了

PCO に添付されている変更要求の処理が終了したら、その PCO を終了できます。一般的に、添付されている変更要求のすべての勘定科目が承認プロセスの最終ステージにあるときに、PCO を終了します。PCO を終了すると、添付されている変更要求のすべての行が終了します。PCO の終了後、その PCO に変更を行うことはできません。

CO に添付されている PCO の処理が終了したら、その CO を終了できます。一般的に、添付されているすべての PCO を終了したときに、CO を終了します。CO の終了後、その CO に変更を行うことはできません。

## 変更要求の改訂

---

変更要求内の情報は、変更要求のライフ・サイクル中に改訂されることがあります。たとえば、金額または日付の変更、状況コードの更新、および変更要求への行の追加を行う場合があります。勘定振替情報を改訂する場合は、再見積りを作成して新規情報を記録できます。再見積りを使用して、勘定科目情報に対して行われた変更の履歴をトラッキングおよび検討します。明細行が承認プロセスの最終ステージに移動した後で、行を終了して、それ以上変更できないようにできます。

すべての行が終了している場合でも、変更要求に行を追加できます。変更要求の行を追加または削除した場合は、その変更要求が添付されている計画変更オーダー(PCO)にも変更が表示されません。PCO に添付されている変更要求に変更を加えた場合は、警告メッセージが表示されます。

---

### 注:

終了した PCO または CO に添付されている変更要求は改訂できません。

---

### 参照

- 行品目の追加と削除については、『変更管理』ガイドの「変更要求の入力」

## 金額の改訂

変更要求の明細行の金額を改訂し、まだ入力されていないフィールドに金額を入力できます。金額は、手動で、または[金額のコピー]オプションを使用して、更新または入力できます。金額を改訂するときに、再見積りを生成して、変更要求の各バージョンのコピーを管理できます。

## 参照

『変更管理』ガイドの次のトピックを参照してください。

- [金額のコピー]オプションの使用については、「勘定残高のコピー」
- 再見積りの作成については、「再見積りの生成」

### ▶ 手動で金額を改訂するには

---

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。

1. 〈変更要求の処理〉で、次のフィールドに値を入力して[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
2. 変更要求を選んで[選択]をクリックします。
3. 〈変更要求(CR)の入力〉で、次のいずれかに金額を入力し、[OK]をクリックします。
  - 当初原価
  - 見積原価
  - 最終原価
  - 当初収益
  - 見積収益
  - 最終収益数量
  - 当初外注
  - 外注見積
  - 外注最終

---

#### 注:

承認済み勘定科目の金額を変更することは可能です。元帳を更新する原因となった詳細状況コードを持つ勘定科目の金額を変更する場合は、元帳が新規金額で更新されるか、元帳に調整仕訳が作成されます。

---

#### フィールド記述

---

記述	用語解説
作業 No.	変更要求に関連する作業またはプロジェクトの番号。ビジネスユニット・マスター(F0006)に設定されている値を入力してください。

---

当初原価	原価変更要求の明細項目の当初金額。
見積原価	原価変更要求の明細行項目の見積金額。
最終原価	原価変更要求の明細行項目の最終金額。
当初収益	収益変更要求の明細項目の当初金額。
見積収益	変更要求の行項目の見積収益金額。
最終収益数量	変更要求の行項目の最終収益数量。
当初外注	外注変更要求の明細項目の当初金額。
外注見積	変更要求の行項目の見積外注金額。
外注最終	変更要求の行項目の外注最終金額

## 詳細状況コードの更新

承認プロセス中いつでも、詳細状況コードを改訂できます。

通常は、組織の承認プロセスの各ステージに対して詳細状況コードを設定します。元帳タイプを詳細状況コードと関連付けた場合は、勘定科目の詳細状況コードを更新するときに元帳を更新できません。

詳細状況コードは、手動で、または〈状況の一括更新〉プログラムを使用して、更新できます。〈状況の一括更新〉プログラムを使用した場合は、すべての状況コードを更新することも、詳細状況コードを更新する勘定タイプを指定することもできます。

### 参照

- 詳細状況コードの作成については、『変更管理』ガイドの「変更要求詳細状況コードの設定」

### 技術的考慮事項

**元帳の更新** 元帳タイプを詳細状況コードに関連付けた場合は、〈状況の一括更新〉プログラムまたは〈変更要求 (CR) の入力〉プログラムで詳細状況コードを入力したときに元帳が更新されます。別の元帳を更新する状況コードで状況フィールドを更新した場合は、2番目の元帳が更新されますが、最初の元帳に対する仕訳は逆仕訳されません。仕訳は手動で逆仕訳する必要があります。

#### ▶ 手動で詳細状況コードを更新するには

〈変更管理の設定〉メニュー (G5311) から〈変更要求 (CR) の入力〉を選択します。

1. 〈変更要求の処理〉で、次のフィールドに値を入力して [検索] をクリックします。

- 作業 No.

2. 変更要求を選んで、[選択]をクリックします。
3. 〈変更要求(CR)の入力〉で、次のフィールドに入力して別の詳細状況コードを指定し、[OK]をクリックします。

- 変更状況
- 収益状況
- 外注状況

別の元帳タイプが新規詳細状況コードと関連付けられている場合は、該当する元帳が更新されます。

#### フィールド記述

記述	用語解説
変更状況	<p>選択した作業および行項目に対する原価変更要求の状況を指定するユーザー定義コード(53/ST)。 このコードは変更要求の承認処理で使用され、これにより勘定残高テーブル(F0902)の更新される元帳タイプが決まります。</p>
収益状況	<p>選択した作業および行項目に対する収益変更要求の状況を指定するユーザー定義コード(53/ST)。 このコードは変更要求の承認処理で使用され、これにより勘定残高テーブル(F0902)の更新される元帳タイプが決まります。</p>
外注状況	<p>選択した作業および行項目に対する外注変更要求の状況を指定するユーザー定義コード(53/ST)。このコードは変更要求の承認処理で使用され、勘定残高テーブル(F0902)で更新される元帳タイプが決まります。</p>

#### ▶ 〈状況の一括更新〉で詳細状況コードを更新するには

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。

1. 〈変更要求の処理〉で、次のフィールドに値を入力して[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
2. 変更要求を選んで、[選択]をクリックします。
3. 〈変更要求(CR)の入力〉の[フォーム]メニューから[状況の一括更新]を選択します。

PeopleSoft

状況の一括更新

OK キャンセル ツール

作業No. 1620 Birmingham Steel - Memphis

CR No. 1 Foundation Materials

CR: 各リッドローの状況をすべて更新 PCO/CO: 添付された変更要求をすべて更新

状況更新の指定	更新前	更新後
原価勘定の状況	<input type="checkbox"/> *	<input type="checkbox"/> A
収益勘定の状況	<input type="checkbox"/> *	<input type="checkbox"/> A
外注勘定の状況	<input type="checkbox"/> *	<input type="checkbox"/> A
変更要求見出し状況	<input type="checkbox"/> *	<input type="checkbox"/> A

元帳日付

4. 〈状況の一括更新〉で、次のフィールドに入力して、変更前の状況と変更後の状況を指定し、[OK]をクリックします。

- 原価状況
- 収益状況
- 外注状況
- 状況コード

勘定タイプの[更新元]フィールドをデフォルト値(\*)のままにした場合は、そのタイプのすべての勘定科目が、[更新先]フィールドで指定した詳細状況コードに変更されます。

## フィールド記述

### 記述

#### 原価状況

### 用語解説

選択した作業および行項目に対する原価変更要求の状況を指定するユーザー定義コード(53/ST)。  
このコードは変更要求の承認処理で使用され、これにより勘定残高テーブル(F0902)の更新される元帳タイプが決まります。

収益状況	選択した作業および行項目に対する収益変更要求の状況を指定するユーザー定義コード(53/ST)。このコードは変更要求の承認処理で使用され、これにより勘定残高テーブル(F0902)の更新される元帳タイプが決まります。
外注状況	選択した作業および行項目に対する外注変更要求の状況を指定するユーザー定義コード(53/ST)。このコードは変更要求の承認処理で使用され、勘定残高テーブル(F0902)で更新される元帳タイプが決まります。
状況コード	変更要求の状況を示すコード。これは情報のみであり元帳タイプには添付されません。変更要求明細状況の更新テーブル(F53101)で定義されている状況コードと混同しないようにしてください。

## 再見積りの生成

変更要求の行で勘定振替情報を変更した場合は、変更を変更要求の新規バージョンとして保存できます。新規バージョンは再見積りと呼ばれます。各再見積りが保存されるため、再見積りを使用して、変更要求の勘定振替情報に対する変更をトラッキングできます。変更要求の一連の再見積りを表示して、行われた変更およびその日付を判断できます。

再見積りでは、明細行に対して行われた変更のコピーが保存されます。見出しに対して行われた変更は保存されません。

### ▶ 再見積りを生成するには

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。

1. 〈変更要求の処理〉で、次のフィールドに値を入力して[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
2. 変更要求を選んで、[選択]をクリックします。
3. 〈変更要求(CR)の入力〉で、勘定振替情報に対して必要な変更を行います。
4. [フォーム]メニューから[再見積り]を選んで、[再見積りの生成]をクリックします。変更が保存され、再見積りに次の順序番号が割り当てられます。

### 注:

勘定振替情報に変更を加えた場合は、[再見積り]機能を使用する代わりに、[OK]をクリックすることで以前の情報を上書きできます。

## 技術的考慮事項

- 再見積りの変更** 最後の再見積りのみ変更できます。
- [再見積り]による金額コピーの使用** [フォーム]メニューまたは[ロー]メニューの[金額のコピー]を使って金額または単位を更新した場合は、[フォーム]メニューから[再見積り]を選ぶ前に[OK]をクリックする必要があります。
- 再見積りの削除** 作業と変更要求番号に対して複数の再見積りを生成し、そのいずれかを削除する必要がある場合は、次の順序で再見積りを削除する必要があります。
- 最新の再見積りを削除する。
  - 作成された順序で前の再見積りをそれぞれ削除する。
- 再見積りを削除しても、他の再見積りには影響しません。

## 変更要求での明細行の終了

変更要求の明細行にある勘定科目を承認した後で、行品目を終了できます。一般的に、行のすべての勘定科目が承認プロセスの最終ステージにあるときに、その行を終了します。行の終了後は、その行に対する修正を行えません。

変更要求の行を終了して、行がそれ以上変更されないようにします。変更要求の行を終了すると、まだ開いている行を簡単に表示できるようにもなります。〈変更要求(CR)の入力〉フォームの[表示]タブで[開いている行のみ表示]オプションを選んだ場合は、開いている行のみ表示されます。

変更要求の行を個別に終了すること、または変更要求が添付されている PCO を終了するときに変更要求のすべての行を終了できます。

### ▶ 変更要求での明細行を終了するには

---

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。

1. 〈変更要求の処理〉で、次のフィールドに値を入力して[検索]をクリックします。

- 作業 No.

2. 変更要求を選んで、[選択]をクリックします。

3. 〈変更要求(CR)の入力〉で、終了する明細行の次のフィールドに入力します。

- 要求終了

行に影が付き、編集できなくなります。

## フィールド記述

記述	用語解説
要求終了	変更要求明細行、計画変更オーダー、変更オーダーが終了しているかどうかを示すコード。 追加アクションは必要ありません。有効な値は次のとおりです。  0 オープン  1 終了

## 計画変更オーダーの改訂

変更要求が承認プロセスを移動する際に、変更要求に関する情報の検討が必要になる場合があります。変更要求が添付されている計画変更オーダー(PCO)を検討することにより、関連する変更要求を簡単に検討できます。PCO およびそれに添付されている変更要求を検討した後で、PCO を改訂できます。

PCO は、承認されるまで改訂できます。PCO を承認した後、その PCO に対して行える変更は終了のみです。処理オプションを使用して、PCO が承認済みであることを意味する状況コードを指定します。

PCO の改訂では次のことが可能です。

- 変更要求を追加または削除する。
- 次のものを除くすべての見出しフィールドを変更する。
  - [計画変更オーダー]フィールド。
  - 編集不能(グレー表示)のフィールド。
- 計画変更オーダーを終了する。

### 参照

『変更管理』ガイドの次のトピックを参照してください。

- 変更要求の追加または削除については、「変更要求の計画変更オーダーへの添付」
- 状況コードについては、「計画変更オーダーの承認」

### ▶ 計画変更オーダーを改訂するには

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈計画変更オーダー(PCO)の入力〉を選択します。

1. 〈計画変更オーダーの処理〉で、次のフィールドに値を入力して、[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
2. 計画変更オーダーを選んで、[選択]をクリックします。
3. 〈計画変更オーダー(PCO)の入力〉で、必要な変更を行い、[OK]をクリックします。

## 変更オーダーの改訂

---

変更オーダー(CO)は、承認するまで改訂できます。CO を承認した後でその CO に対して行える変更は終了のみです。処理オプションを使用して、CO が承認済みであることを意味する状況コードを指定します。

変更オーダーを改訂するときに、次の処理を行うことができます。

- 計画変更オーダーを追加または削除する。
- 次のものを除くすべての見出しフィールドを変更する。
  - 変更オーダー番号
  - 編集不能(グレー表示)のフィールド
- 変更オーダーを終了する。

### 参照

『変更管理』ガイドの次のトピックを参照してください。

- 状況コードについては、「変更オーダーの承認」
- 計画変更オーダーの追加または削除については、「計画変更オーダーの変更オーダーへの添付」

### ▶ 変更オーダーを改訂するには

---

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更オーダー(CO)の入力〉を選択します。

1. 〈変更オーダーの処理〉で、次のフィールドに値を入力し[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
2. 変更オーダーを選んで、[選択]をクリックします。
3. 〈変更オーダー(CO)の入力〉で、必要な変更を行い、[OK]をクリックします。

## 変更要求勘定、PCO、および CO の承認

---

変更要求、PCO、および CO の勘定科目を承認して、それらを組織の変更管理プロセスの次のステージに移動できるようにします。

変更要求の勘定科目の承認とは、その勘定科目の詳細状況コードを、承認を表す状況に更新することを意味します。承認を表す詳細状況コードに元帳タイプを添付した場合は、変更要求を承認したときに、詳細状況コードで指定された金額とタイプで元帳が更新されます。元帳タイプを詳細状況コードに添付しなかった場合、組織の承認プロセスでは、特定の元帳の手動更新、他者への承認の通知、またはその他の処理が必要な場合があります。

PCO と CO を承認した場合は、これらが承認プロセスの次のステージに移動します。PCO を承認した場合は、PCO に添付されている変更要求のすべての勘定科目の状況が、〈状況の一括更新〉プログラムで指定した状況に自動的に変更されます。CO を承認した場合は、添付された PCO の状況が自動的に変更され、PCO に添付されている変更要求のすべての状況が、〈状況の一括更新〉プログラムで指定した状況に変更されます。

一般には、勘定科目の最終金額を入力し、勘定科目に対するその他の変更が予想されない場合にのみ、変更要求の勘定科目を承認し、PCOとCOを承認します。

#### 参照

- 承認プロセスについては、『変更管理』ガイドの「承認プロセス」

### 〈状況の一括更新〉の理解

変更要求の勘定科目の詳細状況コードは、個別に更新することも、〈状況の一括更新〉プログラムを使って更新することもできます。〈状況の一括更新〉プログラムには、〈変更要求(CR)の入力〉フォーム、〈計画変更オーダー〉フォーム、または〈変更オーダー(CO)の入力〉フォームの[フォーム]メニューからアクセスします。計画変更オーダー(PCO)または変更オーダー(CO)を承認したときにも、〈状況の一括更新〉フォームが表示されます。〈変更要求(CR)の入力〉プログラム、〈計画変更オーダー(PCO)の入力〉プログラム、または〈変更オーダー(CO)の入力〉プログラムのいずれから〈状況の一括更新〉フォームにアクセスするかに関わらず、変更要求の勘定科目の詳細状況コードを更新するには〈状況の一括更新〉フォームを使用します。

特定の勘定タイプ(原価、収益、および外注)の状況を変更できます。あるタイプのすべての勘定科目を同じ新規状況に変更することも、同じ状況コードを持つ勘定科目のみ新規状況に変更することもできます。たとえば、すべての原価勘定を承認済みに変更したり、現在保留の状況である原価勘定のみ承認済みに変更したりできます。指定された状況の原価勘定のみ更新を指定した場合、別の状況の原価勘定は更新されません。

更新する元帳日付を指定できます。取引明細テーブル(F0911)のすべてのレコードが、指定した元帳日付で更新されます。システム日付を使用するには、[総勘定元帳]フィールドを空白のままにします。日付を指定した場合、変更要求明細行は同じ日付である必要があります。

#### 更新する勘定の指定

[更新元]フィールドで指定した状況の勘定科目のみ、[更新先]フィールドで指定した状況に更新されます。[更新元]フィールドに"\*"以外の値を入力しない場合は、すべての勘定科目が、[更新先]フィールドで指定した状況に変更されます。特定の勘定タイプの[更新先]フィールドに入力しない場合、その勘定タイプの状況は更新されません。

たとえば、状況が“原価確認保留”(詳細状況コード=C)である2つの原価勘定と、状況が“オーナー承認保留”(詳細状況コード=P)である2つの原価勘定があるとします。この例では、承認の詳細状況コードが“A”であるとします。[原価状況更新元]フィールドに“C”を入力し、[原価状況更新先]フィールドに“A”を入力した場合は、原価確認が保留中の勘定科目のみ更新されます。[原価状況更新元]フィールドの詳細状況コードを"\*"以外の値に変更せず、[原価状況更新先]フィールドに“A”を入力した場合は、4つの勘定科目すべてが承認済みに変更されます。どの原価状況フィールドにも入力せず、収益フィールドのみ入力した場合、収益状況は変更されますが、原価状況は変更されません。

#### 考慮事項の更新

〈状況の一括更新〉プログラムを使用する場合は、次のことを考慮する必要があります。

- 新規コードに変更する各勘定タイプの詳細状況コードを[更新先]カラムで指定する必要があります。たとえば、原価勘定と収益勘定の詳細状況コードを変更する場合は、[原価状況]フィールドと[収益状況]フィールドの[更新先]カラムに新規コードを指定する必要があります。どの外注勘定の状況も変更する必要がない場合は、[更新先]カラムの[外注状況]フィールドに詳細状況コードを指定する必要はありません。

- 特定のタイプのすべての勘定科目のコードをシステムにより変更する場合は、そのタイプの勘定科目の[更新元]カラムに詳細状況コードを指定する必要はない。たとえば、現在の詳細状況コードに関係なく、すべての原価勘定の詳細状況コードを“A”に変更する場合は、[原価状況]フィールドの[更新先]カラムに“A”を入力し、[更新元]カラムはワイルドカード文字(\*)のままにできます。
- 変更しない勘定タイプの[更新先]カラムに詳細状況コードを指定する必要はない。たとえば、収益勘定の詳細状況コードを変更しない場合は、[収益状況]フィールドの[更新先]カラムを空白のままにします。
- 各勘定タイプに適用する詳細状況コードのデフォルト値を指定できる。〈計画変更オーダー(PCO)の入力〉プログラムと〈変更オーダー(CO)の入力〉プログラムに異なる値を設定できます。また、〈状況の一括更新〉フォームのデフォルト値を一時変更できます。

〈状況の一括更新〉プログラムを使用すると、次の処理が実行されます。

- 詳細状況コードが、各勘定タイプの[更新先]カラムで指定したコードに変更される。詳細状況コードが承認を表すコードに変更されるのを指定できます。または、その他の有効な詳細状況コードを指定できます。
- 元帳タイプが関連している詳細状況コードを変更した場合は、〈状況の一括更新〉フォームで[OK]をクリックしたときに元帳が更新される。
- [更新元]カラムで詳細状況コードを指定しない場合は、あるタイプのすべての勘定科目が変更される。たとえば、[収益状況]フィールドの[更新元]カラムにワイルドカード文字(\*)を残した場合は、すべての収益勘定が、[収益状況]フィールドの[更新先]カラムで指定した状況に変更されます。
- [更新元]カラムに値を入力した場合は、[更新元]カラムで指定した状況の勘定科目のみ変更される。
- [見出し状況]フィールドで新規状況を指定した場合は、変更要求の見出し状況が変更される。

### 技術的考慮事項

<b>終了行</b>	〈状況の一括更新〉プログラムでは、終了した明細行または外注管理システムにコミットされた行の詳細状況コードは更新されません。
<b>最終金額</b>	〈計画変更オーダー(PCO)の入力〉プログラムまたは〈変更オーダー(CO)の入力〉プログラムから〈状況の一括更新〉プログラムにアクセスするには、計画変更オーダーに添付されたすべての変更要求の各行にある各勘定科目に、最終金額が入力されている必要があります。
<b>複数更新</b>	詳細状況コードは、必要に応じて何度でも更新できます。コードを承認済みから別のコードに変更することは可能です。

### 変更要求での勘定の承認

変更要求の勘定科目を個別に承認することも、〈状況の一括更新〉プログラムを使用して、変更要求の指定したタイプのすべての勘定科目を承認することもできます。使用方法は、変更要求の系統立ての方法、および変更要求の指定したタイプのすべての勘定科目が同時に承認準備ができるかどうかによって決まります。

指定したタイプのすべての勘定科目が現在同じ状況であり、承認の準備ができている場合は、〈状況の一括更新〉プログラムを使用して、すべての勘定科目を、承認を表す詳細状況コードに直ちに更新できます。少数の勘定科目のみ承認する必要がある場合、または特定のタイプの一部の勘定科目しか準備できていない場合は、各勘定科目を個別に更新する必要があります。

変更要求の勘定科目は、次の方法で承認できます。

- PCO と CO を承認するときに勘定科目を承認する。
- 〈変更要求(CR)の入力〉プログラムから勘定科目を承認する。

## 参照

『変更管理』ガイドの次のトピックを参照してください。

- 変更要求の系統立てについては、「変更要求の系統立て」
- 〈状況の一括更新〉プログラムを使用した変更要求勘定科目の承認については、「〈状況の一括更新〉の理解」

## PCO および CO 承認時の勘定の承認

PCO を作成し、変更要求を添付した後で、何通りかの方法を使用して変更要求の勘定科目を承認できます。変更要求の行の詳細状況コードを個別に変更することも、PCO を承認するか、または PCO が添付されている CO を承認することにより、PCO に添付されているすべての変更要求を承認することもできます。PCO または CO を承認した場合は、変更管理システムにより、承認に使用する状況コードに割り当てられている勘定科目が更新されます。PCO を承認する前に、PCO に添付されている変更要求の最終金額を入力する必要があります。

PCO に添付されているすべての変更要求のすべての行のすべての勘定科目に最終金額が入力され、承認の準備ができている場合は、その変更要求が添付されている PCO を承認することにより、変更要求の詳細状況コードを更新できます。一部の勘定科目の承認準備ができていない場合、または最終金額が入力されていない場合は、〈変更要求(CR)の入力〉プログラムにより勘定科目を個別に更新します。

- 計画変更オーダーの承認については、『変更管理』ガイドの「計画変更オーダーの承認」

## 〈変更要求(CR)の入力〉プログラムからの勘定の承認

変更要求の勘定科目を個別に承認することも、〈状況の一括更新〉プログラムを使用して複数の勘定科目を承認することもできます。

### ▶ 個別勘定を承認するには

---

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。

1. 〈変更要求の処理〉で、次のフィールドに値を入力して[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
2. 変更要求を選んで、[選択]をクリックします。

3. 〈変更オーダー(CO)の入力〉で、次のフィールドを、勘定科目の承認を表す状況に変更し、[OK]をクリックします。
  - 変更状況
  - 収益状況
  - 外注状況

#### フィールド記述

記述	用語解説
作業 No.	変更要求に関連する作業またはプロジェクトの番号。ビジネスユニット・マスター(F0006)に設定されている値を入力してください。
変更状況	選択した作業および行項目に対する原価変更要求の状況を指定するユーザー定義コード(53/ST)。このコードは変更要求の承認処理で使用され、これにより勘定残高テーブル(F0902)の更新される元帳タイプが決まります。
収益状況	選択した作業および行項目に対する収益変更要求の状況を指定するユーザー定義コード(53/ST)。このコードは変更要求の承認処理で使用され、これにより勘定残高テーブル(F0902)の更新される元帳タイプが決まります。
外注状況	選択した作業および行項目に対する外注変更要求の状況を指定するユーザー定義コード(53/ST)。このコードは変更要求の承認処理で使用され、勘定残高テーブル(F0902)で更新される元帳タイプが決まります。

#### ▶ 複数勘定を承認するには

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。

1. 〈変更要求の処理〉で、次のフィールドに値を入力して[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
2. 変更要求を選んで、[選択]をクリックします。
3. 〈変更要求(CR)の入力〉の[フォーム]メニューから[状況の一括更新]を選択します。
4. 〈状況の一括更新〉で、次のフィールドを変更して変更前の状況および変更後の状況を反映し、[OK]をクリックします。
  - 原価状況
  - 収益状況

- 外注状況
- 状況コード

勘定タイプの[更新元]フィールドにアスタリスク(\*)を残した場合は、そのタイプのすべての勘定科目が、[更新先]フィールドで指定した詳細状況コードに変更されます。

- 元帳日付

システム日付を使用するには、このフィールドをブランクのままにします。日付を指定した場合は、すべての変更要求を同じ日付にする必要があります。

PeopleSoft

状況の一括更新

OK キャンセル ツール

作業No. 1620 Birmingham Steel - Memphis

CR No. 1 Foundation Materials

CR: 各リッドローの状況をすべて更新 PCO/CO: 添付された変更要求をすべて更新

状況更新の指定	更新前	更新後
原価勘定の状況	<input type="checkbox"/> *	<input type="checkbox"/> A
収益勘定の状況	<input type="checkbox"/> *	<input type="checkbox"/> A
外注勘定の状況	<input type="checkbox"/> *	<input type="checkbox"/> A
変更要求見出し状況	<input type="checkbox"/> *	<input type="checkbox"/> A

元帳日付

## 計画変更オーダーの承認

すべての情報を入力した後で、PCO を承認できます。PCO の状況コードを、処理オプションで指定した、PCO が承認済みであることを示すコードに変更することで、PCO を承認します。

一般に、PCO 状況は、添付されている変更要求のすべての勘定科目も承認されている場合、または PCO を承認するときに承認準備ができている場合にのみ変更します。PCO を承認する前に、PCO に添付されているすべての変更要求のすべての勘定科目に最終金額が必要です。

PCO を承認すると、〈状況の一括更新〉フォームが表示されます。〈状況の一括更新〉フォームでは、PCO に添付されている変更要求のどの勘定タイプを承認済み状況に更新するかを指定します。

---

**注:**

PCO を承認した後で、その PCO に変更を加えることはできません。

---

**参照**

『変更管理』ガイドの次のトピックを参照してください。

- 金額フィールドの入力については、「勘定振替情報の入力」
- 〈状況の一括更新〉フォームの使用については、「〈状況の一括更新〉の理解」

**はじめる前に**

- [PCO 承認済み状況] 処理オプションを設定して、PCO が承認済みであることを示す使用コードがシステムに認識されるようにします。この処理オプションを設定しない場合は、どのコードが承認に関連しているかがシステムに認識されず、状況の一括更新の情報の入力は要求されません。

---

**▶ 計画変更オーダーを承認するには**

---

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈計画変更オーダー(PCO)の入力〉を選択します。

1. 〈計画変更オーダーの処理〉で、次のフィールドに値を入力し[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
2. 計画変更オーダーを選んで、[選択]をクリックします。
3. 〈計画変更オーダー(PCO)の入力〉で、PCO 状況コードを、PCO が承認されていることを表すコードに更新し、[OK]をクリックします。
4. 〈状況の一括更新〉で、次のフィールドを変更して変更前の状況および変更後の状況を反映し、[OK]をクリックします。
  - 原価状況
  - 収益状況
  - 外注状況
  - 状況コード

勘定タイプの[更新元]フィールドにアスタリスク(\*)を残した場合は、そのタイプのすべての勘定科目が、[更新先]フィールドで指定した詳細状況コードに変更されます。

- 元帳日付

システム日付を使用するには、このフィールドを空白のままにします。日付を指定した場合は、すべての変更要求を同じ日付にする必要があります。

## 変更オーダーの承認

CO のすべての情報を入力した後で、その CO を承認できます。CO の状況コードを、処理オプションで指定した、CO が承認済みであることを示すコードに変更することにより、CO を承認します。

一般に、CO 状況は、その CO に添付されている PCO に添付された変更要求のすべての勘定科目も承認済みであるか、承認の準備ができている場合にのみ、承認済みに変更します。CO を承認する前に、添付された変更要求のすべての勘定科目に最終金額が必要です。

変更オーダーを承認するときに、〈状況の一括更新〉フォームが表示されます。〈状況の一括更新〉フォームでは、CO に添付されている PCO に添付された変更要求のどの勘定タイプを承認済み状況に更新するかを指定します。

---

### 注:

CO を承認した後で、その CO に変更を加えることはできません。

---

### 参照

『変更管理』ガイドの次のトピックを参照してください。

- 〈状況の一括更新〉フォームの使用については、「〈状況の一括更新〉の理解」
- 最終金額フィールドの入力については、「勘定振替情報の入力」

### はじめる前に

- [CO 承認済み状況] 処理オプションを設定して、CO が承認済みであることを示す使用コードがシステムに認識されるようにします。この処理オプションを設定しない場合は、どのコードが承認に関連しているかがシステムに認識されず、状況の一括更新の情報の入力は要求されません。

---

### ▶ 変更オーダーを承認するには

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更オーダー(CO)の入力〉を選択します。

1. 〈変更オーダーの処理〉で、次のフィールドに値を入力し[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
2. 変更オーダーを選んで、[選択]をクリックします。
3. 〈変更オーダー(CO)の入力〉で、CO 状況コードを、CO の承認を表すコードに更新し、[OK]をクリックします。

4. 〈状況の一括更新〉で、次のフィールドを変更して変更前の状況および変更後の状況を反映し、[OK]をクリックします。

- 原価状況
- 収益状況
- 外注状況
- 状況コード

勘定タイプの[更新元]フィールドにアスタリスク(\*)を残した場合は、そのタイプのすべての勘定科目が、[更新先]フィールドで指定した詳細状況コードに変更されます。

- 元帳日付

システム日付を使用するには、このフィールドを空白のままにします。日付を指定した場合は、すべての変更要求を同じ日付にする必要があります。

---

## 外注契約情報コミットメント

変更要求の明細行にある外注勘定に契約番号を割り当てた後はいつでも、外注管理システムの該当する契約に外注勘定情報を送信できます。この更新プロセスは、外注勘定のコミットと呼ばれます。外注勘定をコミットするときに、既存の外注行を更新するか、新規外注行を作成できます。

通常は、外注勘定を承認プロセスで移動した後にこれをコミットします。最新の再見積りからのみ情報を送信できます。

J.D. Edwards では、まずテスト・モードで外注情報をコミットしてから、最終モードでコミットすることをお勧めします。外注情報をテスト・モードでコミットすると、検討用レポートが生成されますが、元帳は更新されません。情報を確認し、必要な変更を加えた後で、外注を最終モードでコミットできます。最終モードでコミットした後に、変更管理システムで外注情報に変更を加えることはできません。

---

## 外注契約情報の入力

変更要求の明細行にある外注情報を外注管理システムの該当する仕入先外注に送信する前に、外注に関する情報を入力する必要があります。外注情報を入力すると、外注勘定に関する情報が〈外注明細/コミット〉フォームに追加されます。外注勘定に関する情報を表示し、〈外注明細/コミット〉フォームから外注管理システムに外注をコミットできます。

処理オプションを設定して、契約情報が自動的に入力されるようにできます。

### はじめる前に

- 変更要求に対して入力する契約情報が購買見出しテーブル(F4301)に存在することを確認します。

### ▶ 外注契約情報を入力するには

---

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。

1. 〈変更要求の処理〉で、次のフィールドに値を入力して[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
2. 作業を選んで、[選択]をクリックします。
3. 〈変更要求(CR)の入力〉で、外注情報を追加する明細行を選択します。
4. [ロー]メニューから[追加詳細]を選択します。
5. 〈原価、収益、外注明細〉で、[外注明細]タブをクリックします。

PeopleSoft

原価/収益/外注契約の詳細

OK キャンセル フォーム ツール

作業No. 1620 Birmingham Steel - Memphis  
 変更要求(CR)No. 2 Foundation Labor

原価詳細 収益詳細 外注詳細

外注状況 A Approved JA 元帳日付 05/06/30  
 記述 Labor 外注請求品目コード  
 契約 6120 OS 000 000050 1.000 金額以外の変更 N  
 仕入先 3480 Digger Enterprises 契約補助元帳 00000002 J  
 外注勘定科目No. 1620.1341.01011100

	数量	単位	価格タイプ	単価	金額	日付
当初		HR			5,000.00	05/06/30
見積		Hour			5,000.00	05/06/30
最終					5,300.00	05/06/30
最速					5,300.00	

6. [フォーム]メニューから[外注管理]を選んで、[外注の検索]をクリックします。
7. <外注明細の検索>で、[検索]をクリックします。
8. 明細行に追加する外注情報を選んで、[選択]をクリックします。  
外注情報が[外注明細]タブに表示されます。
9. 次の任意フィールドに値を入力して[OK]をクリックします。
  - 外注請求品目コード  
外注明細が明細行に表示されます。

## フィールド記述

記述	用語解説
作業 No.	変更要求に関連する作業またはプロジェクトの番号。ビジネスユニット・マスター(F0006)に設定されている値を入力してください。
外注請求品目コード	勘定科目マスター(F0901)と関連付けられたカテゴリ・コード。これはユーザー定義コード(09/01)です。

## 外注管理への外注契約のコミット

---

変更要求の明細行にある次の外注情報を、外注管理システムの該当する外注に送信できます。

- 外注勘定情報
- 価格設定タイプ
- 数量
- 単価
- 計量単位
- 金額(最終)
- 記述
- 条件のみの変更要求

外注管理システムへの外注情報の送信は、外注管理システムへのコミットと呼ばれます。外注勘定は、〈変更要求(CR)の入力〉プログラムまたは〈外注明細/コミット〉プログラムからコミットできます。

〈変更要求(CR)の入力〉プログラムから外注勘定をコミットするときは、一度に1つの勘定科目のみコミットできます。〈外注明細/コミット〉プログラムから外注勘定をコミットするときは、複数行を選択すると複数の外注勘定をコミットできます。

### はじめる前に

- 情報の送信先の契約番号と契約タイプ・サフィックスが入力されていること、また会社名と仕入先名が入力されていることを確認します。外注情報の入力については、『変更管理』ガイドの「外注契約情報の入力」を参照してください。
- コミットする変更要求行が開いていることと、外注勘定に最終金額が含まれていることを確認します。
- [外注契約コミット]処理オプションが設定されていることを確認します。

### ▶ 〈変更要求(CR)の入力〉プログラムからコミットするには

---

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。

1. 〈変更要求の処理〉で、次のフィールドに値を入力して[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
2. 変更要求を選んで、[選択]をクリックします。
3. 〈変更要求(CR)の入力〉で、コミットする明細行を選んで、[ロー]メニューから[追加詳細]を選択します。
4. 〈原価、収益、外注明細〉で、[外注明細]タブをクリックします。
5. 次のフィールドに値を入力します。
  - 契約
  - 契約タイプ
  - オーダー・サフィックス

- オーダー会社

6. [フォーム]メニューで[外注管理]を選んで、次に[外注契約コミット]を選択します。

### ▶ 〈外注明細/コミット〉プログラムからコミットするには

〈変更管理の照会〉メニュー(G5312)から〈外注明細/コミット〉を選択します。

1. 〈外注明細/コミット〉で、コミットする勘定科目を選択します。
2. [ロー]メニューから[外注契約コミット]を選択します。
3. 〈外注の確認〉で[OK]をクリックすると勘定科目がコミットされます。

外注が外注管理システムにコミットされます。最終モードでコミットした場合は、詳細状況コードが、処理オプションで指定したコードに変更されます。

### 技術的考慮事項

#### テスト・モードおよび最終モードでのコミット

処理オプションを設定することで、テスト・モードまたは最終モードでコミットできます。最終モードでコミット後は、変更管理システムで外注情報または契約情報に変更を加えることはできません。

誤って最終モードでコミットすることを防ぐために、処理オプション:〈変更要求(CR)の入力〉プログラムを一方のモードに設定し、処理オプション:〈外注明細/コミット〉プログラムまたは〈変更要求収益明細〉プログラムをもう一方のモードに設定できます。たとえば、処理オプション:〈変更要求(CR)の入力〉プログラムを、テスト・モードで外注をコミットするよう設定し、処理オプション:〈外注明細/コミット〉プログラムを、最終モードでコミットするよう設定できます。各プログラムを異なるモードに設定し、テスト・モードでのコミットには常に一方のプログラムを使用し、最終モードでのコミットにはもう一方のプログラムを使用すると、エラーの可能性を最小限に抑えます。

〈変更要求(CR)の入力〉プログラムから勘定科目に必要な変更を加える必要があるため、〈変更要求(CR)の入力〉フォームからテスト・モードでコミットすることをお勧めします。詳細状況コードの更新や金額の更新など、必要な変更を行った後で、外注または契約情報をコミットできます。コミットすると、すべての金額と勘定科目が正しいことを検討、確認できるレポートが生成されます。その後、再コミットして新規レポートを検討できます。すべての仕訳が正しい場合は、〈外注明細/コミット〉プログラムまたは〈変更要求収益明細〉プログラムから最終モードでコミットできます。

#### 詳細状況コード

一般に、外注または契約情報は、それぞれの勘定が承認されたとき、および勘定に対する変更が予想されないときにコミットします。多くの組織では、最終モードでコミットされた勘定科目に特別な詳細状況コードを作成して、どの勘定科目がコミットされているかを簡単に判断できるようにしています。送信済みの外注または契約の状況に関する処理オプションを設定して、コミット後の勘定科目に割り当てた詳細状況コードが特別な詳細状況コードに自動的に更新されるようにします。

### 〈外注契約修正〉レポートの印刷

変更要求の明細行の外注勘定をテスト・モードまたは最終モードで外注管理システムにコミットすると、〈外注契約修正〉レポートが生成されます。

〈変更管理〉レポートから〈外注契約修正〉レポートを契約の修正として使用できます。承認用の署名行が用意されています。

〈変更管理〉レポートからの〈外注契約修正〉レポートには、次の内容が含まれます。

- 契約番号および契約タイプ
- 変更番号
- 変更要求番号および金額
- 外注のコミット日付
- 外注勘定番号および主科目番号

## 処理オプション:〈外注明細の変更要求〉プログラム(P53301)

### 処理タブ

次の情報を指定します。

- 外注管理で要求をコミットする際の外注変更オーダー番号と勘定科目コード
- 新規行品目の作成と既存の行品目の更新のどちらによって外注管理が更新されるか
- 変更要求がコミットされたときの更新先の状況コード
- プログラムをテスト・モードまたは最終モードのどちらで実行するか

---

#### 1. 実行モード ブランク = テスト・モード 1 = 最終モード

プログラムをテストモードと最終モードのどちらで実行するかを指定します。最終モードで実行する前に、まずテストモードで実行してレポートの内容を確認してください。プログラムを最終モードで実行すると、テーブルが更新され、レポートが作成されます。有効な値は次のとおりです。

ブランク テストモード  
1 最終モード

#### 2. 外注変更オーダー(CO)番号

ブランク = 既存の変更オーダー(CO)番号を使用  
1 = 下の入力値を使用

変更要求に自動的に割り当てる外注契約変更オーダー番号を指定します。有効な値は次のとおりです。

ブランク 既存の外注契約変更オーダーの番号を使用する  
1 処理オプションで指定した外注契約変更オーダー番号を使用する

外注変更オーダー(CO)番号

---

---

変更要求を割り当てる外注契約変更オーダー番号を指定します。  
このフィールドを空白にすると、自動採番による外注契約変更オーダー番号が使用されます。

### 3. 外注詳細行

空白 = 新しく詳細行を作成する

1 = 既存の詳細行を更新する

変更要求をコミットする際の購買明細テーブル(F4311)の更新方法を指定します。有効な値は次のとおりです。

空白 購買明細テーブルに新しい外注契約行項目を作成する

1 購買明細テーブルにある既存の外注契約行項目を更新する支払がなされていない場合、その行項目の現行金額は、コミット金額で置き換えられます。

### 4. 勘定科目

空白 = 既存の勘定科目を使用する

1 = AAI を使用する

変更要求をコミットする際に使用する勘定科目を指定します。有効な値は次のとおりです。

空白 既存の勘定科目を使用する

1 変更管理用に自動仕訳(AAI)で指定された勘定科目を使用する

### 5. 外注状況

外注契約管理にコミットされた時点で変更要求に割り当てられる詳細状況コードを指定します。〈状況コードの更新〉プログラムでこの詳細状況コードが設定されていることを確認してください。

#### 5a. F0911 の監査証跡

空白 = 期間ごとに作成する

1 = 作成する

2 = 作成しない

---

取引明細テーブル(F0911)の監査証跡レコードの作成方法を指定します。  
有効な値は次のとおりです。

ブランク 期間が変わるごとに監査証跡レコードを作成する  
(元帳日付が期間終了日付の取引明細レコードがある場合、  
そのレコードは新しい情報で更新され、ない場合は新しい  
監査証跡レコードが作成されます)

- 1 既存の取引明細レコードがあるかどうかに関わらず新しい  
監査証跡レコードを作成する
- 2 監査証跡レコードを作成しない

6 条件 - 行タイプのみ

---

### ログの改訂タブ

〈契約ログの改訂〉の作成時に使用するログ・タイプと支払有効フラグの機能を指定します。

---

#### 1. コミット処理時のログタイプ

〈契約ログの改訂〉の作成時に割り当てるログタイプを指定します。  
フィールドの横にあるビジュアルアシストをクリックすると、有効  
な値のリストが表示されます。

#### 2. コミット処理時の支払警告

〈契約ログの改訂〉の作成時に割り当てる支払有効フラグを指定します。

---

### バージョン・タブ

〈外注/購買オーダー入力〉プログラムを実行したときに使用するバージョンを指定します。

---

#### 1. 外注/購買オーダー入力 (P4310)

変更要求をコミットする時に使用するバージョンを指定します。購買オーダー  
(P4310)に対して選択したバージョンを使ってサーバーXT4311Z1で処理が実行  
されます。

バージョンを指定する前に、バージョンの処理オプションが必要な条件を満たし  
ていることを確認してください。ブランクにすると、バージョン ZJDE0015 が  
使用されます。

---

## 外注契約ログの管理

---

変更管理システムでは、外注を外注管理システムに最終モードでコミットすると、ログが自動的に作成されます。ログは、契約情報の補足情報をトラッキングできるように作成されるレコードです。

ログ・タイプやログ状況などの一般情報が各ログに表示されます。ログには、ドキュメントまたは活動を表す次のいずれかのタイプの情報も含めることができます。

- 仕入先住所番号
- 外注管理システムからの契約番号および契約タイプ

ログには、会議の日付、注記など契約に関連する他の情報も含まれます。

ログを手動で変更すること、またはシステムで作成されるログを修正できます。次の情報が含まれます。

- 受理事項。たとえば保険証明書など、協力会社や仕入先から受け取る必要のある情報です。
- 送付事項。進行許可など協力会社や仕入先に送付する必要のある情報です。

ドキュメントまたは活動に関する記述テキストも追加できます。

ログの改訂は、ログ・マスター(F4303)に保管されます。記述テキストはメディア・オブジェクトに保管されます。

### 変更要求に対するログの修正

変更管理システムでは、外注管理システムに外注をコミットしたときに、ログが自動的に作成されます。ログを修正して、外注管理システムでトラッキングされない情報を追加できます。ログを手動で作成することもできます。

#### ▶ 変更要求ログを修正するには

---

〈変更管理の照会〉メニュー(G5312)から〈ログの改訂〉を選択します。

1. 〈変更管理ログ詳細〉で次のフィールドに値を入力します。

- 作業 No.
- 変更要求(CR)No.

2. 必要に応じて次の任意フィールドに値を入力します。

- ログ・タイプ
- 記述
- ログ状況
- 備考
- 要求日付

- 支払時警告
  - 発行日付
  - 有効終了日付
  - 契約 No.
  - 契約タイプ
  - 会社
  - 住所 No.
  - カテゴリコード 1
  - カテゴリコード 2
  - カテゴリコード 3
3. 記述テキストを入力するには、詳細域の[ログ・タイプ]フィールドの左にあるグレーのボックスをダブルクリックします(ラベルはありません)。
  4. <メディア・オブジェクト>で、[ファイル]メニューから[新規]-[テキスト]を選択します。
  5. ログの改訂の記述テキストを入力します。
  6. [ファイル]メニューから[保存して終了]を選択します。
  7. <変更管理ログ詳細>で、[OK]をクリックします。

## フィールド記述

記述	用語解説
作業 No.	会社の中で費用をトラッキングする単位を表す英数字のコード。組織の部署や課などの部門の他にも、倉庫、作業、プロジェクト、作業場、事業所、工場などをビジネスユニットとして設定できます。ビジネスユニットを伝票、会社、個人などに割り当てることにより、さまざまなレポートを作成できます。たとえば、ビジネスユニット別に未決済買掛金/売掛金レポートを作成して、管轄部門ごとの支払/入金予定を把握することができます。ビジネスユニットにセキュリティを設定することにより、ビジネスユニットに関する情報を、特定のユーザーからしか照会できないようにできます。
変更要求(CR)No.	作業要求に割り当てられた変更要求番号
ログ・タイプ	ログの情報タイプを識別するユーザー定義コード(00/LG)。ログ・タイプは、類似するタイプをグループにまとめるときに使用されます。

ログ状況	<p>ログの行の条件が満たされたかどうかを示すコード。 有効な値は次のとおりです。</p> <p>Y 条件を満たしている N 条件を満たしていない ブランク 条件を満たしていないか、有効になっていないか、または重要ではない</p>
要求日付	<p>受信されるログ入力の日付。保険証明の受理事項を例にとると、保険証券や適用範囲の証明を受け取る日付が[必須日付]フィールドに入力されます。</p>
支払時警告	<p>提示条件を満たしていない場合に、協力会社への通常の支払を一時停止するほど、提出条件が重要であることを示します。このコードは、通常、提示条件のログ入力に関連して使用されます。有効な値は次のとおりです。</p> <p>Y ログの条件が満たされていない場合に警告メッセージを表示する N 警告メッセージを表示しない</p> <p>支払有効が“Y”に設定されていて、ログ条件に問題がある場合に、出来高払いの入力時に警告メッセージが表示されることがあります。</p>
発行日付	<p>ログ入力が記録された日付。たとえば、保険証券の有効日付を[発行日付]フィールドに入力します。</p>
有効終了日付	<p>ログ入力の有効期限。たとえば、保険証明の提示条件では、保険証券の失効日付を[有効期限日付]フィールドに入力します。〈受理状況更新〉プログラムは、証券の失効日付を使用して状況フィールドを更新します。[有効期限]が、このプログラムを実行する日付より早い場合は、ログ入力に対して状況が“N”に設定されず。</p>
契約 No.	<p>当初伝票を識別する番号。得意先への請求書や仕入先からの請求書、受注オーダー、仮受金、仕訳など 伝票にはさまざまな種類があります。</p>
契約タイプ	<p>伝票タイプを識別するユーザー定義コード(00/DT)。また、このコードは取引(トランザクション)のタイプも示します。伝票、請求書、領収書、およびタイム・カード用に伝票タイプ・コードを予約しており、これらのタイプ・コードにより転記プログラムの実行時に自動仕訳が作成されます。これらの仕訳は、当初入力の際には残高自動計算は行われません。事前定義されている次の伝票タイプは、変更しないでください。</p> <p>P 買掛金伝票 R 売掛金伝票 T 給与計算伝票 I 在庫伝票 O 購買伝票 J 一般会計／共有請求伝票 S 受注伝票</p>

---

<b>会社</b>	<p>オーダー番号およびオーダータイプとともに使用して、購買オーダー、契約、受注オーダーなどのオーダー伝票を一意に識別する番号。</p> <p>会社／会計年度別に自動採番する場合、「次の番号」(X0010)はその会社に対して正しい「次の番号」を取り込むために、オーダー会社を使用します。2 つ以上のオーダー伝票が同じオーダー番号と伝票タイプをもつ場合は、オーダー会社を使って伝票を検索できます。</p> <p>通常の自動採番機能を使用する場合、オーダー会社は「次の番号」の割当てには使用されないため、伝票を検索する際には不要になります。</p>
<b>住所 No.</b>	<p>住所番号は、住所録システムのエントリを識別する番号です。従業員、応募者、参加者、顧客、仕入先、テナント、保管場所などを識別するために使用します。</p>
<b>カテゴリコード 1</b>	<p>ログ情報に関連付けられているユーザー定義のカテゴリ・コードです。</p>

---

---

## 契約情報コミットメント

変更要求の明細行で収益勘定に契約番号を割り当てた後はいつでも、収益勘定情報を契約請求システムの該当する契約に送信できます。この更新プロセスは、収益勘定のコミットと呼ばれます。収益勘定をコミットするときに、既存の契約行を更新するか、新規契約行を作成できます。

通常は、収益勘定を承認プロセスで移動した後にこれをコミットします。最新の再見積りからのみ情報を送信できます。

J.D. Edwards では、まずテスト・モードで契約情報をコミットしてから、最終モードでコミットすることをお勧めします。契約情報をテスト・モードでコミットすると、検討用レポートが生成されますが、元帳は更新されません。情報を確認し、必要な変更を加えた後で、契約を最終モードでコミットできます。最終モードでコミットした後は、変更管理システムで契約情報に変更を加えることはできません。

---

## 契約に対する収益情報の入力

変更要求の明細行の契約情報を契約請求システムの該当する契約に送信する前に、契約に関する情報を入力する必要があります。契約情報を入力すると、対応する収益勘定に関する情報が〈収益明細/コミット〉フォームに追加されます。収益勘定に関する情報を表示し、〈収益明細/コミット〉フォームから契約請求システムに契約をコミットできます。

処理オプションを設定して、契約情報が自動的に入力されるようにできます。

### ▶ 契約に対する収益情報を入力するには

---

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。

1. 〈変更要求の処理〉で、次のフィールドに値を入力して[検索]をクリックします。

- 作業 No.

2. 変更要求を選んで、[選択]をクリックします。

3. 〈変更要求(CR)の入力〉で、契約情報を追加する明細行を選択します。

4. [ロー]メニューから[追加詳細]を選択します。

5. 〈原価、収益、外注明細〉で、[収益明細]タブをクリックします。

6. [フォーム]メニューから[契約請求]-[契約の検索]をクリックします。

7. 〈契約の検索〉で、[検索]をクリックします。

8. 明細行に追加する契約情報を選んで、[選択]をクリックします。

契約情報が[収益明細]タブに表示されます。

9. 次の任意フィールドに値を入力して[OK]をクリックします。

- 収益請求品目

収益明細が明細行に表示されます。

## 契約請求への契約情報のコミット

---

変更要求の明細行にある次の契約情報を、契約請求システムの該当する契約に送信できます。

- 収益勘定情報
- 契約情報
- 価格タイプ
- 数量
- 単価
- 計量単位
- 金額(最終)
- 請求行情報
- 条件のみの変更要求

契約請求システムへの契約情報の送信は、契約請求システムへのコミットと呼ばれます。収益勘定は、〈変更要求(CR)の入力〉プログラムまたは〈変更要求収益明細〉プログラム(P53311)からコミットできます。

〈変更要求(CR)の入力〉プログラムから収益勘定をコミットするときは、一度に1つの勘定科目のみコミットできます。〈変更要求収益明細〉プログラムから収益勘定をコミットするときは、複数行を選択すると複数の収益勘定をコミットできます。

### 参照

- 『契約請求』ガイドの「基本規則の定義」

### はじめる前に

- 契約請求システムに契約を設定します。契約には、基本契約書変更オーダー・レコードが必要です。

### ▶ 〈変更要求(CR)の入力〉プログラムからコミットするには

---

〈変更管理の設定〉メニュー(G5311)から〈変更要求(CR)の入力〉を選択します。

1. 〈変更要求の処理〉で、次のフィールドに値を入力して[検索]をクリックします。
  - 作業 No.
2. 変更要求を選んで、[選択]をクリックします。
3. 〈変更要求(CR)の入力〉で、コミットする明細行を選んで、[ロー]メニューから[追加詳細]を選択します。

4. 〈原価、収益、外注明細〉で、[収益]タブをクリックして次のフィールドに値を入力します。
  - 契約 No.
  - 請求行
  - 記述
5. [OK]をクリックします。

▶ 〈変更要求収益明細〉プログラムからコミットするには

---

〈変更管理の照会〉メニュー(G5312)から、〈収益明細〉レポートを選択します。

1. 〈収益明細/コミットの処理〉で、次のフィールドに値を入力します。
  - 作業 No.
2. 次のオプションのうち 1 つを選択し、[検索]をクリックします。
  - すべて
  - 引当済み
  - 未引当て
3. コミットするレコードを選択し、[ロー]メニューから[請求のコミット]をクリックします。
4. 〈契約の確認〉で[OK]をクリックすると勘定科目がコミットされます。

契約が契約請求システムにコミットされます。最終モードでコミットした場合は、詳細状況コードが、処理オプションで指定した状況コードに変更されます。

### 技術的考慮事項

**テスト・モードおよび最終モードのコミット** 処理オプションを設定することにより、テスト・モードまたは最終モードでコミットできます。最終モードでコミットした後は、変更管理システムで外注情報または契約情報に変更を加えることはできません。

誤って最終モードでコミットすることを防ぐために、処理オプション:〈変更要求(CR)の入力〉プログラムを一方のモードに設定し、処理オプション:〈外注明細/コミット〉プログラムまたは〈変更要求収益明細〉プログラムをもう一方のモードに設定できます。たとえば、処理オプション:〈変更要求(CR)の入力〉プログラムを、テスト・モードで外注をコミットするよう設定し、処理オプション:〈外注明細/コミット〉プログラムを、最終モードでコミットするよう設定できます。各プログラムを異なるモードに設定し、テスト・モードでのコミットには常に一方のプログラムを使用し、最終モードでのコミットにはもう一方のプログラムを使用すると、エラーの可能性を最小限に抑えます。

〈変更要求(CR)の入力〉プログラムから勘定科目に必要な変更を加える必要があるため、〈変更要求(CR)の入力〉フォームからテスト・モードでコミットすることをお勧めします。詳細状況コードの更新や金額の更新など、必要な変更を行った後で、外注または契約情報をコミットできます。コミットすると、すべての金額と勘定科目が正しいことを検討、確認できるレポートが生成されます。その後、再コミットして新規レポートを検討できます。すべての仕訳が正しい場合は、〈外注明細/コミット〉プログラムまたは〈変更要求収益明細〉プログラムから最終モードでコミットできます。

## 詳細状況コード

一般に、外注または契約情報は、それぞれの勘定が承認されたとき、および勘定に対する変更が予想されないときにコミットします。多くの組織では、最終モードでコミットされた勘定科目に特別な詳細状況コードを作成して、どの勘定科目がコミットされているかを簡単に判断できるようにしています。送信済みの外注または契約の状況に関する処理オプションを設定して、コミット後の勘定科目に割り当てた詳細状況コードが特別な詳細状況コードに自動的に更新されるようにします。

## 処理オプション: 変更要求収益明細プログラム(P53311)

---

デフォルト

1. 実行モード

ブランク = テスト・モード

1 = 最終モード

2. 収益変更要求の状況コード (53/ST)

---

## 契約修正レポート(R53480)の印刷

---

変更要求の明細行にある収益勘定をテスト・モードまたは最終モードで契約請求システムにコミットすると、〈契約修正〉レポートが生成されます。

このレポートは、変更要求を契約請求にコミットしたときに自動的に生成されます。また、このレポートはいつでも実行できます。

〈変更管理〉レポートから、〈契約修正〉レポートを契約への修正として使用できます。承認用の署名行が用意されています。

〈変更管理〉レポートからの〈契約修正〉レポートには、次の内容が含まれます。

- 契約番号および契約タイプ
- 契約合計金額
- 変更要求番号および金額
- 契約のコミット日付
- 外注勘定番号および主科目番号

# レポート

〈変更管理〉レポートを印刷して、変更要求、計画変更オーダー、および変更オーダーに関する情報を検討します。

## 変更要求集計レポートの印刷

〈変更管理レポート〉メニュー(G5313)から〈変更要求(CR)集計〉を選択します。

〈変更要求(CR)集計〉レポートの1つまたは複数の作業を選択できます。また、レポートに表示する変更要求を選択できます。処理オプションを設定して、原価、収益、および外注勘定の合計の決定方法を指定できます。

レポートには、各変更要求について次の項目が表示されます。

- 変更要求および再見積番号
- 記述
- 要求、合計、当初、および承認日付
- 原価、収益、および外注勘定の合計
- PCO と CO の番号および状況

変更		再見積	記述	所要日数	合計日数	当初日付	承認日付	状況	優先度	変更	原価合計	収益合計	外注合計	PCO No.	会社No.	状況
1			Foundation Materials				3	I	M	Y	17,000.00	10,500.00		1	S	1 S
2			Foundation Labor				A	S	M	Y	5,600.00	9,800.00	5,300.00	1	S	1 S
3			Foundation Equipment				A	I	M	Y	6,800.00			1	S	1 S
4			Framing Materials				A	I	M	Y	14,500.00			4	S	1 S
5			Framing Labor				1	S	M	Y	180,000.00	188,000.00	92,700.00	4	S	1 S
合計			1520 Birmingham Steel - Memphis								203,900.00	208,300.00	99,000.00			
総合計											203,900.00	208,300.00	99,000.00			

## 処理オプション: 変更要求(CR)集計レポート(R534011)

### デフォルト・タブ

原価、収益、および外注勘定の計算に使用される金額(当初、見積、最終、または最適)を指定します。

---

#### 1. 原価合計

blank = 最適

1 = 当初

2 = 見積

3 = 最終

合計原価の計算方法を指定します。有効な値は次のとおりです。

blank 最適金額

1 当初金額

2 見積金額

3 最終金額

#### 2. 収益合計

blank = 最適

1 = 当初

2 = 見積

3 = 最終

収益金額の合計の計算方法を指定します。有効な値は次のとおりです。

blank 最適金額

1 当初金額

2 見積金額

3 最終金額

#### 3. 外注合計

blank = 最適

1 = 当初

2 = 見積

3 = 最終

---

外注契約合計金額の計算方法を指定します。有効な値は次のとおりです。

- Blank 最適金額
- 1 当初金額
  - 2 見積金額
  - 3 最終金額

---

## 変更管理レポートの印刷

---

変更管理システムでは、変更要求情報の検討、管理に役立つ各種のレポートが提供されています。

〈変更管理〉レポートを使用して、次のような情報を検討します。

<b>変更要求</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 詳細および集計情報</li><li>• 契約情報</li><li>• 明細行にある各勘定の状況</li><li>• 各勘定の勘定科目コードおよび金額</li></ul>
<b>計画変更オーダー</b>	詳細および集計情報
<b>変更オーダー</b>	詳細および集計情報
<b>外注費</b>	ログ情報

変更要求明細テーブル(F5311)、計画変更オーダー・マスター(F5314)、および変更オーダー・マスター(F5315)に整合性レポートを生成することもできます。整合性レポートには、1つの作業に複数の通貨を使用したことが原因の差額に関する情報が含まれます。

## 勘定別変更要求の詳細レポートの印刷

〈変更管理のレポート〉メニュー(G5313)から〈変更要求(CR)詳細〉を選択します。

〈勘定別変更要求の詳細〉レポートには、選択した変更要求または再見積りの明細行情報が含まれます。レポートには、各変更要求または再見積りについて次の項目が表示されます。

- 変更要求番号
- 各行の記述
- 勘定科目コード
- 明細行にある各勘定の当初、見積、および最終金額
- 明細行にある各勘定の状況
- 原価、収益、および外注勘定の最適金額合計

- PCO および CO 情報は次のとおりです。

- 番号
- 状況
- 送信日付および承認日付

作業No.		1620 Birmingham Steel - Memphis		J. D. Edwards & Company		03/08/01 15:33:05	
変更要求		1 Foundation Materials		科目別変更要求明細レポート		P. 1	
再見積り		1 Foundation		PCO状況 S 提示日付		承認日付	
詳細変更レポート		1 Structure		CO状況 S 提示日付		05/08/05 承認日付	
承認		収益		外注		西暦/会計日数 /	
N C		P L		S T		D O	
当部		見積		最終		当部	
見積		最終		見積		最終	
Small Materials	N O A	10,000.00	10,000.00	11,000.00	N		N
		原価勘定科目	1620_1351_0202002		収益勘定科目		外注勘定科目
Excavation Materials	N O M	5,000.00	5,000.00	6,000.00	P N	10,000.00	10,500.00
		原価勘定科目	1620_1351_0202020		収益勘定科目	1620_1351_0202000	外注勘定科目
変更要求合計	1	15,000.00	15,000.00	17,000.00		10,000.00	10,500.00
		17,000.00					
作業合計	1620	15,000.00	15,000.00	17,000.00		10,000.00	10,500.00

## 変更要求詳細(契約あり)レポートの印刷

〈変更管理レポート〉メニュー(G5313)から〈変更要求詳細(契約あり)〉を選択します。

〈変更要求詳細(契約あり)〉レポートには、選択した変更要求または再見積りの明細行情報が一覧表示されます。各変更要求または再見積りについて、レポートには次の項目が一覧表示されます。

- 変更要求番号
- 各行の記述
- 明細行にある収益および外注の各勘定の勘定科目コード、当初、見積、最終、および最適金額
- 明細行にある収益および外注の各勘定の状況
- 収益および外注の各勘定には次のような契約情報があります。
  - 契約番号および契約タイプ
  - 所有者
  - 仕入先

- 支払項目
- コミットメント日付
- 次のような PCO および CO 情報が含まれます。
  - 番号
  - 状況
  - 送信日付および承認日付

## 作業計画変更オーダー(PCO)レポートの印刷

〈変更管理レポート〉メニュー(G5313)から〈作業計画変更オーダー(PCO)〉を選択します。

〈作業計画変更オーダー(PCO)〉レポートには、作業の PCO の合計に関する情報が含まれます。このレポートには次の情報が含まれます。

- 作業番号とその記述
- 次のような PCO 情報が含まれます。
  - PCO 番号とその記述
  - 状況
  - 送信日付および承認日付
  - 原価、収益、外注勘定の見積合計と承認合計

## 作業 PCO 集計レポートの印刷

〈変更管理レポート〉メニュー(G5313)から〈作業 PCO 集計〉を選択します。

〈作業 PCO 集計〉レポートには、作業の PCO の合計に関する情報が含まれます。このレポートには次の情報が含まれます。

- 作業番号とその記述
- 変更オーダー番号とその記述
- 次のような PCO 情報が含まれます。
  - PCO 番号とその記述
  - 状況
  - 送信日付および承認日付
  - 原価、収益、および外注勘定の承認金額
  - 原価、収益、および外注勘定の最適金額合計
- 添付の変更要求には次の情報が含まれます。
  - 番号とその記述
  - 原価、収益、および外注勘定の当初、見積、および最終金額
  - 原価、収益、および外注勘定の最適金額合計



## 作業変更オーダー・レポートの印刷

〈変更管理レポート〉メニュー(G5313)から〈作業変更オーダー〉を選択します。

〈作業変更オーダー〉レポートには、作業の変更オーダーに関する次の情報が含まれます。

- 変更オーダー番号とその記述
- 状況
- 送信日付および承認日付
- 各 CO の原価、収益、および外注勘定の見積合計と承認合計

CO		表示		承認済		原価		収益		外注	
No.	記述/Unit	CL	ST	目付	目付	見積合計	承認済み合計	見積合計	承認済み合計	見積合計	承認済み合計
1	Structure	0 S	Submitted	05/06/05		205,000.00	103,900.00	92,800.00	96,300.00	13,500.00	99,000.00
作業合併		1820				205,000.00	103,900.00	92,800.00	96,300.00	13,500.00	99,000.00
総合計						205,000.00	103,900.00	92,800.00	96,300.00	13,500.00	99,000.00

## 作業変更オーダー(CO)集計レポートの印刷

〈変更管理レポート〉メニュー(G5313)から〈作業変更オーダー(CO)集計〉を選択します。

〈作業変更オーダー(CO)集計〉レポートには、CO に添付されている PCO と PCO に添付されている変更要求に関する情報が含まれます。このレポートには次の情報が含まれます。

- 原価、収益、および外注勘定の CO 承認金額合計
- 原価、収益、および外注勘定の PCO 承認金額合計
- CO および作業の最適金額合計

作業No.		1820	Birmingham Steel - Memphis	0状況	S 費入済み	提示日付	05/06/05	承認日付	所要/合計日数	8 / 3	
変更オーダーNo.		1	Structure								
変更オーダー認可金額			原価	103,900.00		収益	95,300.00		外注	99,000.00	
PCO			S C								
No.	記述		承認済みPCO	見積合計	最終合計	承認済みPCO	見積合計	最終合計	承認済みPCO	見積合計	最終合計
1	Structure	S 0	26,400.00	27,000.00	29,400.00	20,300.00	20,800.00	20,300.00	5,300.00	5,000.00	5,300.00
				29,400.00			20,300.00			5,300.00	
4	Structure	S 0	74,500.00	178,000.00	74,500.00	76,000.00	72,000.00	76,000.00	93,700.00	8,500.00	93,700.00
				174,500.00			186,000.00			93,700.00	
会社合計		1	103,900.00	205,000.00	103,900.00	95,300.00	92,800.00	95,300.00	98,000.00	13,500.00	99,000.00
				最適	最適	最適	最適	最適	最適	最適	最適
作業合計		1820	103,900.00	205,000.00	103,900.00	95,300.00	92,800.00	95,300.00	98,000.00	13,500.00	99,000.00
				最適	最適	最適	最適	最適	最適	最適	最適

## 作業変更オーダー(CO)詳細レポートの印刷

〈変更管理レポート〉メニュー(G5313)から〈作業変更オーダー(CO)詳細〉を選択します。

〈作業変更オーダー(CO)詳細〉レポートには、変更要求に関する次の情報が含まれます。

- 作業番号とその記述
- CO には次の情報が含まれます。
  - CO 番号とその記述
  - 状況
  - 送信日付および承認日付
  - 原価、収益、および外注勘定の承認金額合計

- CO に添付する計画変更オーダーには次の情報が含まれます。
  - PCO 番号とその記述
  - 原価、収益、および外注勘定の PCO 承認金額
- PCO に添付する変更要求には次の情報が含まれます。
  - 変更要求番号とその記述
  - 原価、収益、および外注勘定の見積金額と最終金額

## CO/PCO(F5315/F5314)整合性レポートの印刷

〈変更管理レポート〉メニュー(G5313)から〈CO/PCO(F5315/F5314)整合性〉を選択します。

〈CO/PCO(F5315/F5314)整合性〉レポートは、変更オーダー・マスター(F5315)の原価、収益、および外注レコードの最終金額と見積金額を、計画変更オーダー・マスター(F5314)の添付計画変更オーダーと比較して、レポートに差額を出力します。

このレポートには、複数の通貨が使用されているときに発生する差額に関する情報が含まれます。

## PCO/CR(F5314/F5311)整合性レポートの印刷

〈変更管理レポート〉メニュー(G5313)から〈PCO/CR(F5314/F5311)整合性〉を選択します。

〈PCO/CR(F5314/F5311)整合性〉レポートは、計画変更オーダー・マスター(F5314)の原価、収益、および外注レコードの最終金額と見積金額を、変更要求明細テーブル(F5311)の添付変更要求と比較して、レポートに差額を印刷します。

このレポートには、複数の通貨が使用されているときに発生する差額情報が含まれます。

## ログ・レポート/更新レポートの印刷

〈変更管理レポート〉メニュー(G5313)から〈ログ・レポート/更新〉を選択します。

〈ログ・レポート/更新〉レポートは、各ログ・エントリと指定作業の補足コメントから構成されます。補足コメントには、協力会社から受け取る必要のあるドキュメントや、協力会社に送る必要のあるドキュメントまたは情報などのコメントが含まれます。

各ログには次の情報が表示されます。

- ログ・タイプ
- 記述
- 説明
- 発行、失効、および要求日付

---

## 変更管理システム・セットアップ

変更管理システムを使用する前に、変更要求処理中に使用される、ビジネス特有の情報を定義する必要があります。

次の表に、変更管理システムを使用する前に必要な設定タスクを説明します。

<b>ユーザー定義コード</b>	ビジネス・ニーズに適したカスタマイズ済みコードを定義します。たとえば、変更要求の優先順位、変更要求のタイプ、および計画変更オーダーと変更オーダーの状況を識別するコードを定義できます。
<b>変更要求(CR)詳細状況コード</b>	変更要求の勘定科目の承認ステージを定義します。取引明細を詳細状況コードに関連付けて、変更要求の勘定科目の詳細状況コードを更新したときに元帳が更新されるようにできます。
<b>作業特定ユーザー定義コード</b>	作業に特定のコードを定義します。たとえば、作業に複数のフェーズがある場合は、各フェーズのコードを定義できます。各変更要求のコードを使用して、変更要求が属する作業のフェーズを知ることができます。
<b>元帳タイプ・マスター</b>	元帳タイプ・レベルで金額の表示小数点以下桁数を定義します。元帳タイプは作業レベルまたは会社レベルで設定できます。
<b>AAI(自動仕訳)</b>	変更要求明細行の外注勘定を外注管理システムにコミットするときに使用されるAAI(CMxx)を定義します。
<b>カラム・バージョン</b>	〈変更要求(CR)の入力〉プログラムにアクセスするときに表示できる保存済みカラム・バージョンを表示します。

上記に示したタスクのプログラムは、〈変更管理システムのセットアップ〉メニュー(G5341)にあります。

### 参照

『一般会計』ガイドの次のトピックを参照してください。

- 元帳タイプ・レベルでの金額の表示小数点以下桁数の定義については、「元帳タイプ規則のセットアップ」
- AAI(自動仕訳)の定義については「AAIの処理」

---

## 変更管理のユーザー定義コードの設定

次のいずれかのナビゲーションを使用します。

〈変更管理システムのセットアップ〉メニュー(G5341)から〈変更管理ユーザー定義コード〉を選択します。

略式コマンドに「UDC」と入力します。

次のユーザー定義コードを、変更要求の識別情報の一部として使用できます。これらは情報のみです。

- 変更要求見出し状況(53/ST)** このコードは、変更要求の全体状況を示す場合に〈変更要求(GR)の入力〉フォームで使用します。このコードは元帳タイプに影響しません。このコードを、変更要求(GR)詳細状況の更新テーブル(F53101)で定義した詳細状況コードと混同しないください。
- 変更要求優先順位(53/ST)** このコードは、変更要求の緊急性をトラッキングする場合に使用します。
- 変更要求タイプ(53/TY)** このコードは、変更要求を定義する場合に使用します。たとえば、変更要求の価格設定方法を識別するコードを作成できます。
- カテゴリ・コード(53/01-05)** このコード(1~5)は、ユーザーが割り当てた値に基づいて選択してレポートを生成する場合に使用します。たとえば、変更がオーナーと会社のどちらによって開始されたかを識別するコードを作成できます。
- 計画変更オーダー状況(53/PC)** このコードは計画変更オーダー(PCO)の状況を表す場合に使用します。[PCO承認済み状況]処理オプションで PCO 状況コードを入力した場合は、PCO を承認したときに〈状況の一括更新〉プログラムが開きます。〈状況の一括更新〉プログラムでは、PCO に添付されている変更要求の勘定科目の状況コードを更新できます。
- 変更オーダー状況(53/CS)** このコードは変更オーダー(CO)の状況を表す場合に使用します。[CO承認済み状況]処理オプションで CO 状況コードを入力した場合は、CO を承認したときに〈状況の一括更新〉プログラムが開きます。〈状況の一括更新〉プログラムでは、CO に添付された PCO に添付されている変更要求の勘定科目の状況コードを更新できます。
- 作業特定 UDC** このコードは、変更管理システム特定の UDC に使用します。

## 参照

- ユーザー定義コードの設定および管理については『基本操作』ガイドの「ユーザー定義コード」

『変更管理』ガイドの次のトピックを参照してください。

- PCO 状況コードの使用については、「計画変更オーダーの承認」
- CO 状況コードの使用については、「変更オーダーの承認」
- 変更管理システム特定の UDC については、「作業特定ユーザー定義コードの設定」

## 変更要求詳細状況コードの設定

---

変更要求の勘定振替情報を入力する前に、〈詳細状況コードの更新〉プログラムで詳細状況コードを設定する必要があります。

各詳細状況コードについて、次のことを定義します。

- コードと共に使用する勘定タイプ(原価、収益、または外注)
- 勘定残高テーブル(F0902)と取引明細テーブル(F0911)で更新する金額元帳タイプ

---

**注:**

このプログラムでは、AA/AU、HA/HU、PA/PU、または F%の元帳は更新されません。

---

- 変更要求(CR)詳細状況の更新テーブル(F53101)で表示され、更新される金額タイプ(当初、見積、最終、または最適)

---

**注:**

詳細状況コードは変更要求(CR)詳細状況の更新テーブル(F53101)で更新されます。これらは、〈変更要求(CR)の入力〉フォームの見出しにある状況コード・フィールドには関連しません。見出しの状況コードは情報のみです。

---

### 参照

- システムで詳細状況コードがどのように使用されるかについては、『変更管理』ガイドの「詳細状況コードの更新」

### ▶ 変更要求詳細状況コードを設定するには

---

〈変更管理システムのセットアップ〉メニュー(G5341)から〈詳細状況コードの更新〉を選択します。

1. 〈状況コードの処理〉で、[追加]をクリックします。
2. 〈変更要求状況コードの改訂〉で、次のフィールドに値を入力して[OK]をクリックします。
  - 状況
  - レコード・タイプ
  - 記述
  - 金額元帳タイプ
  - 金額/数量タイプ

PeopleSoft

変更要求状況コードの改訂

OK キャンセル ツール

状況

レコード・タイプ  B=原価, O=収益, S=外注

記述

金額元帳タイプ

単元帳タイプ

金額数量タイプ  O=当初, Q=見積, F=最終, B=最適

## フィールド記述

記述	用語解説
状況	変更要求の明細行項目の勘定状況コードを指定するユーザー定義コード。変更要求(CR)の承認処理で使用され、勘定残高テーブル(F0902)の元帳を更新するかどうか、および更新する元帳タイプと使用する金額タイプを決定します。
レコード・タイプ	<p>変更要求詳細情報に関連付けられたレコード・タイプ。各変更要求は複数の変更項目に添付できます。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>B 予算または原価</li> <li>O 所有者または収益</li> <li>S 外注契約または買取り</li> </ul> <p>ブランクにした場合は、デフォルト値として B が使用されます。</p>
記述	ユーザー定義名称または備考。
金額元帳タイプ	<p>金額を転記する元帳を識別するための、BA(予算元帳)やFE(フィールド見積り)などのユーザー定義コード(09/LT)。1つの取引を複数の元帳に記録して、監査証跡を確立することができます。</p> <p>注:元帳タイプの2番目の文字がU(数量)の元帳には直接仕訳を入力することはできません。</p>

---

**金額/数量タイプ**

このコードは、変更要求明細テーブル (F5311)のどの金額と数量を処理するかを指定します。有効な値は次のとおりです。

- O 当初
  - Q 見積
  - F 最終
  - B 最適
- 

**技術的考慮事項****詳細状況コードの  
削除**

〈変更要求(CR)の入力〉で使用されていた状況コードは削除できません。〈変更要求(CR)の入力〉で使用されていた状況コードの記述変更のみできます。

---

**作業特定ユーザー定義コードの設定**

---

システムの各作業に対して最大 5 つのユーザー定義コードを定義できます。これらのユーザー定義コードは、〈変更要求(CR)の入力〉フォームの[カテゴリ・コード]タブにあり、情報のみです。

作業特定ユーザー定義コードは、ユーザー定義コード・テーブル(F0005)ではなく作業特定 UDC マスター(F53005)に保管されます。

---

**▶ 作業特定ユーザー定義コードを設定するには**

---

〈変更管理ユーザー定義コード〉メニュー(G5342)から〈作業特定 UDC〉を選択します。

1. 〈作業特定 UDC の処理〉で、次のフィールドに値を入力して[追加]をクリックします。
  - 作業 No.
  - コード・フィールド
2. 〈作業特定 UDC 詳細〉で、次のフィールドに入力します。
  - ユーザー定義コード
  - 記述
3. 各コードに対して次の任意フィールドに値を入力し、[OK]をクリックします。
  - 記述 2
  - 特殊取扱
  - ハードコード